

手術室・中央材料室の活動報告

1. 看護の特徴

安全で安心な手術提供を行うため、サインイン・タイムアウト・サインアウトによる確認行為の徹底や標準予防策遵守・空気環境調査実施による感染防止を行っている。

周術期看護において術前・術後訪問および術後疼痛ラウンドを行い、病棟との情報共有や連携を強化し、看護の質向上に努めている。

麻酔科外来では術前診察・ペインクリニックにおいて患者の術前評価や神経ブロックの介助等を実施し、疼痛のある患者に対する看護を提供している。

中央材料室では、医療機器の管理と医療器材の洗浄・滅菌・保管・払い出し・保守点検・貸出しを行い、院内サプライの要として安全な器材提供を行っている。

2. 疾患・治療の特徴

1) 手術診療科

消化器外科・呼吸器外科・泌尿器科・整形外科・乳腺内分泌外科・脳神経外科・眼科・皮膚科・歯科口腔外科

2) 主な治療（令和6年度）

鏡視下手術（消化器外科・呼吸器外科・泌尿器科・整形外科）

ロボット支援手術（消化器外科・呼吸器外科・泌尿器科）

麻酔科外来（術前診察・ペインクリニック）

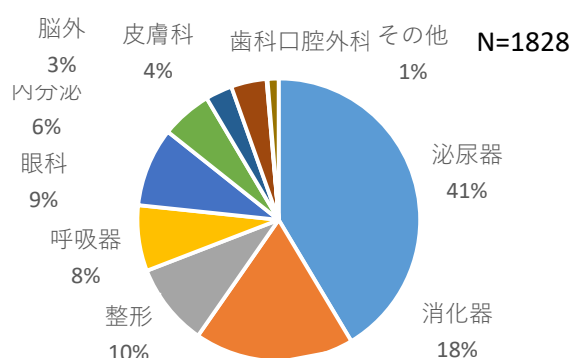


図1 診療科別手術分類

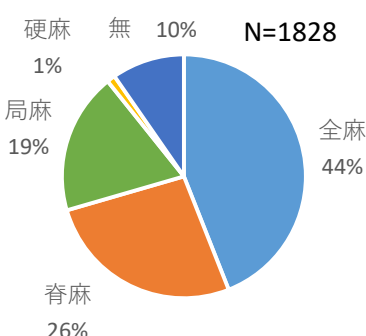


図2 麻酔種別件数

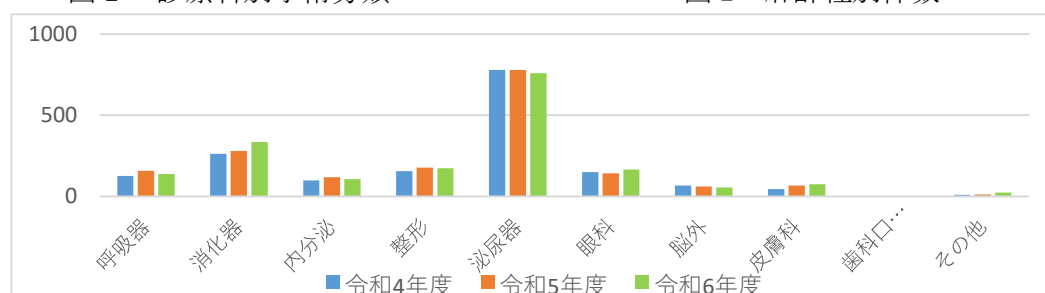


図3 診療科手術件数推移

文責 看護師長 荒木直美

医療安全管理室 活動報告

1. 活動概要

【目的】組織横断的に院内の医療安全管理を担う

【業務内容】

- 1) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存
- 2) 医療安全に関する日常活動（図1、2）
 - ・医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査
 - ・ヒヤリハットレポートの収集・保管・分析・具体的改善策の提言と推進
 - ・医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
- 3) 医療事故発生時の指示・指導等に関すること
- 4) その他の医療安全対策の推進に関すること

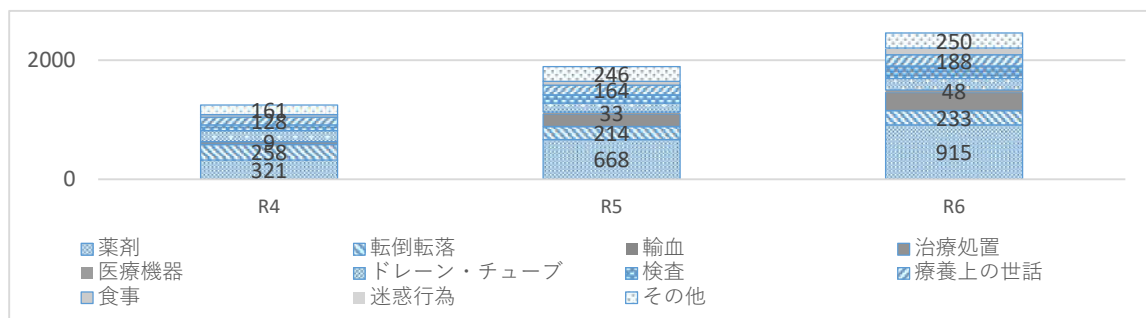


図1 内容分類別ヒヤリハット・有害事象発生件数

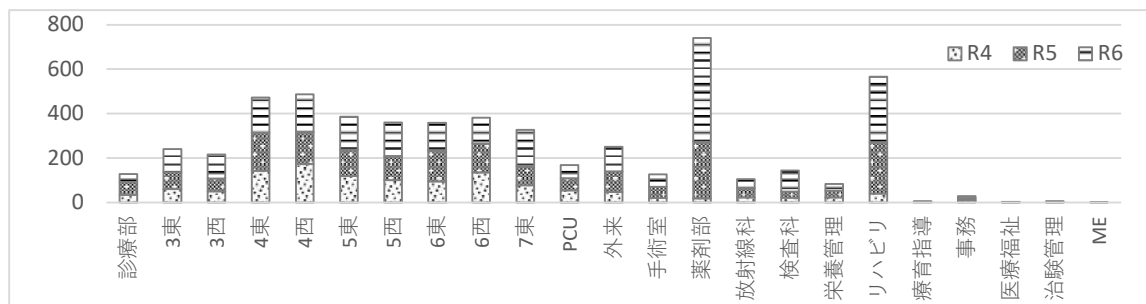


図2 部署別ヒヤリハット・有害事象発生件数

2. 主な活動内容

- 1) 医療安全教育講演会の企画・運営（eラーニングの使用）
 - 1回目 6月「人間関係のコツ～まとまりのあるチーム作り～」eラーニング
 - 2回目 1月「DNARを見直そう」eラーニング
- 2) 医療安全週間（2月）：各部署の取り組み発表 口演およびポスター展示
- 3) 医療安全地域連携加算Ⅰ相互チェックの実施（7月・9月）

セーフティネット系相互チェックの実施（10月）
- 4) 医療安全部会・医療安全管理委員会で医療安全管理マニュアル作成と見直し

「転倒転落後発生後のフロー」「院内急変防止報告基準」「院内緊急対応基準」

「肺血栓塞栓予防管理」等の見直し作成

文責 医療安全管理係長 宮下美紀

教育担当看護師長の活動報告

1.活動概要

【目的】

看護師の学習ニーズと教育ニーズを合わせキャリアアップができる教育体制づくり

【業務内容】

1)看護師教育研修

①看護部の教育理念・教育目標を基に「看護職員能力開発プログラム Ver.2」

ラダーレベルごとの教育研修の計画・実施

レベル	総研修時間 (1人あたり)	参加者数 (名)	研修内容
I	19時間	26	14研修：フィジカルアセスメント・医療安全・褥瘡予防 ・看護倫理・多職種連携・静脈注射 等
II	5時間	19	7研修：フィジカルアセスメント・医療安全・意思決定支援・退院支援システムの活用 等
III	4時間	延べ74	6研修：医療安全・感染対応とリーダーシップ・災害対応・多職種と入退院支援・後輩育成 等
IV	5時間	延べ136	・問題解決技法・看護研究・医療安全事例分析
V	2時間30分	延べ30	・病院経営参画・看護研究

②コース別研修の実績

	参加者数	研修内容
ジェネラリスト領域 3研修	延べ17	・患者満足度・職員満足度・チーム医療・QC活動
スペシャリスト研修 3研修	延べ150	・化学療法と放射線療法の看護 ・疼痛緩和と緩和ケアの看護 ・摂食嚥下と呼吸器疾患の看護
療養介助員と業務技術員研修 ナースエイド研修	25 17	・医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 ・日常生活に関わる業務 等

2)新人看護師支援

(1) 新人看護師及び育成担当者研修

新人看護師対象研修 14回/年

(2) 臨床実践能力到達度評価の実施 (3回/年)

(3) 新人看護師の教育支援面談 (2回/年)

3)看護学生指導の充実

(1) 6つの大学・専門学校からの実習受け入れを実施した

(2) 実習指導者会議での情報交換・共有し、全ての実習の指導案を見直した

文責 教育担当看護師長 大石 一輝

がん看護専門看護師活動報告

1. 活動概要

【目的】組織横断的に病棟や外来で6つの役割（実践・相談・調整・倫理調整・教育研究）を担う

【業務内容】

1) 緩和ケア病棟での看護実践

- ・面談に同席し、告知後のフォローアップや治療の意思決定支援
- 看護外来での実践
- ・がん告知場面での意思決定支援
- ・今後の療養場所の選定に関する相談

2. 主な活動内容

1) 実践：「がん患者指導管理料」算定に伴う面談の同席と、その後の介入

がん患者指導管理料イ・ロ算定件数：病棟 42 件 外来 56 件

2) 相談：看護師からの相談に対応し、看護師の成長過程を支援する介入

3) 調整：医師と看護師間の調整、地域連携室との調整や退院調整

4) 倫理調整：病棟で倫理原則を活用した事例検討

5) 教育

(1) 院外教育 講師など

群馬パース大学 緩和医療学 非常勤講師

群馬県看護協会教育研修 講師（がん性疼痛の理解と看護）

多職種連携 WEB セミナー 講師

ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム指導者

(2) 院内教育 看護研究に関する講義

6) 看護研究

(1) 研究計画書作成指導 8 件、倫理審査指導 7 件、抄録作成指導 2 件

(2) 研究発表（筆頭者） 2 件 第 49 回日本骨髄腫学会学術集会

第 47 回日本死の臨床研究会年次大会

文責 がん看護専門看護師・副看護師長 本 多 昌 子

感染管理認定看護師の活動報告

1. 活動概要

【目的】多職種と協働しながら、医療関連感染の予防と管理を推進する

【業務内容】

- 1) 医療関連感染の発生の監視
- 2) 医療関連感染予防・対策の立案・実施
- 3) 職業感染対策
- 4) 職員への感染対策指導
- 5) 病院環境のファシリテーター
- 6) 感染管理システムの構築

2. 主な活動内容

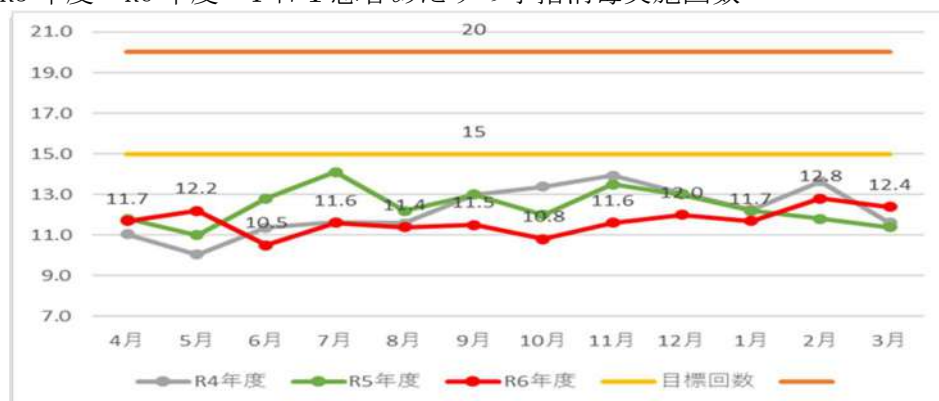
1) 実践

- (1) 1回/月に開催される院内感染予防対策委員会、感染制御推進部会、管理運営会議、感染リンクナース委員会資料作成
- (2) 院内感染対策マニュアルの新規発行、改定
- (3) 1回/週 ICT ラウンド
- (4) 地域連携（カンファレンス、訓連）調整

2) 教育（集合研修+eラーニング）

- (1) 前期：医療従事者に必要なワクチン、抗菌薬適正使用
後期：感染症入門、こどもとおとなの感染症、
多職種で取り組む CRBSI 予防と AMR 対策
- (2) 感染対策地域連携加算Ⅰ 5/24 群馬大学医学附属病院を評価
7/3 高崎総合医療センターより評価
- (3) 感染対策地域連携訓練 9/3
- (4) 感染対策地域連携カンファレンス 11/18
- (5) 他、加算に関わるカンファレンス 6/16. 8/23. 12/6. 12/10. 2/16
- (6) 感染対策派遣 計 12 回 ラウンド・講義
- (7) 環境感染学会発表 7/26 国立病院機構総合医学会 10/18 発表

3. R3 年度～R6 年度 1 日 1 患者あたりの手指消毒実施回数



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平均回数	14.2回	12.8回	12.2回	11.7回

1 日 1 患者あたりの実施回数：手指消毒使用量/延べ入院患者数/1.0

目標回数：1 日 1 患者あたり 15 回

一部の部署では目標達成出来ているが全体での平均は 11.7 回と昨年と比較し減少した。引き続き適切なタイミングでの手指衛生を確認・指導することが課題であり定期的な注意喚起を計画していきたい。

文責 感染管理認定看護師 篠原友理

がん性疼痛看護認定看護師の活動報告

1. 活動概要

【目的】

- 1) 緩和ケアチームにおいて、専門的緩和ケアが必要な患者・家族の支援をする
- 2) 渋川医療センターを利用するがん患者と家族が安心して治療・生活ができるように、看護外来・がんカウンセリング等で支援する

【業務内容】

1) 緩和ケアチーム

- ① 緩和ケアチーム介入依頼のある患者の苦痛のアセスメント
- ② 患者の身体的・心理的・社会的・霊的苦痛の緩和
- ③ 当院緩和ケア病棟を含めた療養の場の意思決定支援
- ④ 緩和ケアチーム介入患者の家族の支援（予期悲嘆のケア）
- ⑤ 病棟看護師・入退院センター看護師・外来看護師・緩和ケアリンクナースと情報共有し、切れ目のない緩和ケアの提供
- ⑥ 緩和ケアチーム活動のデータ管理及び日本緩和医療学会緩和ケアチーム登録・地域がん診療拠点病院の届け出等の報告
- ⑦ 日本緩和医療学会緩和ケアチームセルフチェックプログラム実施

2) がんカウンセリング・看護外来

- ① 病棟・外来のがん患者指導管理料イ・ロ算定面談
- ② 入退院センター・MSW と連携し就労などの社会面の相談対応
- ③ がん治療に関する意思決定支援

3) 緩和ケアスクリーニング

- ① 生活の質に関する質問票（緩和ケアスクリーニング）の運用
- ② 基本的緩和ケアの評価

2. 主な活動内容

1) 緩和ケアチーム・がん患者指導管理料算定面談



図1 緩和ケアチーム依頼件数

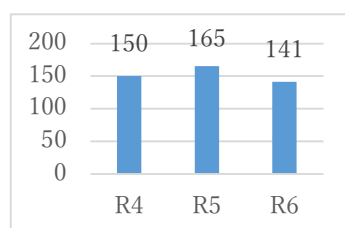


図2 がん患者指導管理料イ算定件数

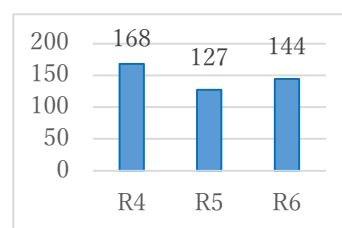


図3 がん患者指導管理料ロ算定件数

2) 指導・相談 看護師等の指導件数 265 件 相談対応件数 272 件

3) 教育 ① スペシャリスト領域がん看護研修「がん性疼痛看護・緩和ケア」

- ② 上武大学・群馬パース大学・群馬医療福祉大学のチーム実習指導

文責 がん性疼痛看護認定看護師 奥 澤 直 美

皮膚・排泄ケア認定看護師の活動報告

1. 活動概要

【目的】多職種と協働しながら、褥瘡の予防と管理を推進する

【業務内容】

1) 褥瘡管理専従看護師活動

- (1) 褥瘡危険因子評価・褥瘡好発部位をセサメントし予防計画立案、実践の評価
- (2) 褥瘡ケアチームとの連携 週1回多職種とのカンファレンス開催

2. 主な活動内容

1) 褥瘡ハイリスクケア患者加算 956 件

2) 指導・相談 看護師等の指導件数 440 件 相談件数 508 件

- (1) 院内褥瘡発生時発生要因のアセスメント・予防対策を周知
- (2) 褥瘡ケアチームでの褥瘡回診実施 延べ患者 118 名

3) 教育

- (1) 院内 看護部教育委員会主催 褥瘡ケア(レベルⅠ)
- (2) 院外 第17回群馬ストーマ・排泄リハビリテーション講習会実習講師
- (3) 院外 群馬県看護協会主催 訪問看護師ステップ1ストーマケア講師

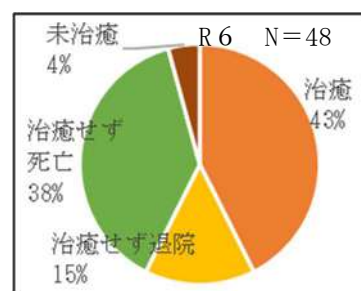
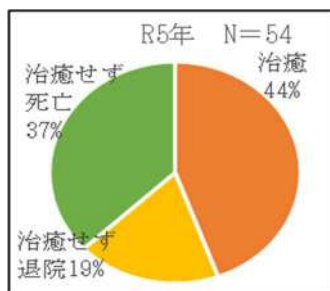
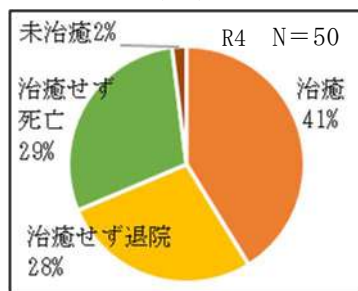
3. 院内褥瘡発生状況

1) 褥瘡推定発生率

全国平均値:0.37～1.34%で、当院の褥瘡推定発生率は中間値である

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
R4年度	0.66%	0.60%	0.57%	0.60%	0.57%	0.57%	0.64%	0.27%	0.66%	0.50%	0.39%	0.41%	0.53%
R5年度	0.43%	0.32%	0.32%	0.55%	0.41%	0.30%	0.33%	0.41%	0.68%	0.75%	1.02%	0.62%	0.51%
R6年度	0.65%	0.63%	0.43%	0.28%	0.30%	0.54%	0.57%	0.78%	0.77%	0.61%	0.19%	0.68%	0.53%

2) 院内褥瘡発生転帰



文責 皮膚・排泄ケア認定看護師 真 藤 由 美 子

がん化学療法看護認定看護師の活動報告

1. 活動概要

【目的】

- 1) 各診療科のレジメンに基づき、安全・安楽・確実な抗がん剤投与管理を実践できるよう、看護師の指導・相談にあたり、看護の質の向上を図る
- 2) がん化学療法に関する患者や家族へのセルフケア指導、意思決定支援を行い、治療に対する不安の軽減と苦痛症状の緩和を図る

【業務内容】

- 1) 当該病棟での活動
 - ① がん化学療法を受ける患者の治療完遂に向けた支援
 - ② 有害事象に対する予防的介入とケアの実践
 - ③ 在宅で治療を続ける患者・家族への薬剤管理指導とセルフケア支援
 - ④ 安全・安楽・確実ながん化学療法看護の実践とスタッフ教育
- 2) 看護外来
 - ① 病名告知や、治療方針の決定、療養先検討など意思決定支援
 - ② 患者および家族支援のための多職種連携の調整
 - ③ 病棟・外来のがん患者指面談の同席、面談後の精神的サポート

2. 主な活動内容

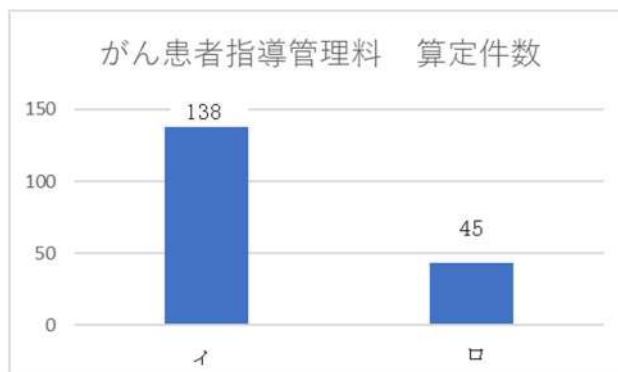
1) 実践

- ① 新規レジメン申請された内容の確認
- ② 化学療法マニュアルの修正と差し替え、スタッフへの周知
- ③ 当該病棟における患者・家族へのがん化学療法看護の実践

2) 教育・指導

- ① 病棟および外来での安全・確実な抗がん剤投与管理についてスタッフ指導
- ② 院内巡視により病棟での抗がん剤投与の実施状況の把握、スタッフ指導
- ③ 化学療法委員会の院内教育講演の準備、講演
- ④ 看護部教育委員会の研修計画、準備、研修後のフォローと現場教育

3) 相談



文責 がん化学療法看護認定看護師 山口 友久

緩和ケア認定看護師の活動報告

1. 活動概要

【目的】

- 1) 外来化学療法を受ける患者の全人的苦痛の緩和とその人らしく過ごせるようにより支援する。
- 2) 渋川医療センターを利用するがん患者と家族が安心して治療・生活ができるよう、看護外来で支援する。

【業務内容】

- 1) 外来化学療法室での実践
 - ①アピアランスケアと就労の相談・支援
 - ②治療の意思決定支援
 - ③患者・家族の心理面の支援
 - ④外来看護師に対する看護実践のサポート
- 2) 看護外来での実践
 - ①がん告知場面での意思決定支援
 - ③療養場所の意思決定支援
 - ③リンパ節郭清術後のリンパ浮腫予防指導、リンパ浮腫発症患者のセルフケア指導

2. 主な活動内容

- 1) 実践：病棟・外来の「がん患者指導管理料」算定に伴う面談の同席とその後の支援、リンパ浮腫予防指導
がん患者指導管理料イ・ロ、リンパ浮腫管理料算定件数及び介入支援件数

管理料イ	管理料ロ	未算定だが介入支援したもの	リンパ浮腫指導管理料
77 件	38 件	32 件	24 件

2) 指導・相談

看護師からの相談に対応し、看護師の成長過程を支援する介入

3) 教育

院内外 WEB セミナー 「一般病棟でできる看取りケアの患者・家族ケアのポイント」

院外 ELNEC-J コアカリキュラム指導者

文責 緩和ケア認定看護師 山田 は る え

がん放射線療法看護認定看護師活動報告

1. 活動概要

【目的】

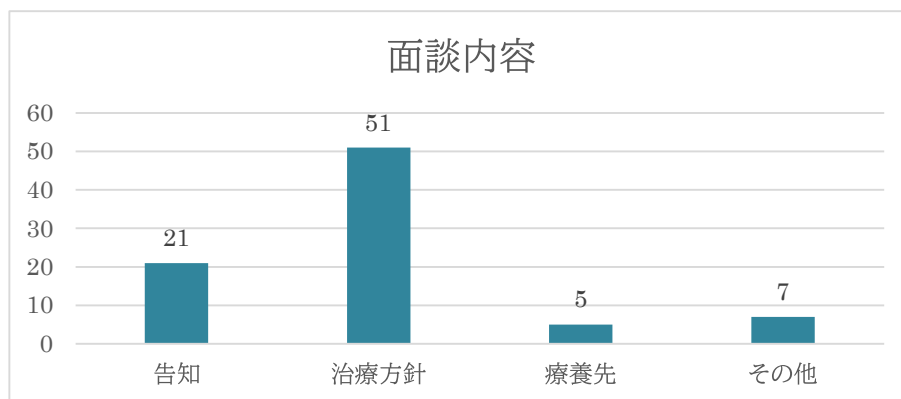
- 1) 放射線治療を受ける患者とその家族の QOL 向上のため、適切なアセスメントのもと、治療に対する不安軽減、有害事象の低減、症状緩和およびセルフケア支援、安全安楽な治療環境の提供を実践する
- 2) 医療従事者に対し専門分野における指導、相談にあたり、がん放射線療法看護の質の向上を図る

【業務内容】

- 1) 当該病棟・放射線治療室での活動
 - ① 放射線治療を受ける患者の治療完遂に向けた支援
 - ② 有害事象に対する予防的介入、出現時のケア
 - ③ 外来通院で治療する患者・家族のセルフケア支援
 - ④ 放射線治療を受ける患者の介入に不安のある看護師への支援
- 2) 看護外来
 - ① 病棟・外来のがん患者指導管理料イ・ロ算定面談
 - ② 治療方針や療養先の意思決定支援
 - ③ 患者を支える家族の支援（精神的サポート、MSW 連携による社会的サポート）

2. 主な活動内容

- 1) 実践
 - ① 当該病棟における放射線科ワーキンググループ活動
 - ② 放射線治療フローチャートの作成、運用
 - ③ 放射線治療患者ラウンドの実施
- 2) 教育・指導
 - ① 院内 がん看護研修（放射線療法看護の基礎知識、症例検討）
- 3) 相談（がん患者指導管理料イ・ロ算定面談同席件数）外来 64 件 病棟 20 件



文責 がん放射線療法看護認定看護師 八 塩 知 美

看護外来活動報告

1. 看護の特徴

- 1) 各々の専門性を活かし、日常生活の充実に貢献できるよう、専門的な知識・技術を用いた看護の提供
- 2) 外来看護師と協働し、タイムリーな支援の提供
- 3) 看護外来患者の継続看護ができるよう、病棟看護師への情報提供と入院後の個別訪問
- 4) 患者・家族ががん相談支援センター・がんサロンを活用できるよう橋渡し
- 5) ストマケア・褥瘡ケア・在宅酸素使用患者の支援・疼痛マネジメントについて、訪問看護師との連携と相談対応

2. 看護提供内容

1) がん関連専門認定看護師

- ① 初回告知・再発告知時などの意思決定支援
- ② 化学療法、放射線治療を受ける患者のセルフマネジメント支援
- ③ 疼痛マネジメント
- ④ 緩和ケア病棟を含む療養の場の意思決定支援と調整
- ⑤ リンパ浮腫のセルフケア指導

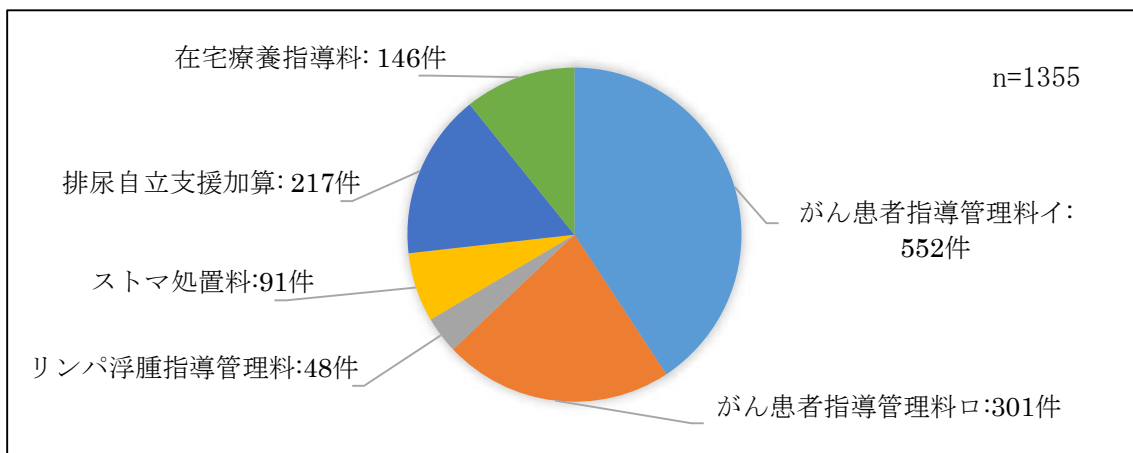
2) 皮膚排泄ケア認定看護師

- ① 消化管ストマ・尿路ストマ等を造設した患者のセルフマネジメント支援
- ② 在宅療養中・施設入所中の患者の褥瘡ケアと院外看護師との連携
- ③ 尿道留置カテーテル抜去後のセルフマネジメント支援

3) 慢性呼吸器疾患看護認定看護師

- ① 在宅酸素療法・在宅人工呼吸器管理患者のセルフマネジメント支援

3. 各分野の算定件数



文責 看護部 看護スペシャリスト会議 奥 澤 直 美

医療福祉相談室の活動報告

医療福祉相談室は、患者さん・ご家族が安心して治療に専念できるようソーシャルワーカーが、治療や療養の妨げとなる生活上の問題や悩みに対し、社会福祉の立場から心理社会的問題や経済的問題の解決援助、退院援助等を行っている。

令和6年度の相談対応件数は、前年度より大きな変化はなく推移し、相談内容別の件数は、約6割が退院調整であった。入退院支援加算1の算定件数は、病棟や多職種での退院支援も反映できるよう、入退院センター看護師・病棟看護師等と協働し、今年度は緊急入院や短期入院患者さんへの入退院支援強化に努め、前年度比約15%増加した。

就労支援について、患者さんへ治療と仕事の両立支援の周知を図っていくために、リーフレットを作成した。看護外来の協力も得ながら、患者さんへリーフレットを配布し、就労支援の相談体制の周知に取り組んだ。患者さんが病気を抱えながらも適切な治療を受けながら就労を継続していけるよう支援を強化していく。

地域との連携においては「渋川地区ソーシャルワーカー連絡協議会」の情報交換会や渋川地域の介護施設との情報交換会を年4回開催した。今年度は、これまでの活動のまとめと今後の展望について院内学会で演題発表を行った。北毛地域の基幹病院として、病院連携、介護施設とのネットワーク構築に努め、ソーシャルワーカーとして患者さんの退院後の生活が豊かなものになるよう活動を継続していきたい。

令和6年度診療報酬改定では、入院基本料の見直し等において、意思決定支援に関する指針を作成することを要件とすることが追加された。職員がACPについて理解を深めることを目標に、入退院センターとともに院内ACP研修会を開催した。医療相談係長が講師となり「ACPとは何か〜いのちを支える医療のために」をテーマに開催し、ACPの知識、コミュニケーション技術、連携の実際など自身の業務体験から講義を行い、ACPについてともに考える機会となった。

文責 医療福祉相談室長 山 田 尚 子

地域医療連携室の活動報告

令和6年度地域医療連携室年報報告では「連携協力医登録状況」「紹介・逆紹介状況」「高額医療機器共同利用状況」の3点について報告する。

「連携協力医登録状況」については、連携登録機関412機関（前年度比11機関増）、登録医612名（前年度比38名増）であり、てんかんセンター（てんかん支援拠点病院）や歯科口腔外科稼働などの診療機能充実によるものと考えられる。連携協力医の先生方をお招きして11月14日には数年ぶりに連携協力医大会をプレヴェール渋川で開催することができた。

「紹介・逆紹介状況」については、紹介患者数月平均が465件（前年度比40件増）で、率に換算すると紹介率90.4%・逆紹介率99.1%であった。いずれも地域医療支援病院承認基準の紹介率65%・逆紹介率40%を大きくクリアしており、地域医療に貢献できているものと考えられる。

また地域医療機関に開放している「高額医療機器共同利用状況」に関しては、MRI検査889件（前年度比485件増）、CT検査554件（前年度比103件増）、RI検査36件（前年度比3件増）であった。近隣のクリニック開業の影響で大幅増の1年であった。

今後も引き続き地域医療の拠点病院となりえるよう努力していきたい。

文責 地域医療連携室長 小山佳成

入退院センターの活動報告

1. 看護の特徴

患者・家族へ、社会資源に関する情報提供や療養環境の調整を行い、円滑な退院ができるよう支援している。また、地域の訪問看護ステーション等と連携を行う体制を整えている。

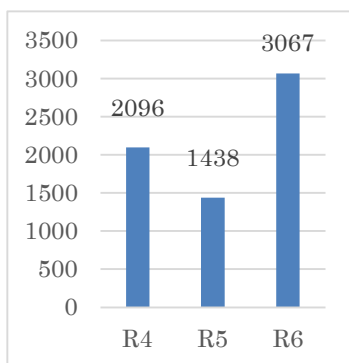
発熱外来では、開業医等からの新型コロナウイルス感染症患者の入院要請や陽性者外来の受診相談を受け、入院・外来受診の調整を行っている。

2. 業務内容

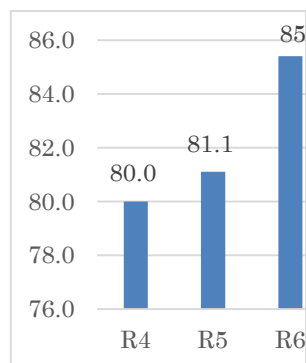
- 1) 入院前支援 看護プロフィール聴取 入院に関する説明、病歴聴取、相談対応など
- 2) 入退院支援 相談支援面談の実施、担当者との連絡調整、カンファレンスの実施など
- 3) ベッドコントロール 空床状況の把握・緊急入院ベッド確保、転院受け入れ調整

3. 業務実績

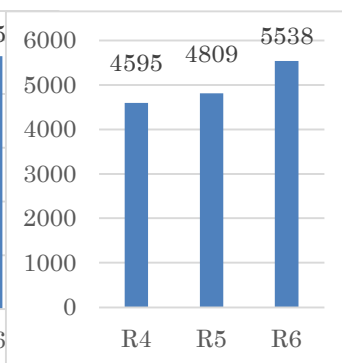
1) 相談実施数(件)



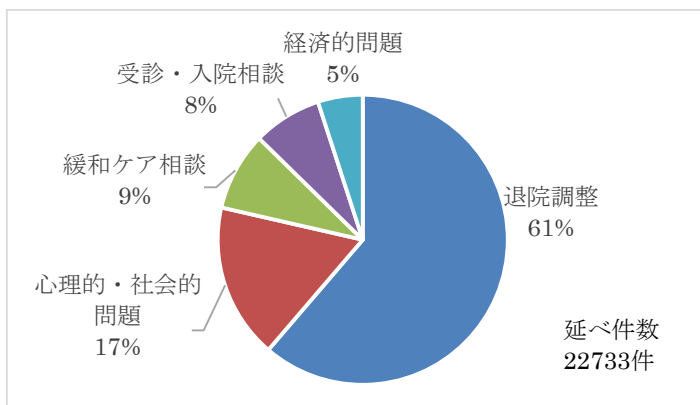
2) 要退院支援者割合(%)



3) 入退院支援加算算定数(件)



4) 相談内容割合



相談件数は増加し、相談内容の内訳は「退院調整」が上位を占めている。入退院支援では、病棟看護師が介入するケースが増加しており、また短期入院患者の退院支援介入をすることで入退院支援加算はR6年5538件と大幅に増加した。

文責 看護師長 茂 木 実 恵 子

NST・褥瘡対策チームの活動報告

我々は NST（栄養サポートチーム）と褥瘡（床ずれ・創傷）対策チームが合同で活動している。NST では入院中の患者さんへの栄養不良の改善や摂食嚥下障害の対策、栄養投与方法の相談を行っている。褥瘡対策チームでは褥瘡の予防と治療の相談をしている。

NST・褥瘡対策チームは医師や看護師だけではなく薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、事務職員といった多職種によって構成されている組織である。

毎週金曜日 14 時から一般病棟の NST 回診を行っている。各病棟の栄養不良や摂食嚥下障害の患者さんの対策を相談している。また、経口摂取ができない患者さんは経鼻経管栄養、胃ろうからの経管栄養を投与されている。経管栄養の種類や投与量についての相談や栄養補助食についてもアドバイスをを行っている。毎月第 3 木曜日の 15 時から小児科医師とともに重症心身障害児病棟の NST 回診を行っている。

褥瘡対策チームは皮膚科医師と皮膚・排泄ケア認定看護師が中心に活動している。

入院中の患者さんにできてしまった褥瘡や、入院前にできていた褥瘡に対して毎週火曜日の 14 時から褥瘡回診を行っている。患者さんの所へ行き診察と処置を行っている。

更に褥瘡発生危険因子保持患者さんについてのカンファレンスを行っている。これにより褥瘡の院内発生抑制が期待される。

NST・褥瘡対策チームでは渋川地区の医師会と歯科医師会と協力し勉強会を定期的を開催している。「渋川摂食嚥下研究会」は年に概ね 6 回開催。令和 7 年の 10 月まで 95 回の勉強会を行ってきた。地域のすべての医療職を対象として開催している。

文責 脳神経外科部長 合 田 司

緩和ケアチーム活動報告

緩和ケアチームは「緩和ケア診療加算」が算定できる体制で活動を行っている。構成メンバーは、間島緩和ケアセンター長をチームリーダーに、関本麻酔部長、小林緩和ケア科医長、奥澤がん性疼痛看護認定看護師、濱中調剤主任、栗原薬剤師、落合医療相談係長、林管理栄養士、深山管理栄養士で活動を行っている。

依頼件数は73件であり、依頼のあった診療科は呼吸器内科24件（結核病棟1件を含む）、消化器内科22件、血液内科9件、乳腺甲状腺外科7件、消化器外科6件、放射線治療科4件、内分泌・代謝内科1件であった。

依頼目的の内訳（延べ件数）は、疼痛47件、疼痛以外の身体症状58件、精神症状・心理サポート50件、家族ケア7件、療養先の意思決定支援3件、地域との連携・退院支援9件、その他27件であった。

依頼目的は、一患者に身体症状のみという単一の依頼は少なく、心理・社会的苦痛も含めた複合的な苦痛の緩和を主治医・病棟スタッフや多職種と協働して行っている。依頼目的のうち療養先の意思決定支援については、当院が緩和ケア病棟を有していることより、緩和ケア病棟の情報提供や病棟見学を行い、意思決定支援をMSWと連携して行っている。

介入患者の転帰は、目標達成による介入終了7件、緩和ケア病棟転科20件、転院22件、自宅退院40件（うち6件は在宅ケア導入）、死亡退院39件、次年度介入継続3件であった。

緩和ケアチーム活動の質の向上のための取り組みとして、日本緩和医療学会のセルフチェックプログラムを活用している。目標を3つ「依頼元と情報共有するツールを作成し運用できる」「カンファレンスでツールを活用し、症状緩和と目標設定ができる」「チーム介入後のフォロー患者の情報共有方法を見直すことができる」挙げ、取り組み、評価をした。

緩和ケアスクリーニング（生活のしやすさに関する質問票）について、スクリーニングにより苦痛緩和が必要な患者は、入院1週間後を目安に再評価し、基本的緩和ケアの評価とスクリーニングを継続的に実施している。

専門的緩和ケアが必要な患者、家族を、担当医と病棟看護師と共に支援することで「身体が楽になってよかった」「気持ちが穏やかになった」「安心して生活ができるようになった」と思えるケアの提供を行っていきたい。

文責 緩和ケアチーム専従看護師 奥 澤 直 美
緩和ケアセンター長 間 島 竹 彦

感染管理室（ICT/AST）の活動報告

感染管理室は2つのチーム（ICT/AST）より、医療関連感染制御に向けたチーム医療（多職種連携）を実践している。ICTでは患者さんやご家族、病院職員など、病院内すべての人を感染から守るため、問題となる感染症の発生状況を把握し、根拠に基づいた感染防止対策を実践できるよう組織横断的に活動を行っている。ASTでは感染症治療において、効果的な治療、副作用の防止、耐性菌出現のリスク軽減のため、抗菌薬の適正使用を支援している。

<構成メンバー>

ICT/ASTともに専任医師：リンパ腫・骨髄腫センター長の齊藤医師をリーダーに、小児科医長：井上医師、呼吸器内科：村田医師、専任薬剤師：伊藤副薬剤部長、加藤薬剤師主任、神尾薬剤師、専任検査技師：田島副検査技師長、高柳検査技師主任、岡庭検査技師、高橋検査技師、事務：小山内専門職、専従看護師：篠原感染管理認定看護師、兼任看護師：高井感染管理認定看護師で活動を行っている。活動内容は定期的な院内ラウンド、感染症患者発生状況の点検、感染予防策の実施状況と効果の評価、現場職員支援、及び抗菌薬適正使用指導・介入等である。

● 令和6年度の活動内容

➤ 院内

- ・ 院内感染予防対策マニュアルを改訂し、院内研修をICT/AST各2回実施した。
- ・ 毎週水曜日を定例活動日とし1週間に1回の院内ラウンド（病院感染事例の把握、病院感染防止対策の実施状況の把握・指導）を実施した。
- ・ 患者情報レポートの作成を行い、アンチバイオグラムの作成を実施
- ・ 抗菌薬適正使用支援活動では、抗菌薬適正使用支援チーム：（Antimicrobial Stewardship Team：AST）にて活動を実施。毎週木曜日を定例活動日とし耐性菌の制御、感染予防、迅速かつ適切な感染症診断と治療などを協議した。AST内容は診療録に残しフィードバックを行っている。

<AST ラウンド介入件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	22件	29件	35件	30件	30件	34件	26件	35件	39件	36件	25件	31件	372件

➤ 感染防止対策加算 2.3. 外来施設等との連携

近隣医療機関と連携し、年4回のカンファレンス（うち1回は訓練）条件を満たす。

➤ 感染防止対策地域連携加算による相互チェック

当院の訪問医療機関	群馬大学付属病院
当院への訪問医療機関	高崎総合医療センター

文責 感染管理認定看護師 篠原友理

III 統計

(1) 病棟別一日平均入院患者数(月別内訳)

(単位：人)

病 棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
3階東病棟	46.5	47.2	47.5	48.1	47.1	46.8	47.5	47.7	48.6	49.0	48.6	48.9	47.8
3階西病棟	46.7	45.9	47.1	47.1	46.1	45.6	45.0	45.1	46.2	45.8	46.1	47.2	46.2
4階東病棟	40.5	39.7	32.8	40.2	32.7	36.3	33.6	29.9	39.5	39.1	39.3	38.9	36.9
4階西病棟	37.4	36.4	34.6	37.4	37.4	34.5	35.3	38.5	37.5	33.9	35.8	39.1	36.5
5階東病棟	38.9	40.5	32.6	40.2	37.8	38.6	34.4	40.4	32.8	37.9	41.1	36.1	37.6
5階西病棟	38.0	39.7	38.2	39.9	39.1	39.1	40.3	42.2	34.1	36.9	36.6	34.5	38.2
6階東病院	6.5	7.4	7.8	13.2	23.5	10.4	9.4	18.5	24.1	21.4	16.4	15.8	14.6
6階西病院	40.0	35.7	38.3	39.9	37.1	36.5	37.0	40.5	37.5	36.3	35.3	33.1	37.3
7階病棟	12.5	17.3	20.0	18.7	23.6	24.6	18.2	14.5	12.1	11.9	12.4	15.4	16.8
PCU	13.1	15.3	14.9	7.6	11.9	10.1	11.3	12.2	14.9	12.6	11.8	13.2	12.4
合 計	320.1	325.1	313.9	332.2	336.4	322.5	311.9	329.4	327.4	324.7	323.4	322.0	324.1

(2) 診療科別一日平均入院患者数(月別内訳)

(単位:人)

診 療 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
呼吸器内科	52.3	52.4	62.9	57.7	55.5	49.1	43.3	43.1	39.4	51.3	51.8	42.9	50.1
呼吸器内科(結核・感染症)	18.2	14.4	12.3	8.6	12.9	14.9	18.3	17.4	15.0	20.6	20.9	17.5	15.9
消化器内科	29.9	26.9	26.4	23.1	29.2	26.3	26.9	24.8	30.4	31.3	31.1	24.0	27.5
血液内科	35.1	35.0	36.9	37.7	44.6	40.3	39.5	37.6	39.7	45.1	48.2	48.6	40.7
総合診療科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
循環器内科	2.1	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.8	1.2	0.6	0.7	0.5
内分泌・代謝内科	3.4	2.2	3.4	2.2	1.5	1.4	3.1	2.4	3.0	4.8	7.1	7.5	3.5
脳神経外科	8.7	11.8	14.1	11.4	10.0	14.2	13.6	13.0	13.2	11.4	11.3	13.2	12.2
小児科(重症心身障害児(者))	95.7	96.0	94.5	94.8	94.0	93.0	94.8	93.4	93.4	92.4	92.2	93.4	94.0
小児科	0.1	0.2	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1
呼吸器外科	2.7	6.0	2.5	2.1	3.6	4.0	3.9	5.6	6.3	4.9	4.3	3.8	4.1
消化器外科	16.6	16.0	16.4	14.2	15.4	15.3	15.5	16.1	14.5	12.9	15.6	16.4	15.4
乳腺・内分泌外科	2.7	4.2	2.5	4.1	4.2	2.2	5.6	3.9	3.0	5.4	4.3	4.6	3.9
眼科	1.0	0.8	0.5	0.4	0.8	0.6	0.7	1.1	1.0	0.5	0.7	1.0	0.8
皮膚科	0.9	1.7	3.5	2.7	1.8	1.5	2.6	1.7	1.4	0.8	2.1	1.5	1.9
泌尿器科	19.2	23.1	19.9	19.0	18.5	18.3	15.2	18.9	14.1	17.1	19.1	19.7	18.5
整形外科	4.3	4.5	6.9	10.0	5.4	5.7	6.5	6.7	6.4	7.6	9.9	6.1	6.7
放射線治療科	3.8	2.3	3.0	3.7	3.7	4.5	3.6	5.2	3.5	6.0	4.6	2.7	3.9
緩和ケア科	13.8	13.8	15.8	11.5	13.6	14.5	13.8	12.9	13.0	9.9	12.5	13.8	13.2
救急診療科	0.5	1.8	1.3	1.2	1.1	2.2	3.1	2.8	2.3	2.7	1.6	1.3	1.8
麻酔科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	311.1	313.3	323.0	304.9	316.0	308.0	310.4	306.8	300.5	326.1	337.8	318.7	314.6

(2) 診療科別一日平均外来患者数(月別内訳)

(単位:人)

診 療 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
内科	7.5	6.3	8.1	7.2	7.6	7.6	6.8	8.7	7.3	8.1	8.9	8.0	7.7
血液内科	42.5	44.1	41.4	44.5	40.5	44.8	43.2	45.5	48.0	46.0	44.5	44.0	44.0
緩和ケア科	0.6	0.5	0.4	0.6	0.3	1.1	0.8	0.6	0.4	0.7	0.5	0.6	0.6
小児科(重症心身障害児(者))	1.0	1.1	0.9	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.9	1.9	1.5	1.4	1.2
呼吸器内科	48.5	45.5	42.5	47.2	44.4	45.4	47.1	46.4	48.9	45.8	46.7	48.0	46.3
消化器内科	34.4	33.5	33.4	35.7	34.9	36.7	38.2	40.2	40.6	37.6	36.5	37.8	36.6
総合診療科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1
循環器内科	9.2	9.4	7.9	7.6	8.9	7.5	10.0	7.7	8.8	9.7	8.3	8.1	8.6
循環器外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳神経外科	23.9	21.7	24.5	26.6	22.1	29.3	21.9	28.2	28.9	30.7	26.1	29.9	26.0
消化器外科	18.4	19.9	17.8	19.8	18.3	18.2	22.0	19.2	19.5	22.6	19.8	18.0	19.4
乳腺・内分泌外科	26.6	26.8	26.4	28.5	28.0	30.2	29.8	29.9	30.4	27.8	28.0	28.7	28.4
眼科	11.9	12.9	11.1	13.0	12.9	13.4	13.6	14.5	12.5	12.7	13.0	15.3	13.0
脳神経内科	2.1	1.8	2.8	2.0	3.4	1.8	2.3	2.8	2.2	2.2	2.1	1.5	2.2
耳鼻咽喉科	9.3	10.0	9.9	10.6	8.9	12.6	9.2	12.3	11.1	12.2	11.4	13.4	10.8
皮膚科	23.7	23.9	25.0	25.5	23.6	24.7	25.1	24.9	23.0	23.4	24.1	22.5	24.1
泌尿器科	57.3	56.6	54.1	57.1	56.9	57.6	60.1	59.2	61.9	59.3	62.1	62.0	58.6
内分泌・代謝内科	12.6	12.0	12.9	13.4	12.4	14.5	13.5	13.5	13.9	14.8	15.4	14.5	13.6
呼吸器外科	8.1	6.5	7.9	7.2	5.4	9.8	8.5	6.4	10.4	8.7	7.6	10.1	8.0
整形外科	72.5	70.1	69.2	72.8	67.0	72.0	74.2	68.9	74.6	74.2	71.1	63.6	70.8
放射線診断科	3.5	3.8	3.5	3.7	3.3	3.6	3.4	3.5	3.0	4.2	3.9	4.2	3.6
放射線治療科	35.7	35.1	27.7	26.6	21.7	29.0	26.7	24.7	24.6	23.7	28.8	29.5	27.8
麻酔科	2.1	1.7	1.4	2.1	2.2	1.6	1.9	2.5	2.1	2.4	2.1	2.3	2.0
救急診療科	1.2	1.1	0.9	1.8	1.4	1.3	1.1	1.2	1.5	1.4	1.0	0.9	1.2
精神科(精神腫瘍科)	1.3	1.5	0.9	1.2	1.0	1.2	1.0	1.0	1.3	0.7	1.4	1.3	1.1
合 計	453.1	445.2	430.6	455.3	426.0	464.4	461.5	462.4	476.4	471.2	464.7	465.1	455.8

(3) 患者数の動向等

「入院」

区 分 (単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度計
医療法病床数 (床)	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
在院患者数 (人)	9,266	9,352	9,331	10,321	9,930	9,750	10,366	10,081	10,050	10,279	9,409	9,909	118,044
1 日 平 均 (人)	308.9	301.7	311.0	332.9	320.3	325.0	334.4	336.0	324.2	331.6	336.0	319.6	323.4
取扱患者数 (人)	9,806	9,925	9,888	10,951	10,540	10,303	10,988	10,720	10,681	10,853	9,961	10,559	125,175
1 日 平 均 (人)	326.9	320.2	329.6	353.3	340.0	343.4	354.5	357.3	344.5	350.1	343.5	340.6	342.9
入 院 患 者 数 (人)	554	577	545	673	577	561	662	598	595	636	549	604	7,131
退 院 患 者 数 (人)	540	573	557	630	610	553	622	639	631	574	552	650	7,131
病 床 利 用 率 (%)	68.6	67.0	69.1	74.0	71.2	72.2	74.3	74.7	72.0	73.7	74.7	71.0	71.9
病 床 稼 働 率 (%)	72.6	71.1	73.2	78.5	75.6	76.3	78.8	79.4	76.6	77.8	76.3	75.7	76.2
一般病棟(PCUを除く。再掲)	10.8	10.2	10.6	10.4	10.6	11.0	10.7	10.4	10.5	10.9	11.1	10.3	10.6
平均在院日数 (日)	16.9	16.3	16.9	15.8	16.7	17.5	16.1	16.3	16.4	17.0	17.1	15.8	16.6
病 床 回 転 数 (回)	1.8	1.9	1.8	2.0	1.9	1.7	1.9	1.8	1.9	1.8	1.6	2.0	22.0
死 亡 患 者 数 (人)	27	34	21	40	29	33	30	34	51	44	25	51	419
剖 検 数 (率) (人) (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.5)
患者1人1日診療点数 (点)	5,739.8	6,075.7	6,052.7	6,133.6	5,796.7	5,951.3	6,283.3	5,932.9	6,139.5	5,941.8	6,177.7	6,019.4	6,020.4

「外来」

区 分 (単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R6年度計
延 患 者 数 (人)	8,407	8,862	8,216	8,983	8,352	8,283	9,020	8,391	8,664	8,206	7,754	8,738	101,876
1 日 平 均 (人)	400.3	422.0	410.8	408.3	397.7	435.9	410.0	419.6	433.2	431.9	430.8	436.9	419.2
新 患 者 数 (人)	595	647	616	686	568	574	616	556	576	550	524	624	7,132
1 日 平 均 (人)	28.3	30.8	30.8	31.2	27.0	30.2	28.0	27.8	28.8	28.9	29.1	31.2	29.3
新 患 率 (%)	7.1	7.3	7.5	7.6	6.8	6.9	6.8	6.6	6.6	6.7	6.8	7.1	7.0
再 来 患 者 数 (人)	7,812	8,215	7,600	8,297	7,784	7,709	8,404	7,835	8,088	7,656	7,230	8,114	94,744
1 日 平 均 (人)	372.0	391.2	380.0	377.1	370.7	405.7	382.0	391.8	404.4	402.9	401.7	405.7	389.9
平均通院回数 (回)	14.1	13.7	13.3	13.1	14.7	14.4	14.6	15.1	15.0	14.9	14.8	14.0	14.3
患者1人1日診療点数 (点)	3,317.7	3,228.7	3,030.5	3,357.5	3,117.1	3,358.6	3,187.4	3,210.0	3,060.3	3,125.7	3,207.9	3,075.4	3,189.7
紹 介 率 (%)	91.3	89.0	85.1	84.2	89.3	88.7	94.3	91.2	91.9	96.4	95.6	90.7	90.6

(4) 疾患別入院患者数の月次推移

令和6年度

2020年度 月 疾患名			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
結核・感染	46	55	18.2	14.4	12.3	8.6	13.2	15.9	18.6	17.4	15.0	20.6	20.9	17.5	16.0
重　心	80	78	95.7	96.0	94.5	94.8	94.0	93.0	94.8	93.4	93.4	92.4	92.2	93.4	94.0
が　　ん	167	168	126.8	131.9	141.4	132.0	132.2	115.7	116.8	119.4	115.5	124.5	133.0	129.5	126.5
	#####	74.7	64.3%	65.0%	65.4%	65.5%	63.3%	58.1%	59.3%	60.9%	60.1%	58.4%	59.2%	62.3%	61.8%
そ　の　他	65	57	70.4	71.0	74.8	69.5	76.6	83.4	80.2	76.6	76.6	88.6	91.7	78.3	78.1
入　院　計	358	358	311.1	313.3	323.0	304.9	316.0	308.0	310.4	306.8	300.5	326.1	337.8	318.7	314.6

※ 結核・重心除く一般疾患中で「がん」の占める率 (%)

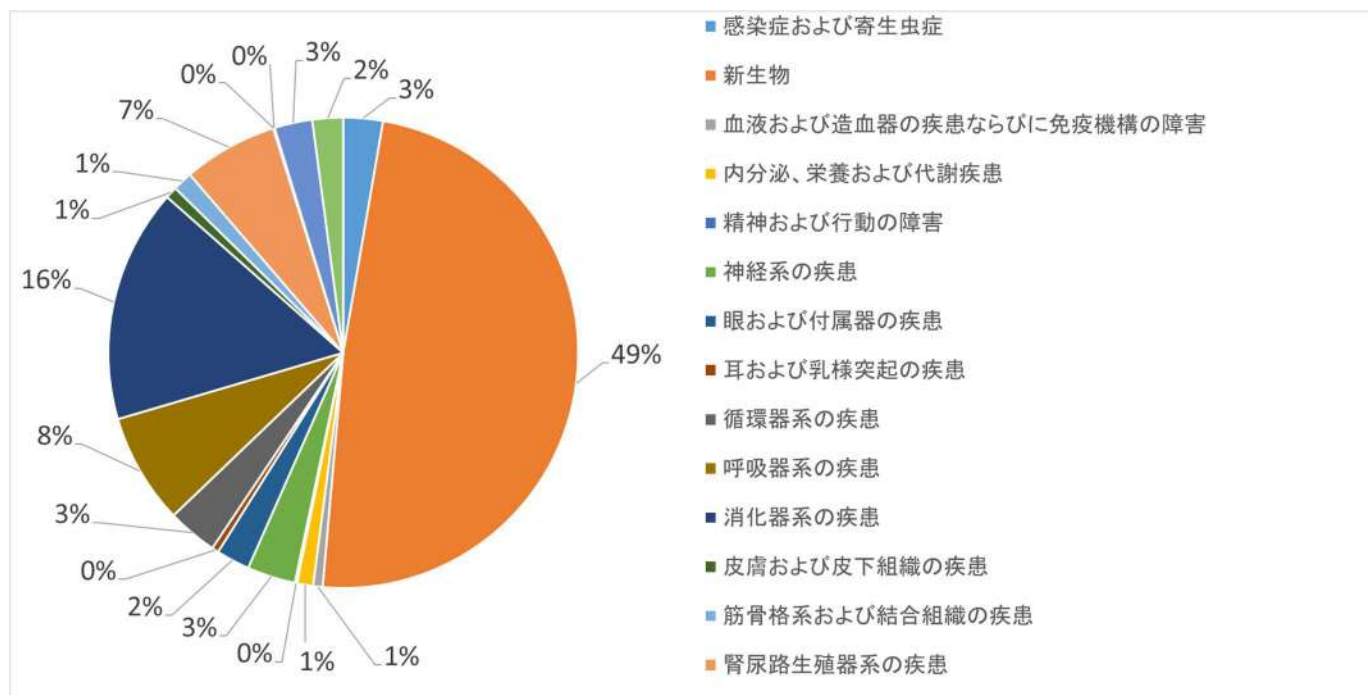
(5) 損益計算書 (令和6年度)

(単位: 円)

勘定科目	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月	累計金額
経常収益	834,988,825	904,825,134	846,352,392	965,932,852	864,797,383	889,167,951	968,586,804	898,842,806	910,020,751	895,663,785	857,206,288	985,232,394	10,821,617,365
診療業務収益	828,595,985	899,020,018	842,541,826	962,136,757	859,420,358	882,984,552	964,388,953	894,125,282	901,537,977	891,315,291	852,930,145	960,025,066	10,739,022,210
医業収益	803,124,796	864,875,380	814,957,936	935,774,000	833,650,606	857,212,448	938,434,467	868,552,215	876,175,352	866,034,792	827,375,320	864,372,790	10,350,540,102
運営費交付金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金等収益	21,629,391	29,729,391	23,069,391	21,629,391	21,629,391	21,629,391	21,629,391	21,629,391	21,141,391	21,141,386	21,268,386	77,751,103	323,877,394
寄附金収益	0	0	121,000	5,000	50,000	0	0	0	0	0	0	1	176,001
その他診療業務収益	3,841,798	4,415,247	4,393,499	4,728,366	4,090,361	4,142,713	4,325,095	3,943,676	4,221,234	4,139,113	4,286,439	17,901,172	64,428,713
教育研修業務収益	0	13,200	0	0	43,450	40,150	0	0	0	0	0	0	96,800
臨床研究業務収益	3,708,861	5,159,386	3,293,328	3,340,493	4,781,114	3,290,753	3,517,971	4,086,471	7,639,779	3,749,607	3,758,187	5,906,784	52,232,734
その他経常収益	2,683,979	632,530	517,238	455,602	552,461	2,852,496	679,880	631,053	842,995	598,887	517,956	19,300,544	30,265,621
経常費用	932,665,938	901,990,001	928,713,744	970,172,360	874,302,516	914,923,563	930,189,232	880,655,606	916,617,676	886,775,561	869,235,071	888,055,541	10,894,296,809
診療業務費	925,464,250	894,294,565	920,262,229	962,273,512	866,202,435	906,729,730	921,722,490	872,824,430	906,903,482	878,248,373	859,721,968	857,817,372	10,772,464,836
給与費	395,389,190	404,857,658	407,330,436	412,320,500	402,215,686	399,897,625	407,624,345	401,195,301	398,930,407	396,572,213	393,719,303	395,388,056	4,815,440,720
材料費	339,302,330	298,340,467	292,137,288	355,358,695	270,037,282	287,032,227	319,592,383	279,026,895	313,893,908	280,339,171	270,251,470	256,572,943	3,561,885,059
委託費	45,836,483	46,526,099	44,754,697	49,521,268	47,213,701	47,168,008	48,358,955	48,260,253	47,726,460	45,398,401	45,604,823	48,275,719	564,644,867
設備関係費	106,094,714	108,763,368	104,018,955	107,021,370	105,408,131	134,051,250	107,434,268	107,595,753	103,032,371	110,946,095	108,801,873	119,787,911	1,322,956,059
研究研修費	70,380	101,439	224,880	233,200	325,040	80,380	80,380	70,380	115,980	102,793	70,380	875,090	2,350,322
経費	38,771,153	35,705,534	71,795,973	37,818,479	41,002,595	38,500,240	38,632,159	36,675,848	43,204,356	44,889,700	41,274,119	36,917,653	505,187,809
看護師等養成所運営費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床研究業務費	4,919,754	4,927,810	5,393,606	4,747,056	5,248,805	5,225,322	5,068,071	4,919,705	6,323,224	5,380,294	6,325,828	10,447,713	68,927,188
一般管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経常費用	2,281,934	2,767,626	3,057,909	3,151,792	2,851,276	2,968,511	3,398,671	2,911,471	3,390,970	3,146,894	3,187,275	19,790,456	52,904,785
経常利益	-97,677,113	2,835,133	-82,361,352	-4,239,508	-9,505,133	-25,755,612	38,397,572	18,187,200	-6,596,925	8,888,224	-12,028,783	97,176,853	-72,679,444
臨時利益	0	0	0	0	0	0	0	10,239,794	0	0	0	0	10,239,794
臨時損失	0	0	0	178,750	0	0	0	0	0	0	0	17,454,908	17,633,658
当期総利益	-97,677,113	2,835,133	-82,361,352	-4,418,258	-9,505,133	-25,755,612	38,397,572	28,426,994	-6,596,925	8,888,224	-12,028,783	79,721,945	-80,073,308
医業収支率	86.8	96.7	88.6	97.2	96.2	94.5	101.8	99.5	96.6	98.6	96.2	100.8	96.1
経常収支率	89.5	100.3	91.1	99.6	98.9	97.2	104.1	102.1	99.3	101.0	98.6	110.9	99.3
人件費率	3.8	3.9	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	46.5
材料費率	3.3	2.9	2.8	3.4	2.6	2.8	3.1	2.7	3.0	2.7	2.6	2.5	34.4
委託費率	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	5.5
設備関係費率	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.3	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	12.8
研究研修費率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経費率	0.4	0.3	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	4.9

(6) 令和6年度退院患者 疾病大分類

ICDコード	分類名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A00-B99	感染症および寄生虫症	16	10	12	22	15	20	18	9	11	21	13	24	191
C00-D48	新生物	256	299	290	294	253	247	297	311	312	263	268	324	3,414
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1	6	2	5	6	2	6	3	3	3	8	1	46
E00-E90	内分泌、栄養および代謝疾患	10	3	7	8	4	10	6	8	3	6	6	6	77
F00-F99	精神および行動の障害	0	2	1	1	1	1	0	0	1	1	2	1	11
G00-G99	神経系の疾患	13	16	15	30	30	17	19	20	22	13	15	23	233
H00-H59	眼および付属器の疾患	15	14	17	15	13	8	20	11	12	10	12	15	162
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	0	3	4	6	3	3	6	1	3	3	1	0	33
I00-I99	循環器系の疾患	17	16	15	15	16	15	21	26	20	23	25	32	241
J00-J99	呼吸器系の疾患	43	34	40	36	41	37	37	51	58	71	40	45	533
K00-K99	消化器系の疾患	96	83	85	88	110	101	107	107	94	82	80	94	1,127
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	4	4	6	5	4	5	3	7	6	3	6	4	57
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	4	11	3	12	5	8	13	8	12	4	8	7	95
N00-N99	腎尿路生殖器系の疾患	35	44	32	43	52	32	36	48	39	31	32	32	456
O00-O99	妊娠、分娩および産じょく〈褥〉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P00-P99	周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q00-Q99	先天奇形、変形および染色体異常	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	5
R00-R99	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
S00-T98	損傷、中毒およびその他の外因の影響	6	13	13	19	19	15	16	19	12	19	16	16	183
V01-Y98	傷病および死亡の外因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
U00-U99	特殊目的用コード	18	9	5	24	25	18	6	2	12	12	10	7	148
	合計	534	568	548	623	597	541	611	631	620	566	542	633	7,014



(8) 令和6年度 月別救急患者取扱件数

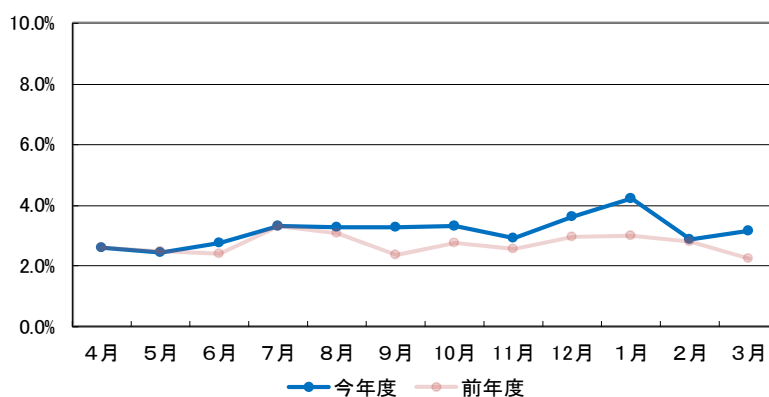
(単位:件、%)

区 分	総計 (時間内+時間外)	時間内				時 間 外							
	救急患者 総数	救急患者数				救急患者数				1日平均救急患者数			
		入院数	救急車 搬送数	救急車 搬送入院数		入院数	救急車 搬送数	救急車 搬送入院数		入院数	救急車 搬送数	救急車 搬送入院数	
2021年度 平均値	399.0	209.2	53.8	38.8	24.8	189.8	69.5	55.6	32.1	6.2	2.3	1.8	1.1
2022年度 平均値	381.6	168.8	67.8	46.4	27.3	212.8	76.9	70.8	41.3	7.0	2.5	2.3	1.4
2023年度 平均値	251.5	71.9	37.4	39.0	23.7	179.6	64.3	56.5	33.8	5.9	2.1	1.9	1.1
4 月	218	60	32	34	22	158	57	54	34	5.3	1.9	1.8	1.1
5 月	218	52	32	33	24	166	70	56	30	5.4	2.3	1.8	1.0
6 月	228	68	40	41	25	160	59	57	29	5.3	2.0	1.9	1.0
7 月	299	88	53	56	36	211	79	52	36	6.8	2.5	1.7	1.2
8 月	274	59	35	35	24	215	92	67	43	6.9	3.0	2.2	1.4
9 月	273	65	34	39	26	208	79	61	37	6.9	2.6	2.0	1.2
10 月	299	82	45	47	31	217	86	74	47	7.0	2.8	2.4	1.5
11 月	247	59	32	40	27	188	70	71	45	6.3	2.3	2.4	1.5
12 月	315	90	52	65	42	225	76	76	46	7.3	2.5	2.5	1.5
1 月	348	76	43	46	32	272	96	94	62	8.8	3.1	3.0	2.0
2 月	223	65	36	36	28	158	59	57	31	5.6	2.1	2.0	1.1
3 月	275	102	55	61	14	173	73	77	46	5.6	2.4	2.5	1.5
計	3,217	866	489	533	331	2,351	896	796	486	—	—	—	—
平均	268.1	72.2	40.8	44.4	27.6	195.9	74.7	66.3	40.5	6.4	2.5	2.2	1.3
対前年度平均値比較	106.6%	100.3%	—	—	—	109.1%	116.1%	117.4%	119.7%	109.4%	116.4%	117.7%	120.0%

区 分	救 急 患者数	外 来 患者数	救急患 者 割 合
4 月	218	8,408	2.6%
5 月	218	8,867	2.5%
6 月	228	8,217	2.8%
7 月	299	8,986	3.3%
8 月	274	8,353	3.3%
9 月	273	8,285	3.3%
10 月	299	9,022	3.3%
11 月	247	8,397	2.9%
12 月	315	8,667	3.6%
1 月	348	8,211	4.2%
2 月	223	7,758	2.9%
3 月	275	8,747	3.1%
計	3,217	101,918	3.2%
月平均	268.1	8,493.2	3.2%

※上記外来患者はCPA含む

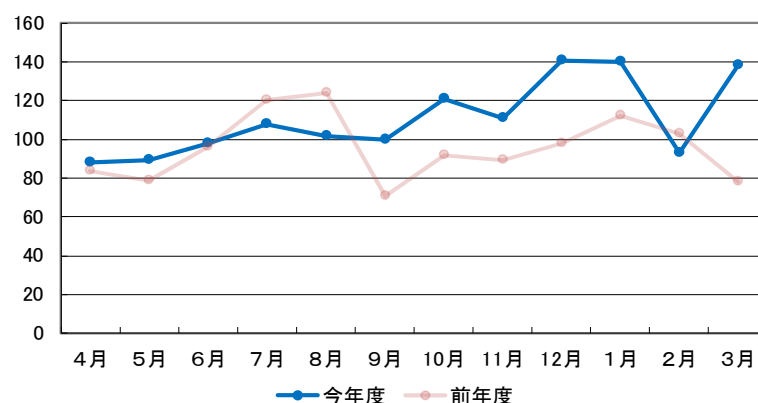
救急患者割合



【(再掲)救急車搬送数】

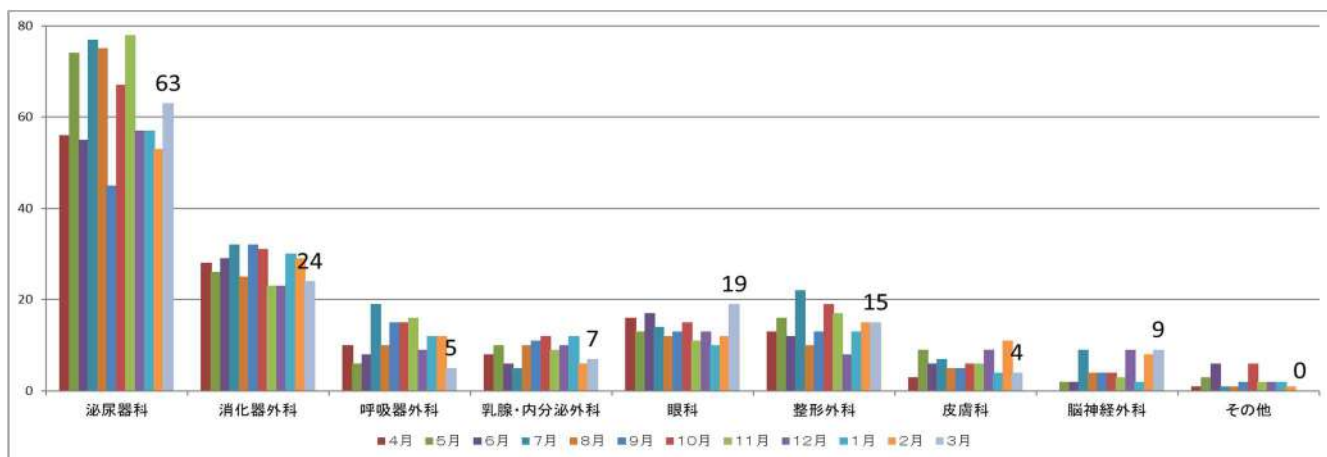
区分	合計	時間内	時間外
2021年度平均値	94.4	38.8	55.6
2022年度平均値	117.3	46.4	70.8
2023年度平均値	95.5	39.0	56.5
4 月	88	34	54
5 月	89	33	56
6 月	98	41	57
7 月	108	56	52
8 月	102	35	67
9 月	100	39	61
10 月	121	47	74
11 月	111	40	71
12 月	141	65	76
1 月	140	46	94
2 月	93	36	57
3 月	138	61	77
計	1,329	533	796
月平均	110.8	44.4	66.3

救急車搬送数



(9) 手術件数(診療科別・麻酔種別)の推移

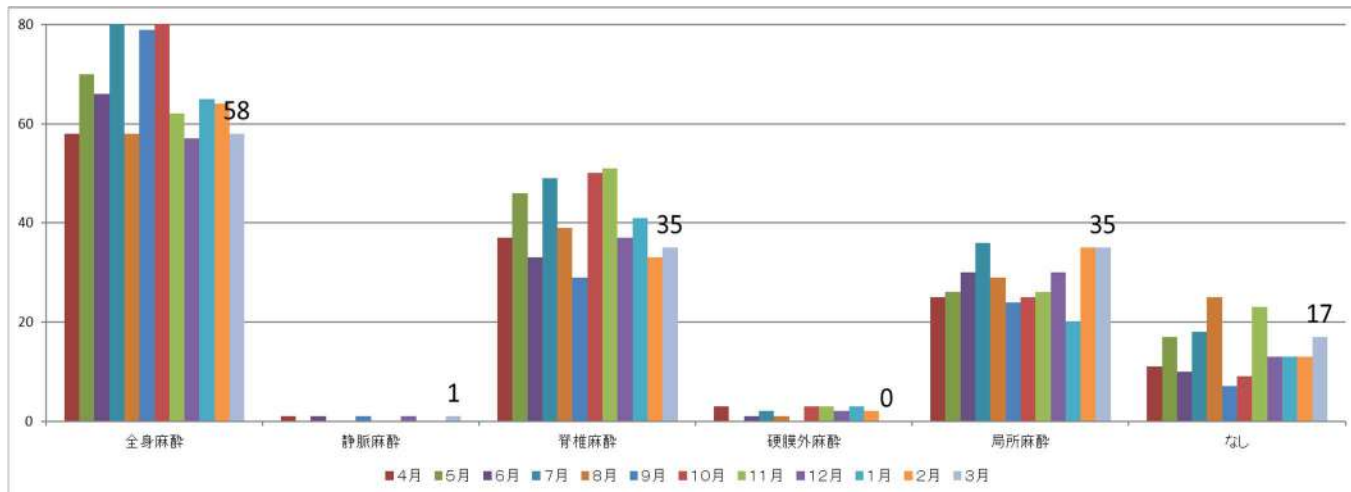
手術件数



(単位:件数)

診療科	(参考)2021 年度月平均値	(参考)2022 年度月平均値	(参考)2023 年度月平均値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均値
泌尿器科	50.8	64.8	64.8	56	74	55	77	75	45	67	78	57	57	53	63	757	63.1
消化器外科	17.4	22.3	23.3	28	26	29	32	25	32	31	23	23	30	29	24	332	27.7
呼吸器外科	13.1	10.5	13.2	10	6	8	19	10	15	15	16	9	12	12	5	137	11.4
乳腺・内分泌外科	9.4	8.3	9.8	8	10	6	5	10	11	12	9	10	12	6	7	106	8.8
眼科	11.1	12.4	11.8	16	13	17	14	12	13	15	11	13	10	12	19	165	13.8
整形外科	16.9	13.3	14.8	13	16	12	22	10	13	19	17	8	13	15	15	173	14.4
皮膚科	4.7	3.8	5.5	3	9	6	7	5	5	6	6	9	4	11	4	75	6.3
脳神経外科	5.3	5.7	5.0	0	2	2	9	4	4	4	3	9	2	8	9	56	4.7
その他	0.3	0.0	0.9	1	3	6	1	1	2	6	2	2	2	1	0	27	2.3
合計	129.0	140.9	149.0	135	159	141	186	152	140	175	165	140	142	147	146	1,828	152.3
参考:2021年度件数	-	-	-	148	105	124	119	123	133	135	137	130	140	119	135	1,548	129.0
参考:2022年度件数	-	-	-	134	142	148	152	149	132	134	137	137	126	142	158	1,691	140.9
参考:2023年度件数	-	-	-	144	156	131	145	160	141	143	157	156	141	152	162	1,788	149.0

麻酔件数



(単位:件数)

麻酔種別	(参考)2021 年度月平均値	(参考)2022 年度月平均値	(参考)2023 年度月平均値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均値
全身麻酔	55.2	58.9	65.2	58	70	66	81	58	79	88	62	57	65	64	58	806	67.2
静脈麻酔	0.0	0.0	0.3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	5	0.4
脊髄麻酔	40.5	43.7	42.6	37	46	33	49	39	29	50	51	37	41	33	35	480	40.0
硬膜外麻酔	0.8	1.8	1.5	3	0	1	2	1	0	3	3	2	3	2	0	20	1.7
局所麻酔	23.8	25.1	25.1	25	26	30	36	29	24	25	26	30	20	35	35	341	28.4
なし	8.8	11.5	14.3	11	17	10	18	25	7	9	23	13	13	13	17	176	14.7
合計	129.0	140.9	149.0	135	159	141	186	152	140	175	165	140	142	147	146	1,828	152.3
全身麻酔割合	42.8%	41.8%	44.0%	43.0%	44.0%	46.8%	43.5%	38.2%	56.4%	50.3%	37.6%	40.7%	45.8%	43.5%	39.7%	44.1%	

(10)内視鏡検査等の実績推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡検査	196	192	204	217	177	178	244	231	183	152	130	165	2,269
下部内視鏡検査	132	132	120	106	124	103	134	125	120	100	94	101	1,391
気管支鏡検査	10	16	14	13	14	14	17	9	11	14	7	15	154
件数計	338	340	338	336	315	295	395	365	314	266	231	281	3,814
緊急件数(再掲)	26	18	19	28	12	12	17	20	20	14	21	11	218

上部内視鏡検査内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡的消化管止血術		1	1	1		3	4	1	3	1	4	2	21
APC	1		1	1			1				1	2	7
バルン拡張術													0
ERCP	19	19	12	16	19	10	14	17	12	12	15	10	175
EUS	2	1	1					1	1	2	1		9
EUS-FNA	1	1		1	4		1	3	1	3	1	3	19
ステント挿入									1	1			2
マーキング		1	1	2	3	2	2		1	1	3	2	18
内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)							1	1			1	1	4
内視鏡的静脈瘤硬化療法(EIS)	2	1		2			2	2		5	1	1	16
内視鏡的粘膜切除術(EMR)	1		1					1	1				4
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	3		3	3	2	4	5			1		3	24
胃瘻造設術(PEG)		2	1			2	2		1	1			9
胃瘻交換術	3	5	2	2	4	2	3	4	1	2	2	1	31
イレウス管挿入	2	5	4	8	3	1	2	4	3	1	3	2	38
その他		3	1	4		2	1		2		2	2	17

下部内視鏡検査内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡的粘膜切除術(EMR)	23	15	14	15	25	14	21	26	13	16	14	11	207
ポリペクトミー	22	18	16	23	35	31	39	37	25	34	26	27	333
内視鏡的消化管止血術	2	4	4	1	6		2	1	1	2	2	1	26
ステント挿入	1		1	1			1		2				6
バルン拡張術													0
経肛門的イレウス管挿入	1	1							1				3
マーキング	5	9	2	5	5		7	3	2	3	3	4	48
ESD													0
APC アルゴンプラズマ凝固法	5	3	3	4	2		2	3	4	3	2		31
内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)				1	1		1						3
その他		4			2		4	2	2	4	7	1	26

気管支鏡検査内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
EBUS-TBNA	2	5		1			1	2	1	2	1	1	16
EBUS-GS	4	8	4	7	7	4	3	2	3	2	2	5	51
ESWL													0

その他	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
RFA	1	5	3	9		2	2	1		1	1	1	26
PTCD挿入・PTGBD挿入	1	3	2	3	2	5	3	1	2	2	3	2	29
PTCD抜去・PTGBD抜去		1			1	2	2			1			7
小腸バルーン挿入													0
胸腔鏡				2			1						3
チューブ造影	4	5	1	7	4	6	6	4	5	1	1	1	45
イレウス管抜去													0
胆嚢胞硬化療法		1											1
PTEG													0
その他	5	5	8	8	2	8	7	4	5	4	7	7	70

(11)実習生受入状況

依頼元	学生数	期間	日数	受入先	職種	備考
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	15	2024/5/8～ 5/22	11	看護部	看護師	経過別看護学 (終末期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	14	2024/5/28～ 6/11	11	看護部	看護師	経過別看護学 (終末期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	15	2024/6/18～ 7/2	11	看護部	看護師	経過別看護学 (終末期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	10	2024/11/26～ 12/11	12	看護部	看護師	経過別看護学 (終末期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	9	2025/1/7～ 1/22	11	看護部	看護師	経過別看護学 (終末期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	9	2025/2/4～ 2/19	11	看護部	看護師	経過別看護学 (終末期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	7	2024/9/24～ 10/8	11	看護部	看護師	経過別看護学 (慢性期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	7	2024/10/15～ 10/29	11	看護部	看護師	経過別看護学 (慢性期)
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	22	2024/7/8～ 7/23	11	看護部	看護師	基礎看護学 実習Ⅱ
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	17	2024/11/5～ 11/19	11	看護部	看護師	統合実習
高崎総合医療センター 附属高崎看護学校	17	2025/1/27～ 1/31	5	診療放射線	放射線技師	基礎看護学 実習Ⅰ
群馬大学医学部 5ターム	1	2024/4/1～ 4/26	13	医局	医師	臨床実習(5)
群馬大学医学部 5ターム	1	2024/4/1～ 4/26	20	医局	医師	臨床実習(5)
群馬大学医学部 6ターム	1	2024/5/13～ 6/7	19	医局	医師	臨床実習(6)
群馬大学医学部 7ターム	2	2024/6/10～ 7/5	18	医局	医師	臨床実習(7)
群馬大学医学部 8ターム	1	2024/7/8～ 7/19	9	医局	医師	振替実習
群馬大学医学部 8ターム	1	2024/7/8～8/2	19	医局	医師	臨床実習(8)
2024-2025 群馬大学医学部 1ターム	2	2024/9/30～ 10/25	19	医局	医師	臨床実習(1)
2024-2025 群馬大学医学部 1ターム	1	2024/9/30～ 10/25	18	医局.	医師	臨床実習(1)
2024-2025 群馬大学医学部 2ターム	1	2024/10/28～ 11/22	19	医局.	医師	臨床実習(2)

依頼元	学生数	期間	日数	受入先	職種	備考
2024-2025 群馬大学医学部 2ターム	2	2024/10/28～ 11/22	18	医局	医師	臨床実習(2)
2024-2025 群馬大学医学部 3ターム	2	2024/11/25～ 12/20	20	医局	医師	臨床実習(3)
2024-2025 群馬大学医学部 4ターム	1	2025/1/6～ 1/31	13	医局	医師	臨床実習(4)
2024-2025 群馬大学医学部 4ターム	1	2025/1/6～ 1/31	19	医局	医師	臨床実習(4)
2024-2025 群馬大学医学部 4ターム	1	2025/1/6～ 1/31	17	医局	医師	臨床実習(4)
2024-2025 群馬大学医学部 5ターム	2	2025/2/3～ 2/28	18	医局	医師	臨床実習(5)
2024-2025 群馬大学医学部 5ターム	1	2025/2/3～ 2/28	17	医局	医師	臨床実習(5)
2024-2025 群馬大学医学部 6ターム	3	2025/3/3～ 3/28	19	医局	医師	臨床実習(6)
2024-2025 群馬大学医学部 7ターム	3	R7.3.31	1	医局	医師	臨床実習(7)
群馬医療福祉大学 (看護学部)	36	2024/7/4～ 11/7	34	看護部	看護師	小児看護学実習
群馬医療福祉大学 (看護学部)	12	2024/7/29～ 8/1	8	看護部	看護師	施設・病棟 統合実習
群馬医療福祉大学 (社会福祉学部)	1	2024/5/20～ 5/30	8	医療福祉 相談室	社会福祉士	ソーシャルワーク 実習
高崎健康福祉大学 (社会福祉学科)	1	2024/8/13～ 9/18	24	医療福祉 相談室	社会福祉士	ソーシャルワーク 実習Ⅱ
高崎健康福祉大学 (健康栄養学科)	1	2024/7/1～ 7/12	10	栄養管理	管理栄養士	臨地実習Ⅲ
高崎健康福祉大学 (看護学科)	6	2024/9/24～ 7/12	5	看護部	看護師	統合実習
高崎健康福祉大学 (看護学科)	5	2024/11/26～ 11/27	2	看護部	看護師	小児看護学
高崎健康福祉大学 (看護学科)	4	2024/12/3～ 12/10	5	看護部	看護師	小児看護学
高崎健康福祉大学 (看護学科)	1	2024/12/9～ 12/12	3	看護部	看護師	小児看護学 (追実習生)
高崎健康福祉大学 (看護学科)	2	2024/10/30～ 11/28	17	看護部	認定看護師	認定看護師
つくば国際大学	2	2024/5/7～ 6/24	35	放射線	放射線技師	臨地実習

依頼元	学生数	期間	日数	受入先	職種	備考
群馬パース大学	6	2024/5/7～ 7/12	49	放射線	放射線技師	臨床実習
群馬パース大学	3	2024/5/13～ 7/5	40	検査	検査技師	臨地実習
群馬パース大学	8	2024/7/9～ 7/12	4	看護部	看護師	統合実習
群馬パース大学	8	2024/7/16～ 7/19	4	看護部	看護師	統合実習
群馬パース大学	15	2024/8/27～ 9/20	18	看護部	看護師	成人看護学実習
群馬パース大学	10	2025/1/7～2/4	18	看護部	看護師	成人看護学実習
群馬パース大学	11	2025/2/12～ 2/20	7	看護部	看護師	臨床看護基盤 実習
群馬パース大学	12	2025/2/25～ 3/5	7	看護部	看護師	臨床看護基盤 実習
群馬パース大学	3	2024/9/4～9/5	2	放射線	放射線技師	診療放射線学 導入実習
群馬パース大学	3	2024/9/11～ 9/12	2	放射線	放射線技師	診療放射線学 導入実習
上武大学	4	2024/5/7～ 6/28	32	看護部	看護師	小児看護学実習
上武大学	10	2024/7/23～ 7/25	3	看護部	看護師	統合実習
上武大学	8	2024/7/30～ 8/1	3	看護部	看護師	統合実習
上武大学	2	2024/8/19～ 8/30	10	救急診療科	救急救命士	救急処置実習 (院内実習)
上武大学	1	2024/9/2～ 9/13	10	救急診療科	救急救命士	救急処置実習 (院内実習)
上武大学	1	2025/2/3～ 2/17	10	救急診療科	救急救命士	救急処置実習 (院内実習)
渋川看護専門学校	17	2024/5/13～ 10/4	8	看護部	看護師	成人看護学実習Ⅲ (周手術期)
渋川看護専門学校	5	2024/11/5～ 11/22	11	看護部	看護師	看護の質保障実習
渋川看護専門学校	4	2025/1/14～ 1/30	12	看護部	看護師	成人看護学実習Ⅱ (セルフ マネジメント)
渋川看護専門学校	4	2025/2/10～ 2/27	12	看護部	看護師	成人看護学実習Ⅱ (セルフ マネジメント)

依頼元	学生数	期間	日数	受入先	職種	備考
渋川看護専門学校	12	2025/3/3～ 3/21	12	看護部	看護師	成人看護学実習Ⅱ (セルフ マネジメント)
群馬県立 県民健康科学大学	7	2024/7/23～ 7/24	2	看護部	看護師	保健医療チーム 連携論Ⅱ
群馬県立 県民健康科学大学	3	2024/7/23～ 7/24	2	放射線	放射線技師	保健医療チーム 連携論Ⅱ
前橋医療福祉専門学校	1	2024/10/28～ 11/15	10	リハビリ	理学療法士	臨床実習Ⅰ②-1
前橋医療福祉専門学校	1	2024/11/18～ 11/29	10	リハビリ	理学療法士	臨床実習Ⅰ②-2
大東文化大学	1	2025/1/14～ 3/14	42	検査科	臨床検査技師	臨床検査全般
高崎健康福祉医療 カレッジ	4	2025/2/18～ 2/19	2	看護部	看護師	小児看護学

(1 2) 職員数増減

基準日	医療職（一）	医療職（二）	医療職（三）	事務職 診療情報管理職	技能職	福祉職	療養介助職	合計
令和4年4月1日 (渋川医療センター)	56	83	350	23	9	14	4	539
令和5年4月1日 (渋川医療センター)	58	85	351	23	9	14	3	543
令和6年4月1日 (渋川医療センター)	59	87	351	23	9	15	4	548
増減（前年度比較）	1	2	0	0	0	1	1	5

(13)各職場における統計資料（令和6年度）

血液内科

【血液疾患延べ入院患者数(血液内科:1990年～2024年度)】

(単位:人)

年	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の血液疾患	合計
1990	1	1	0	2	4
1991	3	4	0	6	2004
1992	14	12	13	9	2040
1993	19	13	20	26	2071
1994	24	18	26	25	2087
1995	44	11	23	43	2116
1996	49	20	29	45	2139
1997	60	32	31	24	2144
1998	68	54	25	38	2183
1999	82	58	20	30	2189
2000	93	61	27	24	2205
2001	85	57	18	22	2183
2002	73	64	26	32	2197
2003	111	56	17	15	2202
2004	153	68	21	37	2283
2005	184	56	38	40	2323
2006	262	102	31	42	2443
2007	312	133	24	33	2509
2008	387	242	19	53	2709
2009	281	191	19	34	2534
2010	273	424	16	25	2748
2011	347	418	23	44	2843
2012	264	472	34	25	2807
2013	351	276	35	36	2711
2014	336	202	41	63	2656
2015	359	157	69	34	2634
2016	184	191	53	31	2475
2017	201	257	46	46	2567
2018	160	190	36	75	2479
2019	206	147	38	70	2480
2020	221	125	62	59	2487
2021	301	82	58	89	2551
2022	290	91	69	88	2560
2023	306	98	77	108	2612
2024	338	113	74	87	612
合計	6442	4496	1158	1460	79787

【血液疾患新規入院患者数(血液内科:2005年～2024年度)】

(単位:人)

年	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の血液疾患	合計
2005	46	16	8	16	86
2006	48	22	6	12	88
2007	33	31	4	13	81
2008	50	16	12	13	91
2009	49	29	7	12	97
2010	45	29	4	15	93
2011	56	23	5	23	107
2012	45	32	15	16	108
2013	41	30	16	23	110
2014	42	19	20	17	98
2015	30	23	9	13	75
2016	31	21	8	12	72
2017	41	12	9	13	75
2018	43	14	12	35	104
2019	47	18	9	23	97
2020	60	13	14	20	107
2021	56	15	19	32	122
2022	47	19	19	23	108
2023	67	24	12	32	135
2024	67	15	14	24	120
合計	944	421	222	387	1974

【自家末梢血幹細胞移植患者数(血液内科:1996年～2024年度)】

(単位:人)

年	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	急性白血病	その他	合計
1996	1	0	0		1
1997	6	2	0		8
1998	10	6	0		16
1999	4	5	0		9
2000	9	9	0		18
2001	5	7	0		12
2002	0	11	0		11
2003	2	13	0		15
2004	2	6	0		8
2005	8	6	0		14
2006	7	8	0		15
2007	4	17	0		21
2008	1	14	0		15
2009	5	4	0		9
2010	4	9	1		14
2011	2	5	0		7
2012	2	6	0		8
2013	3	9	0		12
2014	0	6	0		6
2015	2	5	0		7
2016	1	4	0		5
2017	3	6	0		9
2018	1	1	0		2
2019	0	0	0		0
2020	2	3	0		5
2021	1	4	0		5
2022	2	0	0		2
2023	2	6	0		8
2024	1	4	0	1	6
合計	90	176	1	1	268

【自家末梢血幹細胞移植(tandem移植)患者数(血液内科:1996年～2024年度)】

(単位:人)

年	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	合計
1996	0	0	0
1997	1	0	1
1998	4	3	7
1999	0	1	1
2000	2	4	6
2001	0	1	1
2002	0	5	5
2003	0	6	6
2004	0	4	4
2005	0	1	1
2006	0	1	1
2007	0	5	5
2008	0	5	5
2009	0	2	2
2010	0	1	1
2011	0	0	0
2012	0	0	0
2013	0	0	0
2014	0	0	0
2015	0	0	0
2016	0	0	0
2017	0	0	0
2018	0	0	0
2019	0	0	0
2020	0	0	0
2021	0	0	0
2022	0	0	0
2023	0	0	0
2024	0	0	0
合計	7	39	46

【新規薬剤による多発性骨髄腫の患者数(血液内科:2001年～2024年度)】

(単位:人)

年	ボルテゾミブ	サリドマイド	レナリドミド	ボマリドマイド	ファリーダック	カルフィルゾミブ	エロツズマブ	ダラツムマブ	イキサゾミブ	イサツキシマブ	合計
2001		1									1
2002		2									2
2003		1									1
2004		7									7
2005	1	7									8
2006	2	8									10
2007	13	6									19
2008	12	5									17
2009	23	10									33
2010	14	5	20								39
2011	31	12	16								59
2012	41	7	21								69
2013	35	10	23								68
2014	23	9	25								57
2015	21	1	19	10	5						56
2016	22	0	30	7	7	5	10		1		82
2017	11	0	16	12	2	10	12	15	6		84
2018	12	1	19	6	0	8	10	15	5		76
2019	9	0	8	10	1	5	8	6	2		49
2020	10	0	17	6	0	3	2	10	1	6	55
2021	9	1	13	12	0	7	5	18	4	12	81
2022	8	0	18	7	0	6	1	20	0	8	68
2023	12	0	24	6	0	3	3	16	3	12	79
2024	8	0	8	7	0	6	1	7	2	6	45
合計	317	93	277	83	15	53	52	107	24	44	1065

【新規薬剤による悪性リンパ腫の患者数(血液内科:2018年～2024年度)】

(単位:人)

年	ガザイバ	イストダックス	ジフォルタ	アドセトリス	ポライビー	合計
2018	4	1	1	0		6
2019	13	3	2	1		19
2020	8	2	1	4		15
2021	11	1	0	4	3	19
2022	6	0	1	6	16	29
2023	13	0	1	7	15	36
2024	8	0	0	3	15	26
合計	63	7	6	25	49	150

緩和ケア科

【緩和ケア病棟入院実績（令和6年度）】

	入院患者	院内	院外	再入院	在院日数	死亡割合
4月	11	7	1	3		
5月	19	9	7	3		
6月	9	6	1	2		
7月	13	7	6	0		
8月	15	7	5	3		
9月	9	6	1	2		
10月	14	8	5	1		
11月	9	5	2	2		
12月	15	11	0	4		
1月	14	11	3	0		
2月	10	7	3	0		
3月	10	3	6	1		
合計	148	87	40	21	33.13日	83.10%

呼吸器内科（結核部門）

【令和6年度 月別・疾患別 結核病棟入院患者数】

		結核	非結核性 抗酸菌症	その他	合計
令和6年	4月	6	0	0	6
	5月	4	0	1	5
	6月	4	0	0	4
	7月	9	1	0	10
	8月	5	0	0	5
	9月	5	1	0	6
	10月	6	2	0	8
	11月	3	0	0	3
	12月	7	1	0	8
令和7年	1月	2	2	1	5
	2月	2	0	1	3
	3月	4	0	0	4
合計		57	7	3	67

その他：肺炎 1例、膿胸 1例、肺がん 1例

【令和6年度 年齢階級別 結核病棟入院患者数（外国人数）】

年齢	人数
～19歳	0(0)
20～29歳	7(6)
30～39歳	4(4)
40～49歳	4(1)
50～59歳	7(1)
60～69歳	3(0)
70～79歳	10(0)
80～89歳	23(0)
90歳～	9(0)

42(62.7%)

外国人：12例(18.2%)

【令和6年度 管轄保健所別 結核病棟入院結核患者数（外国人数）】

県内	前橋市	14(2)
	高崎市	3(0)
	藤岡	1(0)
	富岡	0(0)
	安中	2(0)
	渋川	5(2)
	吾妻	2(0)
	利根沼田	5(1)
	伊勢崎	10(3)
	桐生	6(1)
	太田	4(1)
	館林	4(1)
県外	東京都	1(0)

計 57(11)

循環器内科

令和6年度 入院患者数（退院サマリーベース）

	疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度
循環器疾患	心不全(*)	5	1	1		1		2	1	3	2	2	4	22	23	15	24	19	28	33	36	29
	不整脈		1					1					1	3	0	3	3	4	0	5	4	9
	DVT/PE							1						1	0	0	1	0	2	46	5	45
	その他			1	1	3	1		1		1			8	3	1	5	1	4	8	5	7
非循環器疾患	感染症(**)	4	2	3	11	4	4	6	3	7	16	7	6	73	37	30	9	12	14	11		
	めまい			2	2	1	2	4		1				12	7	12	9	2	3	10		
	外傷								1	1	1			3	6	5	4	4	6	3	41	63
	その他	2	2	3	5	3	2	2	1	5	2	2	1	30	28	40	23	21	21	17		67
合計		11	6	10	19	12	9	16	7	17	22	11	12	152(38)	104(13)	106(31)	78	63	78	87	108	112

疾患：重複するものは主たるもので分類。症例数に重複無し。病棟に入院しなかったCPAは含めず。

(*) 不整脈や弁膜症を起因とする心不全を含む

(**) 肺炎・気管支炎・インフルエンザ・新型コロナ感染・蜂窩織炎などを含む。不明熱はその他に分類。

() 合計数のうち、救急診療科高橋医師が担当した入院患者数

整形外科

整形外科手術件数（令和 6 年度）		
術式		計 188 例
関節鏡手術(手・肘関節)		11
変形性関節症 (手・手指領域)	指人工関節置換術	3
	指関節形成術	3
	母指 CM 関節形成術	7
上肢神経障害手術	手根管手術	8
	肘部管手術	9
手指領域感染症・滑膜切除術		3
皮弁形成術		12
Dupuytren 拘縮に対する手術		1
腱縫合術・腱移行術		3
腱鞘切開術		14
足部再建術(糖尿病・感染等による)		6
軟部腫瘍切除術		16
股関節外科	人工股関節置換術	43
大腿骨近位部骨折		19
その他（外傷・抜釘術など）		30

消化器外科

2024年度 手術件数

手術	開腹等での手術 (例)		腹腔鏡下手術 (例)		ロボット支援 腹腔鏡下手術 (例)		合計 (例)
胃切除術（悪性）	2	9 %	21	91 %	0	0 %	23
胃切除術（良性）	2	100 %	0	0 %	0	0 %	2
大腸切除術（悪性）	7	8 %	6	7 %	72	85 %	85
大腸切除術（良性）	4	44 %	4	44 %	1	11 %	9
胆嚢摘出術	0	0 %	38	100 %	0	0 %	38
虫垂切除術	0	0 %	35	100 %	0	0 %	35
切除術（その他）	2	100 %	0	0 %	0	0 %	2
鼠径・腹壁ヘルニア手術	29	26 %	82	74 %	0	0 %	111
腸閉塞・イレウス手術	0	0 %	23	100 %	0	0 %	23
人工肛門造設術・閉鎖術	8	50 %	8	50 %	0	0 %	16
消化管吻合・縫合術	0	0 %	5	100 %	0	0 %	5
リンパ節生検	1	50 %	1	50 %	0	0 %	2
審査腹腔鏡・試験切除術	0	0 %	1	100 %	0	0 %	1
胃十二指腸潰瘍手術	1	25 %	3	75 %	0	0 %	4
合計	56	16 %	227	64 %	73	21 %	356

泌尿器科

令和6年度手術件数

分類	術式	合計
腎	腎部分切除術	0
	単純腎摘	0
	腎瘻造設術	6
	ラパロ腎摘	0
	開腹根治的腎摘除術	2
腎盂・尿管	腎尿管全摘除術	4
	D-J スtent留置・交換	262
膀胱	TUR-BT	141
	膀胱生検	0
	膀胱異物除去	0
	膀胱部分切除術	2
	膀胱憩室摘除術	0
	膀胱全摘除術	3
	膀胱瘻造設術	6
尿路変更	回腸導管造設術	3
	尿管皮膚瘻	0
前立腺	TUR-P	15
	HoLEP	0
	RARP	21
	スペースOAR	19
	前立腺生検	198
精巣・陰のう	高位精巣摘除術	2
	除辜術	11
	陰嚢水腫根治術	5
	精巣固定術（停留精巣）	0
	精巣固定術（精巣捻転）	1
	精索静脈瘤（静脈結紮）	0
陰茎	陰茎部切	0
	環状切除（背面切開含む）	10
	内視尿道切開	1
結石	TUL（腎盂・尿管結石）	48
	経尿道的膀胱結石砕石術	22
	尿管切石	0

分類	術式	合計
その他	尿管鏡	0
	尿道形成術	5
	逆行性腎盂造影	0
	残存尿管摘除	0
	膀胱瘻拡張術	0
	皮下悪性腫瘍手術	0
	TUC	2
	膀胱尿道造影	0
	腎瘻拡張	0
	骨盤リンパ節廓清	0
	尿膜管膿瘍	1
	膿瘍ドレナージ（ドレン入換）	0
	尖圭コンジローマ	0
	持続勃起症	0
	尿道脱	0
	内視尿道切開術	2
	腎生検	0
	デブリドマン	0
	膀胱瘻閉鎖術	1
	フリー入力手術（挟み撃ち等）	37

麻酔科

R6年度	泌尿器科				眼科	皮膚科		歯科	重心
	全麻	脊麻	硬麻	その他	全麻	全麻	脊麻	全麻	全麻
4月	5	37	0	0	0	1	0	0	0
5月	12	45	0	0	0	2	0	0	0
6月	9	33	0	1	0	1	0	2	0
7月	6	48	1	0	0	0	0	0	0
8月	7	39	0	0	0	1	0	0	0
9月	7	30	0	1	0	0	0	0	0
10月	7	48	0	0	0	1	0	0	0
11月	3	49	0	0	0	2	0	0	0
12月	7	37	0	1	0	1	0	0	0
1月	3	40	0	0	0	1	0	0	0
2月	7	31	0	0	0	0	0	0	0
3月	7	36		1	0	2	0	0	0
合計	80	473	1	4	0	12	0	2	0

R6年度	呼吸器外科	消化器外科			整形外科			乳腺外科	脳外科
	全麻	全麻	硬麻	脊麻	全麻	脊麻	伝麻	全麻	全麻
4月	10	25	3	0	12	0	0	5	0
5月	6	29	0	0	11	1	0	9	1
6月	8	31	1	0	8	0	0	5	1
7月	19	31	1	0	15	1	0	5	5
8月	10	25	1	0	7	0	0	8	1
9月	15	34	0	0	9	0	0	10	3
10月	15	33	2	0	17	2	0	12	3
11月	16	22	3	0	11	2	0	6	2
12月	10	21	2	0	5	0	0	8	5
1月	12	27	3	0	10	1	0	11	1
2月	12	27	2	0	9	3	0	3	4
3月	5	24	0	0	9	1	0	5	4
合計	138	329	18	0	123	11	0	87	30

R6年度	その他	麻酔法別合計					合計
	その他	全麻	硬麻	脊麻	伝麻	その他	
4月	0	58	3	37	0	0	98
5月	0	70	0	46	0	0	116
6月	1	65	1	33	0	2	101
7月	0	81	2	49	0	0	132
8月	0	59	1	39	0	0	99
9月	0	78	0	30	0	1	109
10月	0	88	2	50	0	0	140
11月	0	62	3	51	0	0	116
12月	0	57	2	37	0	1	97
1月	0	65	3	41	0	0	109
2月	0	62	2	34	0	0	98
3月	0	56	0	37	0	1	94
合計	1	801	19	484	0	5	1309

臨床研究部

治験審査委員会・倫理審査委員会

	治験審査委員会 (課題数/承認数)	倫理審査委員会 (課題数/承認数)
令和 6 年度	15/15	36/36

受託研究請求金額

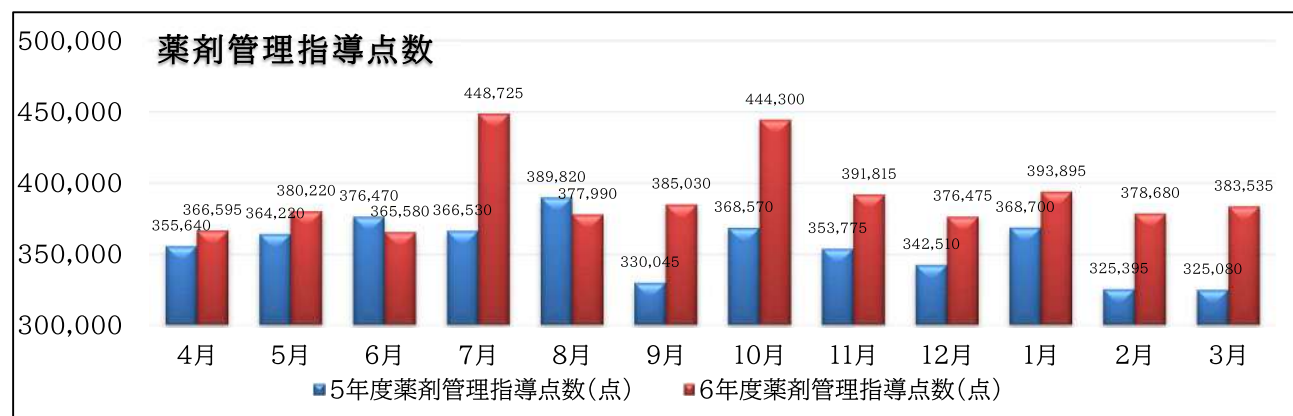
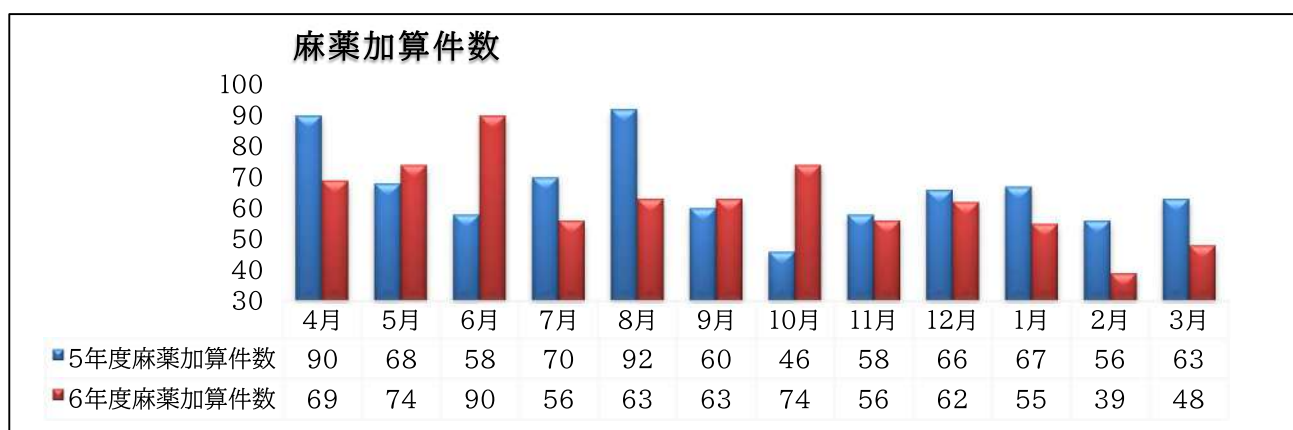
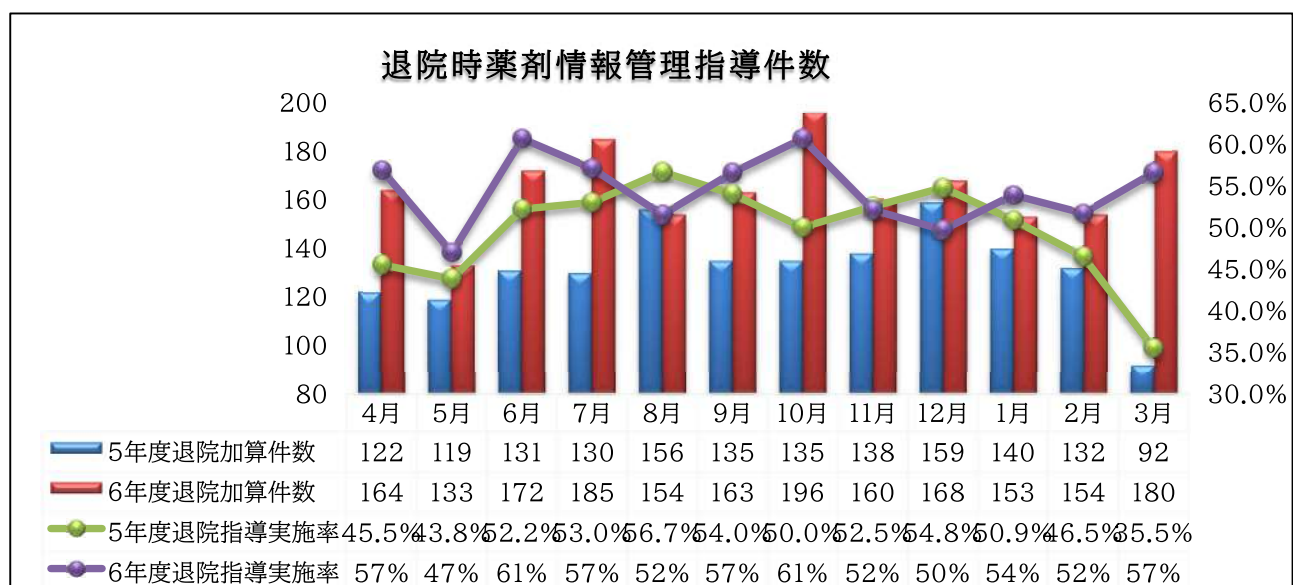
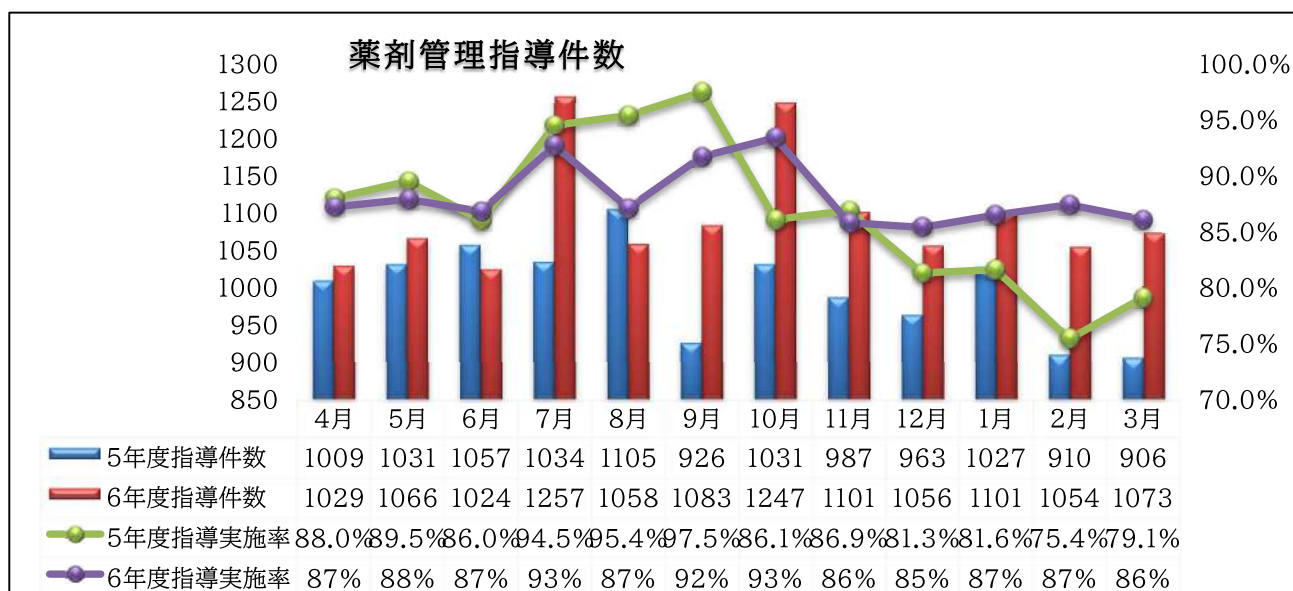
	受託研究請求金額
令和 6 年度	23, 334, 112

薬剤部

1 薬剤管理指導件数等(病棟別)

令和6年度(通常日)		4月(21)	5月(21)	6月(20)	7月(22)	8月(21)	9月(19)	10月(22)	11月(20)	12月(20)	1月(19)	2月(18)	3月(20)	計(日)	平均
3東病棟	指導件数	0	0	0	14	7	10	11	1	0	0	0	0	43	4
3西病棟	指導件数	0	0	0	7	12	11	12	0	0	0	0	0	42	4
4東病棟	指導件数	195	175	183	227	178	181	194	177	181	177	168	191	2,227	186
	実施率%	88.1	83.7	75.4	88.8	84.9	77.3	87.9	77.2	86.4	85.5	88.8	79.0		83.6
	退院時薬剤情報管理指導件数	25	18	17	26	15	11	15	14	17	22	15	26	221	18
	実施率%	39.7	34.6	30.9	40.0	23.8	23.4	25.4	28.0	23.6	37.9	26.8	36.1		30.9
4西病棟	指導件数	191	197	167	267	185	194	237	231	203	213	209	207	2,501	208
	実施率%	95.0	87.8	85.3	92.2	85.5	96.5	93.6	87.4	93.6	89.9	87.0	83.9		89.8
	退院時薬剤情報管理指導件数	14	20	8	15	8	13	14	12	11	14	11	11	151	13
	実施率%	31.1	39.2	5.1	30.0	19.0	28.3	34.1	25.0	20.0	35.9	30.6	26.8		27.1
5東病棟	指導件数	146	180	164	208	171	166	180	156	142	159	154	167	1,993	166
	実施率%	78.6	82.2	78.6	88.1	82.2	81.3	80.1	80.6	69.8	78.5	87.5	89.8		81.4
	退院時薬剤情報管理指導件数	20	36	26	39	33	32	29	36	39	28	23	25	366	31
	実施率%	58.8	73.5	60.5	63.9	61.1	65.3	55.8	62.1	66.1	60.9	40.4	51.0		60.0
5西病棟	指導件数	164	179	177	164	158	165	177	168	166	169	148	161	1,996	166
	実施率%	89.5	94.2	95.4	91.7	93.8	100.0	94.8	92.4	94.9	83.5	90.8	93.2		92.9
	退院時薬剤情報管理指導件数	21	30	25	24	24	32	37	24	21	19	21	23	301	25
	実施率%	52.5	100.0	69.4	68.6	77.4	88.9	92.5	61.5	63.6	48.7	56.8	62.2		70.2
6東病棟	指導件数	105	126	124	156	123	127	188	140	132	126	141	128	1,616	135
	実施率%	96.4	80.8	78.2	82.2	67.5	100.0	92.2	84.8	73.0	76.2	82.2	76.2		82.5
	退院時薬剤情報管理指導件数	30	26	37	34	27	32	36	23	22	22	25	31	345	29
	実施率%	65.2	66.7	80.4	57.6	54.0	64.0	65.5	46.9	43.1	52.4	55.6	63.3		59.6
6西病棟	指導件数	194	176	165	163	172	168	202	186	177	192	187	170	2,152	179
	実施率%	93.3	96.7	90.6	90.7	92.6	95.6	90.8	90.6	90.6	96.8	93.8	96.7		93.2
	退院時薬剤情報管理指導件数	55	56	60	43	44	37	58	51	55	43	58	59	619	52
	実施率%	100.0	93.3	95.2	86.0	78.6	72.5	84.1	85.0	87.3	81.1	86.6	93.7		87.0
7東西病棟	指導件数	34	33	44	51	52	61	46	41	55	65	47	49	578	48
	実施率%	66.7	77.8	86.7	87.5	68.0	81.5	82.6	65.0	84.6	71.4	75.0	84.2		77.6
	退院時薬剤情報管理指導件数	4	2	0	4	3	7	5	0	3	5	2	6	41	3
	実施率%	80.0	66.7	0.0	100.0	100.0	77.8	100.0	0.0	100.0	71.4	50.0	100.0		70.5
緩和ケア病棟(包括)	指導件数	10	15	4	1	1	0	0	1	1	1	0	0	34	3
薬剤管理指導 (包括除く)	6年度件数	1,029	1,066	1,024	1,257	1,058	1,083	1,247	1,101	1,056	1,101	1,054	1,073	13,149	1,095.8
	6年度 実施率%※	87.2	87.9	86.8	92.7	87.1	91.7	93.4	85.8	85.4	86.5	87.4	86.1		88.2
	5年度件数	999	1,021	1,059	1,035	1,093	924	1,031	987	963	1,027	910	906	11,955	996.3
	5年度 実施率%※	88.0	89.5	86.0	94.5	95.4	97.5	86.1	86.9	81.3	81.6	75.4	79.1		86.8
薬剤管理指導 (380、325点)	6年度点数	366,595	380,220	365,580	448,725	377,990	385,030	444,300	391,815	376,475	393,895	378,680	383,535	4,692,840	391,070
	5年度点数	355,640	364,220	376,470	366,530	389,820	330,045	368,570	353,775	342,510	368,700	325,395	325,080	4,266,755	355,563
退院時薬剤情報管 理指導(90点)	6年度件数	164	133	172	185	154	163	196	160	168	153	154	180	1,982	165.2
	6年度 実施率%※	56.9	47.0	60.7	57.1	51.5	56.6	60.7	52.1	49.7	53.9	51.7	56.6		54.5
	5年度件数	122	119	131	130	156	135	135	138	159	140	132	135	1,632	136.0
	5年度 実施率%※	45.5	43.8	52.2	53.3	56.7	54.0	49.5	52.5	54.8	50.9	46.5	44.4		50.3
退院時薬剤情報連 携加算(60点)	6年度件数	0	2	0	2	2	16	12	5	10	9	3	24	85	7.1
	5年度件数	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0.3
薬剤総合評価調整 加算(100点)	6年度件数	0	1	0	1	0	3	0	2	0	1	0	2	10	0.8
	5年度件数	0	1	0	0	2	0	0	3	1	1	2	0	10	0.8
薬剤調整加算 (150点)	6年度件数	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0.3
	5年度件数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
麻薬加算 (50点)	6年度件数	69	74	90	56	63	63	74	56	62	55	39	48	749	62.4
	5年度件数	90	68	58	70	92	60	46	58	66	67	56	63	794	66.2
術後疼痛管理チー ム加算(100点)	6年度件数	36	34	34	49	56	62	70	61	39	47	44	25	557	46.4
	5年度件数	47	60	55	29	49	52	48	78	59	47	68	53	645	53.8

※対象病棟(3東西、緩和ケアを除く)



2 病棟薬剤業務実施加算

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月計	平均
件数	令和6年度	1,298	1,314	1,284	1,527	1,342	1,403	1,517	1,425	1,441	1,465	1,320	1,404	16,740	1,395
	令和5年度	1,288	1,367	1,340	1,309	1,406	1,214	1,367	1,287	1,276	1,477	1,404	1,338	16,073	1,339
点数 (120点)	令和6年度	155,760	157,680	154,080	183,240	161,040	168,360	182,040	171,000	172,920	175,800	158,400	168,480	2,008,800	167,400
	令和5年度	154,560	164,040	160,800	157,080	168,720	145,680	164,040	154,440	153,120	177,240	168,480	160,560	1,928,760	160,730
活動時間 (時間)	令和6年度	751	819	760	828	791	709	810	708	781	721	640	726	9,044.0	754
	令和5年度	629	799	746	723	792	629	701	665	707	677	669	731	8,468.0	706

施設基準：対象は7個病棟(3東西、緩和7を除く)、施設基準は、1病棟当り20時間以上/週の活動が必要。※包括分を含む。

3 後発品使用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月計	平均
後発品比率(%)	数量 令和6年度	99.1	99.2	99.2	99.1	99.0	99.1	99.2	99.3	99.2	99.2	98.9	98.2		99.0
	金額 令和6年度	75.8	68.4	77.6	79.0	82.3	81.1	83.1	85.1	85.4	86.0	84.5	81.6		80.8
	カット7値※ 令和6年度	50.5	59.5	58.7	57.4	58.4	57.1	57.9	57.1	58.4	57.9	58.4	58.8		57.5
	数量 令和5年度	98.4	97.8	97.9	98.2	98.4	98.9	98.4	98.1	97.6	98.6	98.2	99.1		98.3
	金額 令和5年度	55.1	68.5	68.5	72.3	74.4	72.7	74.4	74.6	78.1	71.7	78.5	78.8		72.3
	カット7値※ 令和5年度	58.0	57.9	55.8	58.4	57.5	57.3	57.6	58.4	58.7	58.0	59.5	58.8		58.0
	件数 令和6年度	399	380	335	451	395	361	440	355	359	406	326	363	4,570	381
	点数 令和6年度	18,753	17,860	29,145	39,237	34,365	31,407	38,280	30,885	31,233	35,322	28,362	31,581	366,430	30,536
後発医薬品使用体制加算1	件数 令和5年度	364	349	379	392	410	326	390	406	371	463	379	340	4,569	381
	点数 令和5年度	17,108	16,403	17,813	18,424	19,270	15,322	18,330	19,082	17,437	21,761	17,813	15,980	214,743	17,895
一般名処方加算	件数 加算1 令和6年度	384	433	334	409	376	354	451	394	417	414	339	420	4,725	394
	件数 加算2 令和6年度	1,590	1,690	1,503	1,693	1,612	1,607	1,712	3,940	1,687	1,624	1,494	1,678	21,830	1,819
	総点数 令和6年度	14,586	15,727	15,364	17,634	16,656	16,396	18,206	16,224	17,666	17,132	15,342	17,624	198,557	16,546
	総点数 令和5年度	16,835	16,065	17,537	16,085	17,503	15,936	16,981	16,850	17,316	9,900	11,876	12,160	185,044	15,420

※調剤した規格単位数量に占める「後発医薬品あり先発医薬品+後発医薬品」の割合。施設基準は50%以上必要。

4 化学療法無菌製剤処理等

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月計	平均
外来化学療法調製件数	令和6年度	353	360	326	393	358	372	380	318	275	322	333	348	4,138	345
	令和5年度	390	386	389	384	568	378	396	358	362	295	322	299	4,527	377
外来腫瘍化学療法診療料1(抗悪性腫瘍剤投与) (700点)	令和6年度	234	223	199	228	214	212	219	181	166	191	192	192	2,451	204
	令和5年度	246	244	247	234	280	229	244	237	214	196	211	205	2,787	232
外来化学療法調製前血算確認件数	令和6年度	113	122	112	110	119	117	109	107	89	88	91	101	1,278	107
	令和5年度	130	129	121	113	139	107	125	121	100	87	106	96	1,374	115
入院化学療法調製件数	令和6年度	319	385	300	330	321	259	381	355	371	423	390	368	4,202	350
	令和5年度	335	386	410	292	414	304	321	314	335	386	310	315	4,122	344
無菌製剤処理料点数 (100,180点)	令和6年度	36,035	39,250	32,410	35,740	33,885	30,815	36,530	31,890	32,070	36,225	34,410	32,880	412,140	34,345
	令和5年度	32,280	37,400	37,085	31,525	44,950	31,950	37,995	36,165	38,085	35,400	35,055	34,650	432,540	36,045
特定薬剤治療管理料2(サリドマイト)及びその誘導体登録等を含む)件数(100点)	令和6年度	42	49	50	49	51	51	42	38	38	47	49	44	550	46
	令和5年度	45	46	51	48	52	52	48	47	52	50	37	41	569	47
バイオ後続品使用体制加算(100点)	令和6年度			0	29	37	28	43	29	15	33	63	26	303	30
	令和5年度													0	
バイオ後続品導入初期加算(150点)	令和6年度	4	5	5	7	3	6	4	5	6	3	9	7	64	5
	令和5年度	3	1	0	7	9	9	6	6	6	3	4	2	56	5
がん患者指導管理料ハ件数(200点)	令和6年度	19	11	7	10	8	8	16	12	12	13	9	14	139	12
	令和5年度	9	2	10	9	5	2	1	14	8	9	7	9	85	7
連携充実加算件数(150点)	令和6年度	113	122	112	110	119	117	109	107	89	88	91	101	1,278	107
	令和5年度	130	129	121	113	139	107	125	121	100	87	106	96	1,374	115
がん薬物療法体制充実加算件数(100点)	令和6年度			64	64	75	71	64	60	53	67	74	60	652	65
	令和5年度													0	

5 医薬品破損・期限切れ金額

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月計	平均
破損金額 令和6年度	¥347,955	¥288,370	¥18,148	¥71,871	¥25,041	¥20,727	¥70,330	¥10,820	¥73,608	¥153,602	¥23,017	¥35,178	¥1,138,668	¥94,889
期限切れ金額 令和6年度	¥206,899	¥12,926	¥123,728	¥84,092	¥68,244	¥35,329	¥12,987	¥40,862	¥2,844	¥19,235	¥95,086	¥9,553	¥711,785	¥59,315
計 令和6年度	¥554,855	¥301,296	¥141,876	¥155,963	¥93,285	¥56,056	¥83,317	¥51,682	¥76,452	¥172,837	¥118,103	¥44,731	¥1,850,453	¥154,204
破損金額 令和5年度	¥15,981	¥40,561	¥377,029	¥4,935	¥60,638	¥119,626	¥45,329	¥15,325	¥9,245	¥4,601	¥4,919	¥3,434	¥701,624	¥58,469
期限切れ金額 令和5年度	¥67,002	¥257,932	¥289,478	¥58,753	¥263,232	¥57,871	¥8,035	¥25,860	¥4,601	¥9,245	¥9,320	¥190,618	¥1,241,947	¥103,496
計 令和5年度	¥82,983	¥298,493	¥666,507	¥63,688	¥323,870	¥177,497	¥53,364	¥41,185	¥13,846	¥13,846	¥14,239	¥194,052	¥1,943,571	¥161,964

6 薬剤識別

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入院識別報告件数	令和6年度	479	492	473	566	492	482	542	491	484	530	454	502	5,987	499
	令和5年度	467	473	489	498	528	410	485	472	459	523	490	453	5,747	479
外来凝固系識別報告件数	令和6年度	118	147	118	107	134	102	129	85	106	91	98	94	1,329	111
	令和5年度	200	227	195	242	191	196	185	207	169	182	147	123	2,264	189
入院時支援加算2件数 ※(200点)	令和6年度	176	208	203	253	227	206	244	215	208	178	192	201	2,511	209
	令和5年度	171	191	174	168	182	151	176	176	202	156	153	183	2,083	174

※手術予定入院等の凝固系薬剤の識別対象者のみ関与。

7 入外来調剤

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入院・外来院内処方箋枚数	令和6年度	4,008	4,070	3,692	4,408	4,287	3,932	4,396	3,912	4,350	4,174	3,992	4,085	49,306	4,109
	令和5年度	3,891	3,627	4,210	3,815	3,868	3,202	4,076	4,176	3,856	4,226	4,092	4,035	47,074	3,923
入院・外来注射箋枚数	令和6年度	6,284	6,491	6,123	7,194	6,880	6,677	7,867	7,291	7,011	7,030	6,136	6,449	81,433	6,786
	令和5年度	6,020	5,221	6,271	6,406	7,062	6,504	7,249	7,323	6,870	7,116	7,030	6,583	79,655	6,638
入院・外来調剤料・調剤技術基本料 合計点数(7,8,11,14,42点)	令和6年度	69,548	71,088	58,831	65,800	74,641	61,181	64,970	64,376	65,661	78,096	59,718	63,761	797,671	66,473
	令和5年度	68,567	61,472	62,940	60,566	70,340	70,312	72,257	71,692	72,092	70,395	74,184	73,896	828,713	69,059
外来 薬剤情報提供料件数 (10点)	令和6年度	399	386	360	420	433	372	402	389	459	468	362	444	4,894	408
	令和5年度	379	365	373	397	438	387	445	431	470	428	399	421	4,933	411
院外処方箋 発行率(%)	令和6年度	94.4	94.9	94.7	94.1	93.6	94.6	94.6	94.4	93.5	93.0	94.2	93.4		94.1
	令和5年度	94.6	94.2	94.8	93.7	93.9	94.3	93.7	94.0	93.3	93.3	93.6	94.4		94.0
医師業務負担軽減代行 入力件数 (疑義照会後、PBPM)	令和6年度	179	169	126	229	316	268	141	111	97	124	150	138	2,048	170.7
	令和5年度	152	87	153	268	208	152	184	208	209	187	182	200	2,190	182.5

臨床検査科

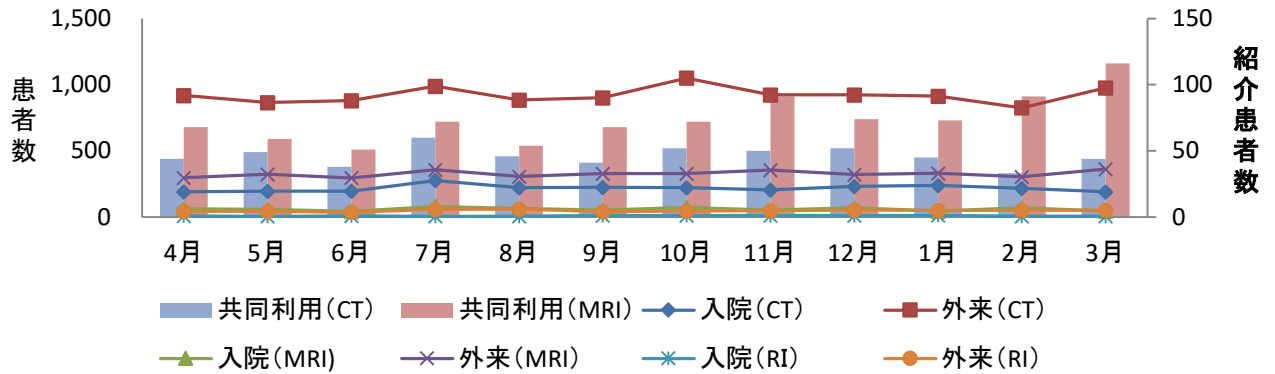
臨床検査科業務報告

2024年度(令和6年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	R5年度 合計	R4年度 合計
尿・便検査	3,011	3,924	3,094	3,600	3,281	3,203	3,450	3,503	3,300	3,265	3,075	3,445	40,151	38,895	37,470
髄液・精液等検査	4	8	4	10	3	4	6	1	4	3	6	4	57	49	46
血液学の検査	13,880	13,864	12,767	15,336	13,554	13,550	14,634	13,462	13,845	13,615	12,414	13,332	164,253	165,659	169,878
生化学の検査	89,078	95,120	84,882	100,268	88,117	89,176	96,089	90,319	91,153	89,645	83,904	90,287	1,088,038	1,072,796	1,059,106
内分泌学の検査	1,646	1,714	1,738	1,954	1,577	1,645	1,736	1,482	1,698	1,576	1,580	1,631	19,977	19,976	19,059
免疫学の検査	11,126	12,627	9,964	12,400	10,667	10,541	11,411	10,777	10,906	11,184	9,985	10,623	132,211	128,022	126,612
微生物学の検査	2,277	2,382	2,145	2,769	2,273	2,581	2,977	2,388	2,681	2,581	2,258	2,469	29,781	30,182	29,843
病理組織学の検査	479	419	429	478	482	455	552	474	508	476	384	404	5,540	5,190	5,015
病理細胞学の検査	135	183	181	178	171	167	175	172	149	160	108	161	1,940	642	1,571
心電図検査等	381	374	392	417	395	403	421	374	363	385	351	367	4,623	4,677	4,310
脳波検査等	45	78	57	99	99	71	69	80	78	80	88	92	936	969	917
呼吸機能検査等	351	410	364	357	347	280	416	303	283	307	294	274	3,986	3,738	3,761
前庭・聴力機能検査等	73	67	79	82	57	58	56	75	46	59	71	72	795	700	607
超音波検査等	513	443	557	622	561	611	645	560	529	535	526	560	6,662	6,228	6,025
全身解剖	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1
一部解剖	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
輸血・血液製剤数	309	323	293	270	289	292	401	259	364	265	312	338	3,715	3,839	3,452
採血件数	1,532	1,548	1,369	1,548	1,430	1,595	1,582	1,477	1,565	1,430	1,340	1,460	17,876	17,498	19,184
出張	36	25	27	51	61	65	53	54	57	63	58	61	611	580	604
外部委託	2,795	2,319	2,025	2,898	2,414	2,295	2,461	2,260	2,160	2,091	1,994	2,373	28,085	29,738	26,959

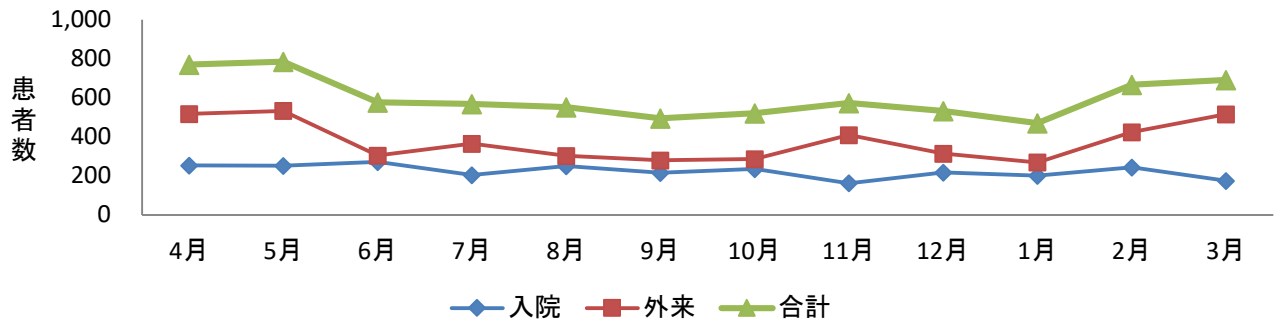
診療放射線科

高額医療機器の稼働状況及び共同利用（令和6年度）

CT検査・MRI検査・RI検査



放射線治療



令和6年度放射線業務集計報告

月			R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	計		
項目			台数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数		
放 射 線 業 務 総 計				4,710	4,707	4,499	5,132	4,545	4,605	5,050	4,680	4,620	4,565	4,464	4,746	56,323	
画 像 診 断	画像診断総計				3,891	3,888	3,886	4,535	3,961	4,079	4,499	4,073	4,064	4,054	3,757	4,028	48,715
	エックス線診断	計			2,367	2,396	2,423	2,767	2,414	2,518	2,765	2,477	2,452	2,460	2,282	2,392	29,713
		単純・特殊撮影・乳房など単純			2,254	2,258	2,304	2,631	2,286	2,406	2,633	2,346	2,339	2,354	2,189	2,269	28,269
		造影検査（血管以外）			89	108	91	117	98	77	102	103	77	87	74	102	1,125
		血管造影		1	24	30	28	19	30	35	30	28	36	19	19	21	319
	核医学診断	部分（静態）部分（動態）全身、SPECT		1	53	51	48	64	69	52	58	59	65	65	59	61	704
	計				1,471	1,441	1,415	1,704	1,478	1,509	1,676	1,537	1,547	1,529	1,416	1,575	18,298
	コンピュータ断層撮影診断	C T	計	2	1,110	1,061	1,075	1,265	1,106	1,126	1,274	1,128	1,155	1,153	1,043	1,167	13,663
			CT撮影	2	1,110	1,061	1,075	1,265	1,106	1,126	1,274	1,128	1,155	1,153	1,043	1,167	13,663
		造影剤使用加算（再掲）			(496)	(473)	(433)	(486)	(442)	(467)	(544)	(468)	(455)	(474)	(397)	(489)	5,624
		磁気共鳴	計	2	361	380	340	439	372	383	402	409	392	376	373	408	4,635
			MRI撮影	2	361	380	340	439	372	383	402	409	392	376	373	408	4,635
			造影剤使用加算（再掲）		(116)	(106)	(116)	(131)	(132)	(122)	(133)	(138)	(129)	(115)	(99)	(113)	1,450
		CT紹介患者数			(44)	(49)	(38)	(60)	(46)	(41)	(52)	(50)	(52)	(45)	(33)	(44)	554
		MRI紹介患者数			(68)	(59)	(51)	(72)	(54)	(68)	(72)	(91)	(74)	(73)	(91)	(116)	889
時間外撮影患者数（再掲）				(187)	(203)	(333)	(389)	(417)	(432)	(471)	(407)	(436)	(182)	(375)	(338)	4,170	
ポータブル撮影（再掲）				(300)	(376)	(368)	(511)	(435)	(478)	(491)	(417)	(449)	(484)	(423)	(433)	5,165	
骨密度検査（DEXA）（再掲）				(63)	(48)	(52)	(58)	(49)	(61)	(62)	(53)	(51)	(70)	(64)	(55)	523	
放 射 線 治 療	計				819	819	613	597	584	526	551	607	556	511	707	718	7,608
	放射線治療管理科				48	35	37	29	32	32	30	35	25	41	40	25	409
	放射性同位元素内用療法				1									1	2	4	
	体外照射、定位放射線治療、全身照射			1	770	784	576	568	552	494	521	572	531	470	666	691	7,195

リハビリテーション科

令和6年度 理学療法・作業療法・言語聴覚別単位実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理学療法	2,831	2,916	3,028	3,461	3,489	2,963	3,804	3,468	3,448	3,174	3,063	3,415	39,060
作業療法	2,123	2,217	1,959	2,019	2,083	1,868	2,069	2,059	1,767	1,537	1,475	1,582	22,758
言語聴覚	1,433	1,435	1,387	1,461	1,379	1,326	1,495	1,291	1,324	1,073	1,238	1,271	16,113
リハ合計	6,387	6,568	6,374	6,941	6,951	6,157	7,368	6,818	6,539	5,784	5,776	6,268	77,931

栄養管理室

① 栄養部門診療報酬額(令和6年度)

	給と患者食数					入院時 食事療養費	重心短 期入所 (自費)	特別 食 加算	食堂 加算	特別メニュー		栄養食事指導						体重量等測定		個別栄養食事 管理加算		NST加算		外来化学療法 連携充実加算		糖尿病連携予防 指導管理料		在宅半面型栄養 経管栄養法指導 管理料		合 計 (単位 円)
	患者数	総食数	患者数 ×30の 割合	特別食加算						(自己負担)	個人(初回 260点 2回目以降200点)		情報提供書 (50点) →R6.6～栄養 情報連携料 (70点)		集団(1人80 点)		1回60点		1回70点		週1回200 点		月1回1人150点		1回350点		1回2500点			
				食	%						件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	
月	人	食	%	食	%	1食670円 (濃厚流動食605円) ※673円	1食490 円	1食76円	1日50円	食	1食110円 (昨年7月 ～)	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	
4	9,266	24,813	89.3	3,162	12.7	15,670,590	10,580	240,312	441,880	558	61,380	117	277,800	8	4,000	0	0	7	4,200	30	21,000	54	108,000	113	169,500	5	17,500	0	0	17,026,742
5	9,352	25,325	90.3	3,515	13.9	15,974,780	11,960	267,140	453,570	434	47,740	110	261,400	2	1,000	0	0	8	4,800	25	17,500	54	108,000	122	183,000	8	28,000	1	25,000	17,383,890
6	9,320	25,069	89.7	3,948	15.7	16,579,780	14,720	300,048	447,960	570	62,700	135	322,800	2	1,400	0	0	10	6,000	29	20,300	46	92,000	112	168,000	5	17,500	1	25,000	18,058,208
7	10,321	27,998	90.4	4,473	16.0	18,538,245	14,210	339,948	499,430	786	86,460	139	328,400	0	0	0	0	15	9,000	27	18,900	44	88,000	111	166,500	2	7,000	1	25,000	20,121,093
8	9,930	26,365	88.5	3,347	12.7	17,422,750	22,050	254,372	470,070	659	72,490	159	372,000	9	6,300	0	0	8	4,800	28	19,600	47	94,000	119	178,500	2	7,000	0	0	18,923,932
9	9,750	25,796	88.2	3,439	13.3	17,075,293	36,260	261,364	459,215	691	76,010	172	402,200	1	700	0	0	12	7,200	45	31,500	62	124,000	117	175,500	5	17,500	2	50,000	18,716,742
10	10,366	27,051	87.0	3,681	13.6	17,897,964	38,220	279,756	484,050	776	85,360	178	425,600	16	11,200	0	0	17	10,200	29	20,300	72	144,000	109	163,500	8	28,000	1	25,000	19,613,150
11	10,081	26,577	87.9	3,503	13.2	17,595,248	26,460	266,228	476,085	706	79,860	175	416,600	17	11,900	0	0	25	15,000	19	13,300	50	100,000	107	160,500	2	7,000	2	50,000	19,218,181
12	10,050	26,774	88.8	3,496	13.1	17,691,190	33,320	265,696	477,330	407	44,770	166	387,200	11	7,700	0	0	20	12,180	47	32,900	71	142,000	89	133,500	4	14,000	1	25,000	19,266,786
1	10,279	27,740	90.0	3,502	12.6	18,350,495	13,230	266,152	492,330	466	51,260	148	341,000	15	10,500	0	0	10	6,000	11	7,700	66	132,000	88	132,000	2	7,000	1	25,000	19,834,667
2	9,409	25,771	91.3	3,674	14.3	17,061,625	3,430	279,588	458,790	454	49,940	150	365,800	13	9,100	2	1,600	14	8,400	12	8,400	46	92,000	91	136,500	2	7,000	0	0	18,482,173
3	9,909	26,458	89.0	3,565	13.5	17,497,800	37,240	270,940	472,800	545	59,950	155	361,600	12	9,600	0	0	67	39,660	27	18,900	69	138,000	101	151,500	3	10,500	0	0	19,068,490
累計	118,033	315,737	89.2	43,305	13.7	207,355,760	261,680	3,291,544	5,633,510	7,052	777,920	1,804	4,262,400	106	73,400	2	1,600	213	127,440	329	230,300	681	1,362,000	1,279	1,918,500	48	168,000	10	250,000	225,714,054
月平均	9,836	26,311	89.2	3,609	13.7	17,279,647	21,807	274,295	469,459	588	64,827	150	355,200	9	6,117	0	133	18	10,620	27	19,192	57	113,500	107	159,875	4	14,000	1	20,833	18,809,505

前年度との比較

同月 (実数)	9,879	26,332	88.8	3,552	13.5	16,619,260	0	269,952	469,890	601	66,110	152	368,800	6	3,000	0	0	0	0	9	6,300	65	130,000	96	144,000	0	0	0	0	18,077,312
%	95.2	97.9	102.8	103.4	105.7	102.7	-	103.6	97.6	75.5	75.5	98.7	99.2	216.7	303.3	-	-	-	-	133.3	133.3	70.8	70.8	94.8	94.8	-	-	-	-	102.2
同時期 累計	115,150	309,358	89.6	49,671	16.1	195,631,375	0	3,777,198	5,519,000	6,996	660,540	2,345	5,610,000	118	59,000	0	0	0	0	477	333,900	713	1,426,000	1,376	2,064,000	0	0	10	250,000	215,306,013
%	102.5	102.1	99.6	87.2	85.4	106.0	-	87.1	102.1	100.8	117.8	76.9	76.0	89.8	124.4	-	-	-	-	69.0	69.0	95.5	95.5	93.0	93.0	-	-	100.0	100.0	104.8
前年 月平均	9,596	25,780	89.6	4,139	16.1	16,302,615	0	314,767	459,917	583	55,045	195	467,500	10	4,917	0	0	0	0	40	27,825	59	118,833	115	172,000	0	0	1	35,714	17,942,168
%	102.5	102.1	99.6	87.2	85.4	106.0	-	87.1	102.1	100.8	117.8	76.9	76.0	89.8	124.4	-	-	-	-	69.0	69.0	95.5	95.5	93.0	93.0	-	-	98.3	58.3	104.8

栄養部門診療報酬額（平成29年度～令和6年度）

単位：(円)

年度区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入院時食事療養費	199,443,959	203,160,064	211,137,072	189,877,726	203,404,701	203,413,585	195,631,375	207,355,760
特別食加算	4,086,520	3,827,664	3,923,604	3,864,576	4,275,697	4,095,093	3,777,198	3,291,544
食堂加算	5,639,050	5,722,158	5,944,305	5,344,290	5,709,545	5,712,790	5,519,000	5,633,510
特別メニュー	300,850	418,650	466,250	270,500	263,250	345,800	660,540	777,920
栄養食事指導料	2,826,590	2,922,000	3,111,200	3,787,990	4,192,000	5,777,200	5,610,000	4,262,400
入院栄養食事指導料における 情報提供加算				25,000	31,500	49,500	59,000	73,400
NST加算		374,000	474,000	1,318,000	1,198,000	1,464,000	1,426,000	1,362,000
個別栄養食事管理加算		254,100	382,200	373,100	261,100	399,700	333,900	230,300
合計金額	212,296,969	216,678,636	225,438,631	204,861,182	219,335,793	221,257,668	213,017,013	222,986,834

※入院時食事療養費は、令和6年診療報酬改定で640円→670円/食（濃厚流動食605円/食）に見直された。

※特別メニューの患者負担額は、令和5年7月より50円→110円/食に見直した。

※入院栄養食事指導料における情報提供書にかかる加算（50点）は令和2年改定で新設、令和6年改定で栄養情報連携料（70点）として新設された。

※NST加算は、平成30年診療報酬改定にて、専従ではなく専任でも加算を算定できるよう見直された。

また、令和2年改定において結核病棟でも、令和4年改定において障害者病棟でも算定できるよう見直された。

※個別栄養食事管理加算は、平成30年診療報酬改定で新設された。

栄養食事指導件数報告（令和6年度まとめ）

1. 栄養食事指導件数（月別）

月	個人指導						月間 合計	前年 件数
	算定件数 (初回)		算定件数 (2回目)		非算定件数			
	入院	外来	入院	外来	入院	外来		
4月	45	26	14	32	2	5	124	203
5月	38	25	10	37	8	11	129	212
6月	53	31	12	39	3	7	145	275
7月	57	25	17	40	5	5	149	213
8月	59	27	15	58	2	6	167	218
9月	67	28	21	56	4	7	183	203
10月	84	32	18	44	8	11	197	183
11月	69	40	21	45	8	3	186	195
12月	58	30	15	63	3	5	174	189
1月	50	25	12	61	9	1	158	167
2月	58	35	12	45	2	4	156	169
3月	60	26	12	57	2	5	162	156
小計	698	350	179	577	56	70	1,930	2,383
合計	1,048		756		126			
月平均	58	29	15	48	5	6	161	199
(前年度 月平均)	85	36	17	60	4	1	R6年度目標 150件/月	
	▲ 26	▲ 9	▲ 2	▲ 2	▲ 2	5	前年度比 81%	

3. 年度別栄養食事指導件数（累計）

年度	算定件数	非算定件数	合計	集団 指導	算 定 月 平均
H29年	1,200	81	1,281	3	100.0
H30年	1,262	71	1,333	3	105.2
R1年	1,340	69	1,409		111.7
R2年	1,629	50	1,679		135.8
R3年	1,790	56	1,846		149.2
R4年	2,422	52	2,474		201.8
R5年	2,345	38	2,383		195.4

2. 疾患別栄養食事指導件数（累計）

病 名	個人指導						R6 年度 類計	前年 同期 累計
	算定件数 (初回)		算定件数 (2回目)		非算定件数			
	入院	外来	入院	外来	入院	外来		
腎臓病	32	7	7	15	1		62	64
肝臓病	23	16	3	15	5		62	44
糖尿病	152	89	44	361	8	52	706	501
胃十二指腸潰瘍	37	6	6				49	46
高血圧症	42	6	2	34			84	87
心臓病	8	1	2				11	9
手術	93	16	83	7	7	1	207	190
膵臓病	16		2				18	11
痛風								4
脂質異常症	17	13	1	40	1		72	54
貧血症	1	2		1			4	3
加齢、潰瘍性大腸炎	8	2					10	8
胆石症	37		5	3	4	2	51	38
肥満症	3	14	1	29	1	3	51	35
低残渣食	39	5			2		46	37
アレルギー						2	2	
てんかん		1				3	4	3
摂食・嚥下機能	28	2	3	1	4	1	39	51
がん	111	164	18	64	10	3	370	1,089
低栄養	31	6	1	7	1		46	104
形態調整食	2						2	4
その他	18		1		12	3	34	1
出前講座								
市民公開セミナー・看護の日 栄養相談						30	30	11
合 計	698	350	179	577	56	100	1,960	2,394

4. 病棟別（件数）

病 棟	当月	今年度 月平均	前年度 月平均
4西病棟	12	16	14
4東病棟	36	33	33
5西病棟	1	4	19
5東病棟	13	11	19
6西病棟	10	12	12
6東病棟	2		10
7東病棟			3
緩和ケア病棟		1	1
病棟合計	74	78	110
（外来化学療法室）	9	15	27

5. 診療科別（累計） ＜令和5年度も同時期までの累計＞

診療科	入院	外来	合計	R5 入院	R5 外来	R5 合計	診療科	入院	外来	合計	R5 入院	R5 外来	R5 合計
救急科	4		4	3			脳神経外科	32	27	59	73	12	85
呼吸器内科	78	37	115	258	46	304	整形外科	32	14	46	11	31	42
内分泌・代謝内科/ 内科	84	462	546	67	300	367	泌尿器科	59	30	89	37	32	69
循環器内科	8	27	35	2	19	21	耳鼻咽喉科				2	2	4
血液内科	39	129	168	220	256	476	皮膚科	3	2	5	5		5
消化器内科	205	106	311	255	128	383	甲状腺科				5		5
緩和ケア科	1		1	2	1	3	乳腺科	5	61	66	9	41	50
放射線治療科	2	26	28	21	44	65	眼科	1		1	9	1	10
消化器外科	296	76	372	218	140	358	麻酔科				1		1
呼吸器外科	85	1	86	127	5	132							

施設別・疾患別・栄養食事指導件数（令和6年度）

項 目 疾患名		合 計						
		算定件数 （初回）		算定件数 （2回目以降）		非算定件数		栄養情 報提供 加算
		入院	外来	入院	外来	入院	外来	
1	腎臓病	32	7	7	15	1	0	5
2	肝臓病	23	16	3	15	5	0	2
3	糖尿病	152	89	44	361	8	52	13
4	胃十二指腸潰瘍	37	6	6	0	0	0	1
5	高血圧症	42	6	2	34	0	0	9
6	心臓病	8	1	2	0	0	0	4
7	妊娠高血圧症	0	0	0	0	0	0	0
8	手術	93	16	83	7	7	1	4
9	脾臓病	16	0	2	0	0	0	0
10	痛風	0	0	0	0	0	0	0
11	脂質異常症	17	13	1	40	1	0	3
12	貧血症	1	2	0	1	0	0	0
13	クローン、潰瘍性大腸炎	8	2	0	0	0	0	0
14	胆石症	37	0	5	3	4	2	4
15	肥満症	3	14	1	29	1	3	1
16	低残渣食	39	5	0	0	2	0	1
17	アレルギー	0	0	0	0	0	2	0
18	てんかん食	0	1	0	0	0	3	0
19	先天性代謝異常	0	0	0	0	0	0	0
20	摂食嚥下機能低下	28	2	3	1	4	1	18
21	が ん	111	79	18	42	10	3	8
22	がん（化療）	0	0	0	0	0	0	0
23	がん（専門）	0	85	0	22	0	0	0
24	低栄養	31	6	1	7	1	0	23
25	濃厚流動	0	0	0	0	0	0	0
26	摂食障害	0	0	0	0	0	0	0
27	免疫不全症	0	0	0	0	0	0	0
28	形態調整食	2	0	0	0	0	0	0
29	離乳食	0	0	0	0	0	0	0
30	調乳教室	0	0	0	0	0	0	0
31	子育て教室	0	0	0	0	0	0	0
32	栄養教室	0	0	0	0	0	0	0
35		0	0	0	0	0	0	0
36	その他	18	0	1	0	12	3	1
計		698	350	179	577	56	70	97

診療科別栄養食事指導件数累計（令和6年度）

病 名	合計		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実施件数																									
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
救急科	4						1										1				2					
呼吸器内科	78	37	3	3	1	4	5	1	3	3	7	2	12	3	8	6	9	5	5	3	16	3	4	1	5	3
内分泌・代謝内科 内科	84	462	7	27	7	33	5	33	10	29	1	39	10	43	11	45	8	38	3	46	5	46	12	36	5	47
循環器内科	8	27				3		2			1			2		14	1		2	3	3		1	2		1
血液内科	39	129	2	11	3	8	4	11	4	15	4	15	6	11	5	5	5	9	3	14	2	11		12	1	7
消化器内科	205	106	12	5	10	4	13	6	21	8	15	9	19	9	29		24	17	16	11	11	11	14	12	21	14
緩和ケア科	1		1																							
放射線治療科	2	26		2		1		1		1		2		3		2		1		1		2	1	5	1	5
消化器外科	296	76	28	7	21	8	26	7	21	5	24	10	30	10	31	8	20	4	25	6	17	5	28	4	25	2
呼吸器外科	85	1	1		5		6	1	13		7		8		9		11		9		5		5		6	
脳神経外科	32	27	2		1	1		1	4	1	4	3	1	2	6	2	6	2	4	3		5	1	4	3	3
整形外科	32	14		2	3	3		2	1	1	3	2		1	6		7	1	5		1		4	1	2	1
泌尿器科	59	30	4		4	3	7	4	2	4	10	4	5	1	5	3	5	1	4	3	8	1	1	4	4	2
耳鼻咽喉科																										
皮膚科	3	2	1										1				1			1		1				
甲状腺																										
乳腺科	5	61	1	5	1	5		8		3		5		6		2		10		7	1	4	1	3	1	3
眼科	1						1																			
麻酔科																										
	934	998	62	62	56	73	68	77	79	70	76	91	92	91	110	87	98	88	76	98	71	89	72	84	74	88

病棟別栄養食事指導依頼件数（令和6年度）

病 棟	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4 西病棟	197	8	11	15	15	21	15	21	25	23	16	15	12
4 東病棟	395	30	34	34	36	30	35	47	28	30	20	35	36
5 西病棟	47	2	3	2	4	3	6	5	8	3	2	8	1
5 東病棟	128	10	5	8	11	14	13	17	17	11	9		13
6 西病棟	140	10	3	8	11	5	19	16	17	7	22	12	10
6 東病棟	18			1	1	3	4	3	3	1			2
7 東病棟	7				1			1		1	2	2	
緩和ケア病棟	1	1											
合 計	933	61	56	68	79	76	92	110	98	76	71	72	74
外来化学療法室	184	15	12	20	20	25	19	10	19	14	6	15	9
合 計	1117	76	68	88	99	101	111	120	117	90	77	87	83

年度別疾患別栄養食事指導実施件数（平成29年度～令和6年度）

区分 疾病名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	加算	非加算	加算	非加算	加算	非加算	加算	非加算	加算	非加算	加算	非加算	加算	非加算	加算	非加算
腎臓病	25	0	29	0	32	0	44	4	35	0	40	0	64	0	61	1
肝臓病	35	0	24	1	38	0	46	0	33	1	35	0	42	2	57	5
糖尿病	477	7	533	6	597	6	495	6	475	2	601	8	492	9	646	60
胃・十二指腸潰瘍	39	5	33	9	48	0	30	1	35	0	55	1	46	0	49	0
高血圧症	108	1	102	0	71	1	62	3	68	0	88	2	87	0	84	0
心臓病	13	0	12	0	12	0	4	0	15	0	19	0	9	0	11	0
手術	127	12	130	4	130	4	124	3	119	0	129	1	190	0	199	8
膵臓病	7	0	3	0	9	1	8	0	8	0	18	0	11	0	18	0
痛風	2	0	3	0	6	0	7	0	3	2	14	0	4	0	0	0
脂質異常症	156	0	165	1	124	0	101	0	112	0	100	2	54	0	71	1
貧血症	4	0	3	0	2	0	0	0	1	0	9	0	3	0	4	0
クローン、潰瘍性大腸炎	6	9	6	0	7	2	10	0	9	0	11	0	8	0	10	0
胆石症	5	2	5	2	13	2	11	0	16	0	48	2	33	5	45	6
肥満症	8	1	16	1	14	1	22	0	14	0	28	0	35	0	47	4
低残渣															44	2
アレルギー															0	2
てんかん							5	0		0	7	1	2	1	1	3
摂食嚥下	6	1	11	0	7	0	12	0	24	0	40	0	51	0	36	5
がん	170	0	146	2	187	2	587	29	758	39	1,092	23	1,073	16	357	13
低栄養	12	0	40	0	43	0	61	0	66	2	82	0	103	1	45	1
その他	0	43	1	48	0	50	0	4	0	9	6	12	38	4	19	15
小計	1,200	81	1,262	74	1,340	69	1,629	50	1,791	55	2,422	52	2,345	38	1,804	126
合計	1,281		1,336		1,409		1,679		1,846		2,474		2,383		1,930	

患者食糧費経理状況（令和 6 年度）

	消費額（円）				取扱患者数 （人）	給食延べ食数	1人1食当り 消費金額 （円）	（参考） 前年度	（再掲）補助食品等を 除く 1人1食当り消費金額 （円）	（参考） 前年度
	即日消費額	備蓄消費額	当月分消費額	（再掲） 補助食品等						
4 月	10,196,985	493,535	10,690,520	1,603,623	9,806	24,813	430.84	366.97	366.22	304.90
5 月	10,062,580	572,263	10,634,843	1,531,078	9,924	25,325	419.93	371.61	359.48	326.57
6 月	9,062,971	460,368	9,523,339	1,430,145	9,875	25,069	379.89	430.48	322.84	369.28
小計	29,322,536	1,526,166	30,848,702	4,564,846	29,605	75,207	410.18	389.88	349.49	333.89
7 月	10,058,823	553,663	10,612,486	1,406,333	10,951	27,998	379.04	369.80	328.81	316.36
8 月	10,646,589	614,250	11,260,839	1,621,570	10,540	26,365	427.11	367.34	365.61	309.01
9 月	9,350,317	600,210	9,950,527	1,591,966	10,303	25,796	385.74	367.13	324.03	312.02
小計	30,055,729	1,768,123	31,823,852	4,619,869	31,794	80,159	397.01	368.09	339.38	312.44
累計	59,378,265	3,294,289	62,672,554	9,184,715	61,399	155,366	403.39	379.08	344.27	323.25
10月	10,590,269	549,072	11,139,341	1,878,053	10,988	27,051	411.79	388.44	342.36	333.35
11月	9,989,226	636,228	10,625,454	1,703,079	10,720	26,577	399.80	384.01	335.72	321.03
12月	12,122,782	845,208	12,967,990	2,308,237	10,681	26,774	484.35	452.19	398.14	387.33
小計	32,702,277	2,030,508	34,732,785	5,889,369	32,389	80,402	431.99	408.13	358.74	347.20
累計	92,080,542	5,324,797	97,405,339	15,074,084	93,788	235,768	413.14	388.60	349.20	331.10
1 月	9,183,426	861,084	10,044,510	1,408,002	10,853	27,740	362.09	335.84	311.34	284.66
2 月	8,776,220	810,432	9,586,652	1,275,839	9,961	25,771	371.99	365.92	322.49	321.05
3 月	9,347,711	870,912	10,218,623		10,559	26,358	387.69	366.57	387.69	366.57
小計	27,307,357	2,542,428	29,849,785	2,683,841	31,373	79,869	373.73	355.89	340.13	323.79
累計	119,387,899	7,867,225	127,255,124	17,757,925	125,161	315,637	403.17	380.23	346.91	329.23

<参考> 前年度の状況（金額）

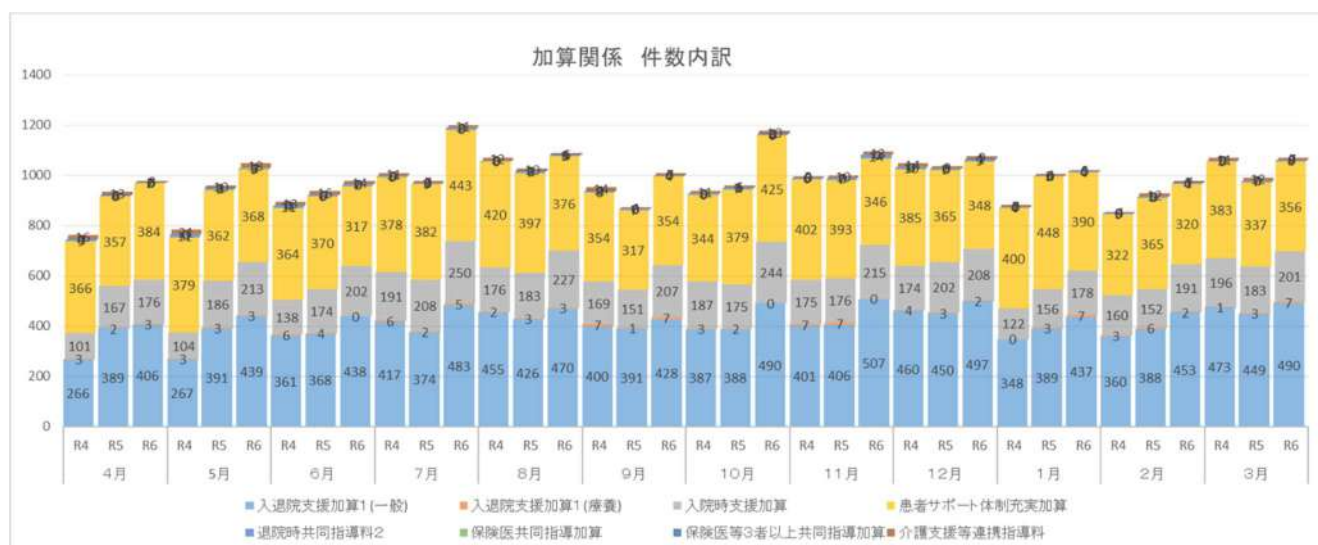
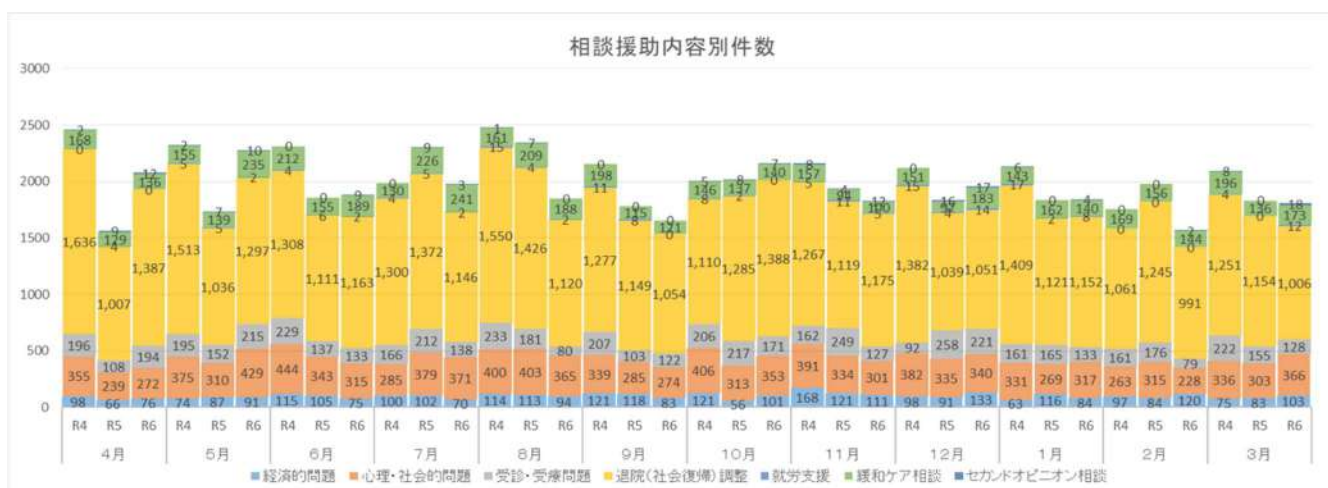
同月 実数	9,254,852	397,764	9,652,616		10,473	26,332	366.57
年度 累計	112,509,132	5,117,821	117,626,953	15,776,478	121,891	309,358	380.23
年度 平均	9,375,761	426,485	9,802,246	1,314,707	10,158	25,780	380.23

366.57
329.23
329.23

医療福祉相談室

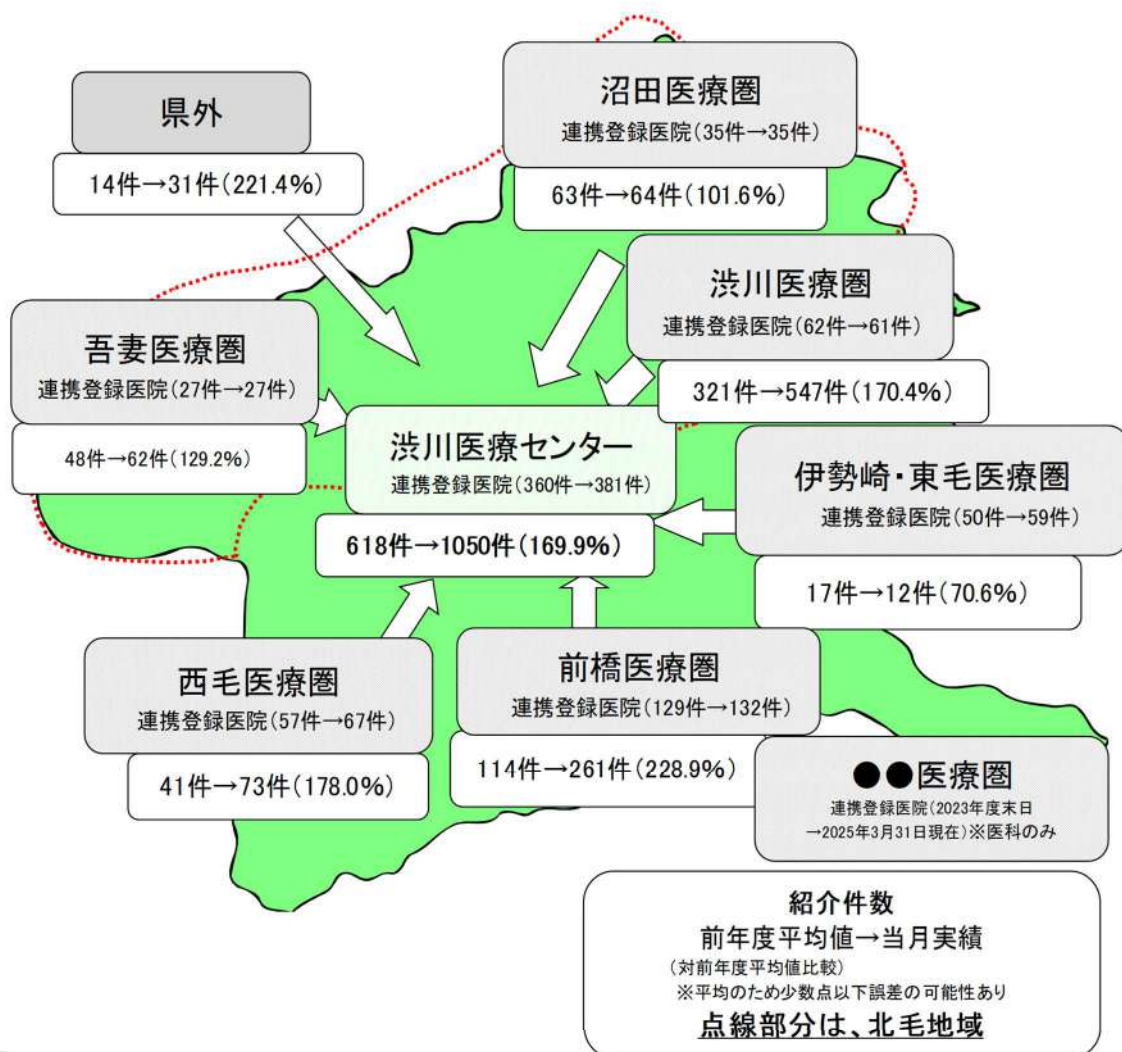
相談対応数（実数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（件）	割合
外来	令和5年度	71	75	71	93	76	82	69	90	88	75	73	71	934	26.4%
	令和6年度	84	86	72	76	82	60	67	68	80	62	66	63	866	24.8%
	前年度比	13	11	1	-17	6	-22	-2	-22	-8	-13	-7	-8	-68	
入院	令和5年度	192	212	238	232	235	212	225	209	200	212	224	209	2,600	73.6%
	令和6年度	233	219	224	239	224	205	242	206	207	216	200	206	2,621	75.2%
	前年度比	41	7	-14	7	-11	-7	17	-3	7	4	-24	-3	21	
合計	令和5年度	263	287	309	325	311	294	294	299	288	287	297	280	3,534	
	令和6年度	317	305	296	315	306	265	309	274	287	278	266	269	3,487	
	前年度比	54	18	-13	-10	-5	-29	15	-25	-1	-9	-31	-11	-47	



医療福祉相談室

2024年度医療圏別紹介患者数(診療科合計)



医療圏別紹介患者数

医療圏	2021年度 月平均値	2022年度 月平均値	2023年度 月平均値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均	割合
吾妻	52.2	50.5	48.2	46	55	56	60	55	46	51	61	47	64	75	62	678	56.5	7.3%
沼田	66.0	65.8	63.4	74	71	63	67	70	66	76	57	63	83	69	64	823	68.6	8.9%
渋川	301.4	285.2	320.6	391	424	423	451	359	361	446	406	408	427	438	547	5,081	423.4	54.9%
小計(北毛)	419.6	401.4	432.2	511	550	542	578	484	473	573	524	518	574	582	673	6,582	548.5	71.1%
伊勢崎・東毛	15.6	12.3	17.0	18	19	7	19	13	14	20	17	11	10	16	12	176	14.7	1.9%
前橋	108.7	113.8	114.2	105	97	93	153	104	89	132	109	141	190	170	261	1,644	137.0	17.8%
西毛	36.5	35.0	40.5	52	50	38	51	53	39	42	33	45	73	75	73	624	52.0	6.7%
小計	160.8	161.1	171.7	175	166	138	223	170	142	194	159	197	273	261	346	2,444	203.7	26.4%
県外	13.5	14.3	14.5	20	8	13	16	18	11	11	16	18	31	32	31	225	18.8	2.4%
計	593.8	576.8	618.3	706	724	693	817	672	626	778	699	733	878	875	1050	9,251	770.9	100.0%
昨年度実績				584	566	673	600	601	586	701	683	623	631	580	592	7,420	618.3	

月別患者紹介率

月別患者紹介件	2021年度 月平均値	2022年度 月平均値	2023年度 月平均値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
新外来患者数：①	618.2	537.9	514.3	595	647	616	686	568	574	616	556	576	550	524	624	7,132	594.3
（うち夜間等初診患者）：②	64.1	69.8	49.2	42	42	34	65	61	67	67	32	47	66	39	35	597	49.8
（うち救急車来院患者）：③	27.8	38.3	29.3	27	24	30	21	32	29	36	37	38	34	26	22	356	29.7
初診患者数：④＝①－（②＋③）	526.3	429.8	435.9	526	581	552	600	475	478	513	487	491	450	459	567	6,179	514.9
文書により紹介された患者数：⑤	593.8	576.8	618.3	706	724	693	817	672	626	778	699	733	878	875	1,050	9,251	770.9
（うち再診患者）：⑥	200.1	195.3	211.1	221	203	215	308	245	201	292	252	276	443	434	527	3,617	301.4
（うち機構病院からの紹介患者）：⑦	6.3	7.6	3.1	5	4	8	4	3	1	2	3	6	1	2	9	48	4.0
紹介患者数：⑧＝⑤－（⑥＋⑦）	387.4	373.9	404.2	480	517	470	505	424	424	484	444	451	434	439	514	5,586	465.5
紹介した患者数：⑨	423.9	442.2	421.8	479	510	508	537	521	487	539	510	508	498	471	557	6,125	510.4
紹介率：⑧／④×100	73.61	86.99	92.72	91.25	88.98	85.14	84.17	89.26	88.70	94.35	91.17	91.85	96.44	95.64	90.65	90.40	
逆紹介率：⑨／④×100	80.54	102.87	96.75	91.06	87.78	92.03	89.50	109.68	101.88	105.07	104.72	103.46	110.67	102.61	98.24	99.13	

※地域医療支援病院の承認条件は、紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること。

連携協力医登録状況

令和6年度

* 令和7年3月31日現在

	登録医数	医療機関数			構成比率
		合計	内訳		
			病院	医院・クリニック・ 介護老人保健施設	
渋川地区	97	61	9	52	15.8%
沼田利根地区	50	35	7	28	8.2%
吾妻地区	41	27	8	19	6.7%
前橋地区	188	132	15	117	30.7%
高崎地区	90	62	15	47	14.7%
安中地区	1	1	1	0	0.2%
富岡地区	2	2	1	1	0.3%
藤岡地区	8	2	1	1	1.3%
伊勢崎地区	22	16	4	12	3.6%
桐生地区	20	14	5	9	3.3%
太田・館林市区	38	29	9	20	6.2%
医科計	557	381	75	306	91.0%
歯科	55	45	1	44	9.0%
合計	612	426	76	350	100.0%

IV 会議及び委員会

独立行政法人国立病院機構渋川医療センターに設置する会議及び委員会一覧表

(主会議)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
幹部会議	病院の管理運営上の重要事項	院 長	毎週 (木曜日) ※拡大幹部会議の 週除く 午後4:00～	院長、副院長、統括診療部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、	庶務班長
拡大幹部会議	病院の運営を組織的かつ効率的に することを目的とする事項	院 長	月1回 (病院経営管理会 議前週の木曜日) 午後4:00～	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、小山放射線診断部長、山岸救急診療科部長、吉成消化器外科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長	庶務班長
病院運営管理会議	①事業計画、予算執行計画、院内 諸規程の制定、改廃及び病院管理 運営上必要な事項 ②病院の決定事項及び運営方針等 について、院内各部門へ周知 ③診療に関する具体的事項	副院長	月1回 (第3火曜日) 午後3:30～	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、各診療部長、各 医長(指名された医長)、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画 課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長、診療放射線技師 長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、医療安全 管理係長、地域医療連携係長、各看護師長、業務班長、庶務班 長、専門職、療育指導室長、医療福祉相談室長、治験主任	庶務係長
病院経営管理会議	病院の経営運営上の様々な事項 (経営改善、経営の合理化、経営の 戦略的手順について審議する。	院 長	月1回 (原則25日) 午後4:00～	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、各診療部長、各 医長(指名された医長)、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画 課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長、診療放射線技師 長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、医療安全 管理係長、地域医療連携係長、各看護師長、業務班長、専門 職、療育指導室長、医療福祉相談室長、経営企画係長、経理係 長、診療情報管理係長	経営企画係長

(部門別会議)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
診療部長・医長会議	①患者の診療及び治療上の医学的 事項並びに医局間の重要事項 ②病院の運営上必要な諸事項 ③病院の運営方針について周知徹 底するとともに、各医長の連絡調整	副院長	必要に応じて	院長を除く医長以上の管理職	内科系診療部 長
看護師長会議	①患者の看護及び診療補助事項並 びに看護部の諸事項 ②病院の運営方針等について周知 徹底するとともに看護部内の連絡調 整	看護部長	第1・3・4木曜日 午後1:30～	看護部長、副看護部長、医療安全管理係長、地域医療連携係 長各看護師長	看護師長
医局会議	①患者の診療及び治療上の医学的 事項並びに医局間の重要事項 ②病院の運営上必要な諸事項 ③病院の運営方針について周知徹 底するとともに、各医長の連絡調整	医局長	月1回 (第4火曜日) 午後4:30～	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、各診療部長、各 医長、各医師、臨床研究部顧問、救急医療顧問、放射線治療セ ンター顧問、研修医、診療看護師	当番者
副看護師長会議	副看護師長の課題、看護業務の改 善策及び看護職員の資質向上策に ついて検討	看護部長	月1回 (第3水曜日) 午後1:30～	看護部長、副看護部長、医療安全管理係長、教育担当看護師 長、各副看護師長、	副看護師長

(部門別会議)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
臨床研究部運営会議	臨床研究部運営に関する具体的諸事項	院 長	原則、年1回	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、小山放射線診断部長、山岸救急診療科部長、吉成消化器外科部長、川島呼吸器外科部長、神沼放射線治療部長、間島緩和ケアセンター長、各科医長(指名された医長)事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長	業務班長

臨床研究部運営部会	①臨床研究部研究内容の研究 ②研究業績の検討、評価	臨床研究部長	必要に応じて	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、小山放射線診断部長、山岸救急診療科部長、吉成消化器外科部長、川島呼吸器外科部長、神沼放射線治療部長、間島緩和ケアセンター長、薬剤部長、各科医長(指名された医長)	業務班長
-----------	------------------------------	--------	--------	--	------

メディカルスタッフ連絡会議	各部門の診療課題の検討、改善等の諸事項	薬剤部長	毎月1回 (第1水曜日) 午後2:00～	薬剤部長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、作業療法士長、療育指導室長、医療福祉相談室長、視能訓練士、臨床工学技士、歯科衛生士 委員長が必要と認めた場合:統括診療部長、事務部長、看護部長	当番幹事
---------------	---------------------	------	----------------------------	--	------

(診療機能等会議)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
重症心身障害病棟運営会議	重症心身障害病棟の運営に関する諸事項	院 長	年1回 (3月)	院長、副院長、療育指導科長(副院長併任)、合田脳神経外科医長、井上小児科医長、井田小児科医師、山口小児科医師、重症心身障害病棟担当医、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長1名、栄養管理室長、理学療法士長、重症心身障害病棟看護師長、医療福祉相談室長、療育指導室長、保育士、児童指導員	児童指導員

重症心身障害病棟連絡部会	重症心身障害病棟の運営に関する諸事項	療育指導科長	月1回 (原則第1火曜日) 午後4:00～	副院長、療育指導科長(副院長併任)、合田脳神経外科医長、井上小児科医長、久保田歯科口腔外科医長、井田小児科医師、山口小児科医師、事務部長、看護部長、副看護部長1名、栄養管理室長、理学療法士長、医療安全管理係長、重症心身障害病棟看護師長、専門職、医療福祉相談室長、療育指導室長、重症心身障害病棟副看護師長、薬歴管理主任、感染管理認定看護師、診療看護師、主任保育士、保育士、歯科衛生士	児童指導員
--------------	--------------------	--------	-----------------------------	--	-------

摂食小委員会	摂食機能療法における実務に関する諸事項	主任保育士またはその代理	月1回 (原則第3水曜日) 午後4:00～	重症心身障害児(者)病棟職員(副看護師長、摂食機能療養担当看護師)、管理栄養士、言語聴覚士、主任保育士、児童指導員、保育士、歯科衛生士	当番者
--------	---------------------	--------------	-----------------------------	---	-----

重症心身障害病棟入所検討委員会	重症心身障害病棟への契約入所(長期・措置入所)及び短期入所に関する諸事項、入所受入の可否	副院長	偶数月 (第三金曜日) 午後3:00～	副院長、合田脳神経外科医長、井上小児科医長、井田小児科医師、山口小児科医師、副看護部長1名、栄養管理室長、理学療法士長、重症心身障害病棟看護師長、専門職、療育指導室長、主任保育士、児童指導員	児童指導員
-----------------	--	-----	---------------------------	---	-------

(診療に関する委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
外来診療運営委員会	外来にかかる診療枠、プースの使用や診療方針等を検討する。	統括診療部長	必要に応じて	統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、川島呼吸器外科部長、斉藤血液内科部長、神沼放射線治療部長、佐藤消化器内科部長、副薬剤部長、外来看護師長、地域医療連携係長、副診療放射線技師長、副臨床検査技師長、医事係長	医事係長

情報システム委員会	病院における情報システムの適正な運用、管理、導入を図るために必要な事項の審議及び調整、監査等を行う	統括診療部長	月1回 (第1水曜日) 午後4:00～	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、川島呼吸器外科部長、神沼放射線治療部長、間島緩和ケアセンター長、合田脳外科部長、斉藤血液内科部長、木村消化器内科部長、佐藤乳管内分泌外科部長、久保田歯科口腔外科部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、副薬剤部長、副看護部長1名、栄養管理室長、作業療法士長、医療安全管理係長、看護師長(病棟2名、外来)、業務班長、庶務班長、専門職、療育指導室長、副診療放射線技師長、副臨床検査技師長、経理係長、医事係長、診療情報管理係長、診療情報管理士、庶務係(SE)	診療情報管理士
-----------	---	--------	---------------------------	--	---------

電子カルテ運用検討部会	電子カルテの運用、電子カルテ停止時の運用等に関する具体的諸事項の検討を目的とする	副院長	必要に応じて	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、関本麻酔部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、高橋救急診療科部長、大崎呼吸器内科部長、企画課長、管理課長、経営企画室長、専門職、医事係長、副看護部長1名、薬剤部長、臨床検査技師長、診療放射線技師長、栄養管理室長、理学療法士長、医療安全管理係長、看護師長2名、診療情報管理係長、診療情報管理士、管理課SE	診療情報管理士
-------------	--	-----	--------	--	---------

診療情報管理室運営部会	「情報システム委員会」の所属部会として、管理室の運用及び診療録の適正な管理に関する具体的諸事項	統括診療部長	月1回 (第4月曜日) 午後3:00～	統括診療部長、横田がん診療部長、高橋皮膚科部長、佐藤消化器内科部長、経営企画室長、主任栄養士、理学療法士長、看護師長1名、専門職、副看護部長1名、医事係長、診療情報管理士	診療情報管理士
-------------	---	--------	---------------------------	---	---------

(診療に関する委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
クリニカルパス検討部会	「情報システム委員会」の所属部会として、クリニカルパスの運用に関する具体的な諸事項	乳腺・内分泌外科部長	月1回 (第3水曜日) 午後4:00～	田村外科系診療部長、佐藤乳管内分泌外科部長、小野里呼吸器外科部長、大崎呼吸器内科部長、沼沢消化器外科部長、三原血液内科部長、病棟看護師長4名、外来看護師長、副看護部長2名、主任栄養士、主任放射線技師、医事係長、臨床検査科1名、薬剤師1名、診療情報管理士	診療情報管理士

NST・褥瘡委員会	チーム医療による栄養障害の早期改善による治療効果の向上、栄養障害に伴う合併症の減少、摂食不良改善による患者QOLの向上、入院患者の褥瘡対策等を検討、適切な診療を行うための具体的諸事項	脳神経外科部長	月1回 (第4or5火曜日) 午後4:00～	臨床研究部長、合田脳神経外科部長、高橋皮膚科部長、井上小児科部長、久保田歯科口腔外科部長、栄養管理室長、医療安全管理係長、看護師長1名、専門職、主任薬剤師、副看護部長2名、主任栄養士、栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士、皮膚・排泄ケア認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、看護部代表若干名、歯科衛生士	皮膚・排泄ケア認定看護師
-----------	---	---------	------------------------------	---	--------------

緩和ケア対策検討委員会	入院しているがん患者の身体的・精神的苦痛を和らげるための活動に対し、円滑な緩和ケアのための体制整備を図る	緩和ケアセンター長	年1回 11月	田村外科系診療部長、間島緩和ケアセンター長、小林緩和ケア科部長、星野緩和ケア科医師、病棟師長2名、専門職、医療福祉相談室長薬剤師、緩和ケアチーム専従看護師、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、	緩和ケアチーム専従看護師
-------------	--	-----------	---------	--	--------------

(診療に関する委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
(緩和ケア病棟) 入棟審査会	緩和ケア病棟の入棟に関しての審査を行う	緩和ケア科部長	緩和ケア病棟入棟審査を行う都度招集し開催	小林緩和ケア科部長、星野緩和ケア科医師、緩和ケア病棟師長、医療社会事業専門員	緩和ケア病棟師長

虐待防止・身体拘束適正化委員会	渋川医療センターに従事する者による虐待の防止、権利擁護意識向上の措置を講じることが目的とする	院長	最低年2回以上	院長、副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断科部長、吉成消化器外科部長、合田脳神経外科部長、井上小児科部長、事務部長、看護部長、管理課長、副看護部長1名、病棟看護師長1名、重症心身障害児(者)病棟師長、外来看護師長、庶務班長、専門職、コメディカル部門より各1名(薬剤部、放射線科、臨床検査科、リハビリテーション科、栄養管理室、医療福祉相談室)、療育指導室長、保育士、児童指導員	庶務班長
-----------------	--	----	---------	---	------

虐待防止・身体拘束適正化委員会 重心部会	重症心身障害病棟に従事する者による障害者虐待の防止、権利擁護意識向上の措置を講じることが目的とする	副院長	月1回	副院長、合田脳神経外科部長、井上小児科部長、井田小児科医師、山口小児科医師、事務部長、看護部長、副看護部長1名、医療安全管理係長、重症心身障害病棟看護師長、専門職、療育指導室長、重症心身障害病棟副看護師長、サービス管理責任者	児童指導員
----------------------	---	-----	-----	--	-------

(特殊診療機能等運営委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
輸血療法委員会	適切な輸血療法を推進するための、 具体的諸事項	血液内科医 長	2か月に1回	田村外科系診療部長、斉藤血液内科部長、入内島血液内科医 長、薬剤部長、企画課長、副看護部長1名、臨床検査技師長、医 療安全管理係長、病棟師長(5西)、専門職、副臨床検査技師 長、輸血専任臨床検査技師	副臨床検査技 師長

手術室運営委員会	手術室の運営方針、安全管理、清 潔管理、機器の保守・点検・新規購 入にどの事項	麻酔部長	12月第4月曜日16 時	田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、吉成 消化器外科部長、川島呼吸器外科部長、合田脳神経外科医 長、割田整形外科医長、高橋皮膚科医長、久保田歯科口腔外 科医長、薬剤部長、副看護部長1名、臨床検査技師長、医療安 全係長管理、手術室看護師長、病棟看護師長(4東・西、5東病 棟)、副診療放射線技師長、生理学主任、契約係長、主任理学 療法士	手術室看護師 長
----------	---	------	-----------------	---	-------------

化学療法検討委員会	外来及び短期入院での化学療法を 実施していく上での諸問題について	呼吸器内科 医長	2か月に1回 (第1火曜日) 午後3:00～	横田がん診療部長、斉藤血液内科部長、高橋皮膚科医長、大崎 呼吸器内科医長、沼賀消化器外科医長、薬剤部長、経営企画 室長、副看護部長1名、栄養管理室長、医療安全管理係長、看 護師長(5西)、主任薬剤師、副看護部長3名(外来副看護師長・ がん化学療法看護認定看護師、4東副看護師長)、医事係長、 診療情報管理士	医事係長
-----------	-------------------------------------	-------------	------------------------------	--	------

がん診療部運営委員会	地域がん診療連携拠点病院として 市民公開セミナーの企画・立案等の がんに関する啓発活動を取りまとめ る	がん診療部長	必要に応じて	副院長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん 診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、川島 呼吸器外科部長、神沼放射線治療部長、間島緩和ケアセンター 長、斉藤血液内科部長、小林緩和ケア科医長、高橋皮膚科医 長、佐藤消化器内科医長、薬剤部長、企画課長、管理課長、経 営企画室長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技 師長、栄養管理室長、作業療法士長、専門職、医療福祉相談室 長、医事係長	経営企画室長
------------	--	--------	--------	--	--------

(特殊診療機能等運営委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
患者相談支援センター運 営委員会	①地域医療連携室の運営 ②共同利用の運営 ③医療相談室の運営	統括診療部 長	月1回 (第3金曜日) 午後4:00～	統括診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、 木村消化器内科医長、沼賀消化器外科医長、事務部長、経営 企画室長、副薬剤部長(必要時)、副看護部長1名、栄養管理室 長、地域医療連携係長(看護師長)、専門職、医療福祉相談室 長、経営企画係長、医療社会事業専門員、地域医療連携係、地 域医療連携事務職員(委託)	地域医療連携 係

救急医療部運営委員会	地域医療支援病院及と救急医療の 体制作りについて	救急診療科部 長	6月第2金曜日、16 時から	吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、山岸救急診療科 部長、川島呼吸器外科部長、合田脳神経外科医長、木村消化 器内科医長、高橋消化器外科医長、割田整形外科医長、内橋 救急医療顧問、横江乳腺内分泌外科医師、企画課長、副薬剤 部長、副看護部長1名、臨床検査技師長、病棟看護師長(4東)、 外来看護師長、地域医療連携係長、副診療放射線技師長、専 門職、医療福祉相談室長	専門職
------------	-----------------------------	-------------	-------------------	--	-----

リハビリ部門運営委員会	リハビリテーションを実施していく上 での諸問題について	整形外科医 長	必要に応じて	吉井内科系診療部長、合田脳神経外科医長、割田整形外科医 長、作業療法士長、看護師長2名(重心・一般各1名)、専門職 (医事)、医療福祉相談室長、療育指導室長	理学療法士長
-------------	--------------------------------	------------	--------	--	--------

ニューロモデュレーション センター運営委員会	ニューロモデュレーションセンターの 組織及び運営等に必要事項を定め、 質の高い医療提供の体制整備	脳神経外科 特任部長	2か月に1回程度	平戸脳神経外科特任部長、合田脳神経外科医長、脳神経外科 医師、作業療法士長、5東病棟看護職員(看護師長・副看護師 長・看護師)、経営企画係長、薬剤師、作業療法士、医療社会事 業専門員	経営企画係長
---------------------------	--	---------------	----------	--	--------

(特殊診療機能等運営委員会)

R6.4.1 現在

ハンドケアセンター運営委 員会	ハンドケアセンターの組織及び運営等 に必要な事項を定め、質の高い医療を 提供するための体制整備を図ることを目 的とする	ハンドケアセン ター長	3か月に1回程度	金澤整形外科医長、経営企画室長、作業療法士長、外来看護師 長、4西病棟看護師長、外来担当看護師、診療看護師、経営企画係 長	経営企画係長
--------------------	--	----------------	----------	---	--------

診療看護師・特定行為研 修修了看護師管理運営 委員会	診療看護師特定行為研修修了看 護師の活動が円滑に行われ、更に 資質の向上を図る	統括診療部 長	四半期に1回	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診 療部長、小山放射線診断科部長、吉成消化器外科部長、事務 部長、副看護部長1名、医療安全係長、診療看護師、特定行為 研修修了看護師、庶務係長	庶務係長
----------------------------------	---	------------	--------	--	------

救急センター運営委員会	救急センターの運営に関する具体 的諸問題について審議し、関係各 部署との連携強化、業務の効率化 により救急患者をスムーズに受け入 れることを目的とする	救急センター 長(救急診療 科部長)	月1回 第一水曜日	山岸救急診療科部長、高橋救急診療科医長、脳神経外科医 師、4階東病棟看護師長、4階東病棟看護師、地域医療連携係 長、専門職、医療福祉相談室長、医事係長	医事係長
-------------	---	--------------------------	--------------	---	------

てんかんセンター 運営委員会	てんかんセンターの組織及び運営等 に必要な事項を定め、質の高い医療を提 供するための体制整備を図ることを目的 とする	院長	偶数月 第2水曜日 16:30～	院長、間島緩和ケアセンター長、井上小児科医長、井田小児科医 師、脳神経外科医師、経営企画室長、主任薬剤師、薬剤師、生理検 査主任、5東病棟看護師長、5東病棟看護師、言語聴覚士、医療社 会事業専門員	医療社会事業専門 員
-------------------	---	----	------------------------	---	---------------

高精度放射線治療センター 運営委員会	高精度放射線治療センターの組織及び 運営等に必要な事項を定め、質の高い 医療を提供するための体制整備を図る ことを目的とする	高度放射線治療 センター長	偶数月の第2木曜日(4 月を除く)	神沼高度放射線治療センター長、松浦高度放射線治療センター顧 問、放射線治療科医師2名、放射線治療部門看護師、がん放射線療 法看護認定看護師、5東病棟看護師、がん性疼痛看護認定看護師、 経営企画係長、診療放射線技師長、診療放射線技師2名、栄養管理 室長、管理栄養士	診療放射線技師
-----------------------	---	------------------	----------------------	---	---------

(医療安全に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
医療安全管理委員会	適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする	副院長	月1回 (第2火曜日) 午後4:00～	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、小山放射線診断部長、山岸救急診療科部長、吉成消化器外科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、副看護部長1名、医療安全管理係長、専門職	医療安全管理係長

医療安全部会	医療安全対策の充実を図るため、医療安全管理委員会の所属部会として医療安全部会を設置	麻酔部長	月1回 (医療安全管理委員会の前日) 午後3:30～	関本麻酔部長、神沼放射線治療部長、井上小児科医長、高橋皮膚科医長、桑子呼吸器内科医長、八巻呼吸器外科医長、高橋救急診療科医長、佐藤消化器内科医長、副薬剤部長、副看護部長1名、臨床検査技師長、栄養管理室長、副理学療法士長、医療安全管理係長、教育担当看護師長、看護師長5名、業務班長、庶務班長、専門職、副診療放射線技師長、療育指導室長、副看護師長8名	医療安全管理係長
--------	---	------	----------------------------------	---	----------

死亡症例検証委員会	渋川医療センターにおける死亡症例を検証し医療の質の向上を図る	内科系診療部長	月1回 (第4金曜日) 午後4:00～	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、横田がん診療部長、山岸救急診療科部長、合田脳神経外科医長、島田放射線診断科医長、山田病理診断科医長、医療安全管理係長、研修医	医療安全管理係長
-----------	--------------------------------	---------	---------------------------	---	----------

医薬品安全管理部会	医薬安全管理体制を確保し安全な医療を提供するための具体的諸事項	薬剤部長	偶数月 (第3金曜日) 午後3:00～	吉井内科系診療部長、八巻呼吸器外科医長、薬剤部長、医療安全管理係長、看護師長2名、主任薬剤師	主任薬剤師
-----------	---------------------------------	------	---------------------------	--	-------

(医療安全に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
医療機器設備安全管理部会	医療機器安全管理体制を確保し安全な医療を提供するための具体的諸事項	救急診療科部長	奇数月 (第4水曜日) 午後4:30～	田村外科系診療部長、横田がん診療部長、山岸救急診療科部長、八巻呼吸器外科医長、桑子呼吸器内科医長、木村消化器内科医長、副薬剤部長、医療安全管理係長、看護師長2名(手術室看護師長・病棟看護師長)、副診療放射線技師長、副臨床検査技師長、契約係長、臨床工学士	契約係長

院内感染予防対策委員会	感染症患者の現状把握とその予防及び対策に関する具体的諸事項	副院長	月1回 (第2水曜日) 午後3:30～	院長、副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線科診断部長、吉成消化器外科部長、斉藤血液内科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、副看護部長1名、臨床検査技師長、医療安全管理係長、専門職、感染管理専従看護師、	感染管理認定看護師
-------------	-------------------------------	-----	---------------------------	--	-----------

感染制御推進部会	院内感染防止策及び医療従事者の感染防止に関する質の向上を図ること、並びに院内感染予防対策委員会で検討した事項に対して具体的対策を立て、院内感染予防対策委員会に報告すること、その達成をするために必要な事項を調査・審議	悪性リンパ腫・骨髄腫センター長	月1回 (第4火曜日) 午後3:00～	斉藤血液内科部長、井上小児科医長、高橋研消化器外科医長、高橋救急診療科医長、村田呼吸器内科医長、副薬剤部長、副看護部長1名、主任栄養士、専門職、副臨床検査技師長、医療安全管理係長、看護師長6名、副看護師長7名、薬剤科1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、リハビリテーション科1名、感染管理認定看護師	副臨床検査技師長
----------	---	-----------------	---------------------------	--	----------

医療ガス安全管理委員会	院内の医療ガスの取扱いの安全管理に関する具体的諸事項	副院長	年1回 (3月)	副院長、看護部長、薬剤部長、医療安全管理係長、手術室看護師長、外来看護師長、業務班長、庶務班長、契約係長、医療ガス管理者	契約係長
-------------	----------------------------	-----	-------------	--	------

医療安全事例検証会	医療にかかる事故が発生した場合に報告体制を早急に行い、医療事故対応や方針等を緊急に審議し、迅速に対応し検証することで病院全体の医療の質の向上を図ることを目的とする	副院長 (医療安全管理室長)	必要に応じて	院長、副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、関本麻酔部長、副看護部長1名、医療安全管理係長、専門職	医療安全管理係長
-----------	---	-------------------	--------	--	----------

医療事故調査委員会	医療事故調査制度に該当する事案が発生した場合に設置する	院長	事案発生時に開催	院長、副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、小山放射線診断部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、医療安全管理係長、専門職、医療事故調査等支援団体の専門家	医療安全管理係長
-----------	-----------------------------	----	----------	--	----------

(職場安全衛生に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
安全衛生委員会	職員の健康管理及び安全保持に関する必要な具体的事項	副院長	月1回 (第3水曜日) 午後4:00～	副院長、事務部長、産業医、横江乳腺内分泌外科医師、副薬剤部長、庶務班長、労働者側3名 ※年2回の拡大安全衛生委員会時には、衛生管理者(吉井内科系診療部長、間島緩和ケアセンター長)、管理課長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、副看護部長1名、外来看護師長、庶務係長の出席	庶務班長
苦情処理委員会	業績評価制度による被評価者からの苦情申し立て	副院長	必要に応じて	副院長、評価者(役職職員)4名	管理課長
防災対策委員会	院内の火災の予防、地震等の災害による被害の防止及び患者等の救護避難等に必要な具体的諸事項	事務部長	年2回 (6・10月)	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、小山放射線診断部長、山岸救急診療科部長、吉成消化器外科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、医療安全管理係長、地域医療連携係長、各看護師長、業務班長、庶務班長、専門職、療育指導室長、医療福祉相談室長	庶務班長
災害対応検討部会	災害体制の検討・整備および災害時ロジスティクス要員	救急診療科 医長	偶数月第1金曜日 午後3時00分～(4 月のみ第3金曜日) および必要時	山岸救急診療科部長、合田脳神経外科医長、高橋救急診療科医長、DMAT隊員、薬剤師1名、看護師(3東 4東 4西 5東 5西 6東 7東 PCU 手術室 外来 入院 看護部長室2名)、庶務班長、医事係長	庶務班長
廃棄物処理対策委員会	院内廃棄物の適正管理及び処理に必要な具体的諸事項	副院長	年1回 (3月)	副院長、事務部長、看護部長、薬剤部長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、作業療法士長、医療安全管理係長、業務班長、庶務班長、契約係長、感染管理看護師	業務班長

(職場安全衛生に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
放射線安全管理委員会	病院内の放射線等の取扱いの安全管理に関する具体的諸事項	副院長 (放射線診断 部長)	年1回 (3月)	副院長、小山放射線診断部長、神沼放射線治療部長、産業医、企画課長、管理課長、診療放射線技師長、副診療放射線技師長、医療安全管理係長、業務班長、庶務班長、専門職、放射線取扱主任者、診療放射線主任技師	副診療放射線技 師長
放射線部門医療機器安全管理部会	放射線部門医療機器安全管理体制を確保し、安全な医療を提供するための具体的諸事項	高精度放射 線治療セン ター長	年1回 (3月)	小山放射線診断部長、神沼放射線治療部長、企画課長、副看護部長1名、診療放射線技師長、医療安全管理係長、業務班長、庶務班長、副診療放射線技師長、診療放射線主任技師	副診療放射線技 師長
福利厚生委員会	病院の職員の福利厚生に関する計画及び実施等に関する具体的諸事項	管理課長	必要に応じて	高橋救急診療科医長、管理課長、庶務班長、庶務係長、事務職1名、技能職2名、医療職(一)1名、医療職(二)1名、医療職(三)3名	庶務係長
ハラスメント防止対策委員会	ハラスメントの事実が認められた勤務環境の改善が必要と判断された場合に再発防止を立案・対策	副院長	必要に応じて	副院長、統括診療部長、田村外科系診療部長、看護部長、事務部長、企画課長、管理課長、経営企画室長、副看護部長1名	管理課長
ハラスメント調査委員会	ハラスメントに起因する問題についての調査審議、ハラスメントの該当性の判断	委員の中から 互選	必要に応じて	問題の事案ごとに、ハラスメント防止対策委員会の中から院長が指名したもの5名をもって組織する	管理課長

(管理に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
ボランティア委員会	院内におけるボランティア活動について、効果的適正な運営を図るための具体的事項	緩和ケア科医 長	必要に応じて	副院長、小林緩和ケア科医長、井田小児科医師、星野緩和ケア科医師、副看護部長1名、看護師長3名(緩和ケア病棟・重心病棟・外来)、業務班長、庶務班長、専門職、療育指導室長、医療福祉相談室長、医療社会事業専門員、ボランティアコーディネーター	医療社会事業専門員
図書委員会	院内の医学図書の整備及びその管理に関する具体的諸事項	呼吸器外科部長	年1回(10月)	川島呼吸器外科部長、神沼放射線治療部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、副看護部長1名、臨床検査技師長、栄養管理室長、業務班長、庶務班長、副診療放射線技師長	業務班長
宿舍委員会	病院が管理する職員宿舍(以下「宿舍」という)の適正な管理運営に関する具体的諸事項及び宿舍の入居申込があった場合の可否	事務部長	必要に応じて	事務部長、吉井内科系診療部長、企画課長、管理課長、副看護部長1名、庶務班長、庶務係長	庶務係長
教育研修委員会	全職員対象の院内教育・研修会を企画立案、地域医療従事者、地域住民への医療情報提供の企画立案等	内科系診療部長	年3回 (5・9・3月)	統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、間島緩和ケアセンター長、小林緩和ケア科医長、井上小児科医長、高橋消化器外科医長、薬剤部長、管理課長、副看護部長(教育)、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、作業療法士長、医療安全管理係長、教育担当看護師長、庶務班長、療育指導室長、医療福祉相談室長、庶務係	庶務班長

(管理に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
広報部門運営委員会	病院として積極的に地域との関わりを支援する体制の確立と広報を一元的に管理することを目的として、「ウイズ」の編集に関すること、年報、情報誌、当院ホームページの編集に関することの審議	事務部長	年4回開催 ※広報誌発刊月の 4カ月前 午後3:30～	田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、間島緩和ケアセンター長、合田脳神経外科医長、事務部長、企画課長、管理課長、経営企画室長、副薬剤部長、副看護部長(教育)、臨床検査技師長、栄養管理室長、主任理学療法士、教育担当看護師長、業務班長、庶務班長、副診療放射線技師長、療育指導室長、医療福祉相談室長、庶務係員	庶務係長
職員表彰審査委員会	表彰を受ける職員等について審査(理事長の表彰以外のもの)	副院長	3月開催	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、庶務班長	庶務班長
スキルアップ制度委員会	職員の知識の向上を図ることにより、業務が円滑に行われ、かつ質の向上が図られる研修等の経費等の補助を審議する	副院長	年2回(9月、3月開催)	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長	庶務班長
臨床研修管理委員会	初期臨床研修指定病院としての運営・管理に関する具体的な諸事項	緩和ケア科医 長	年4回開催	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、各診療部長、各医長(指名された医長)、事務部長、看護部長、薬剤部長、管理課長、庶務係長、協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設の研修実施責任者、外部の有識者	庶務係長

(管理に関する委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
WEB戦略検討委員会	インターネット上に提供するWEBサイトの効率的な活用並びに広報的戦略の検討を行うことを目的とする	放射線治療部長	毎月開催	小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、神沼放射線治療部長、井上小児科医長、村田呼吸器内科医師、管理課長、経営企画室長、業務班長、庶務係長、療育指導室長、薬剤師1名、診療放射線主任技師1名、臨床検査技師1名、管理課SE、副看護部長1名、看護師長1名、副看護師長1名、医療社会事業専門職、地域医療連携係	庶務係長

(効率化・効益化検討委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
病床管理委員会	各病床等の管理を行うとともに、病床の効率的運用に関する諸事項	院長	年1回 (3月)	院長、副院長、統括診療部長、臨床研究部長、各診療部長、各医長(指名された医長)、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、作業療法士長、医療安全管理係長、地域医療連携係長、各看護師長、業務班長、庶務班長、専門職、療育指導室長、医療福祉相談室長	専門職(医事)
診療報酬対策委員会	適正な診療報酬請求事務を行うための検討及び、そのフォローアップ	院長	月1回 (病院経営管理会議開催日) 午後3:30～	院長、副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、山岸救急診療科部長、川島呼吸器外科部長、斉藤血液内科部長、神沼放射線治療部長、高橋皮膚科医長、割田整形外科医長、木村消化器内科医長、薬剤部長、経営企画室長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、看護師長2名、専門職、医事係長、診療情報管理係長	医事係長
DPC検討委員会 ※診療報酬対策委員会と合同開催	適正なDPC請求事務を行うための検討及び、そのフォローアップ	院長	年4回	院長、副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断科部長、吉成消化器外科部長、薬剤部長、経営企画室長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、看護師長(一般)、専門職、医事係長、診療情報管理係長、診療情報管理士	診療情報管理士
栄養管理委員会	患者の食事の栄養管理、衛生管理及び食事内容の改善向上等に関する具体的諸事項	脳神経外科医長	年4回 (6・9・12・3月の第2火曜日) 午後3:30～	臨床研究部長、合田脳神経外科医長、沼賀消化器外科医長、佐藤消化器内科医長、事務部長、看護部長、企画課長、経営企画室長、栄養管理室長、看護師長3名(重心・一般・PCU)、副看護師長1名、主任栄養士、調理師長	主任栄養士
(効率化・効益化検討委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
薬事委員会	医薬品及び試薬の有効性安全性、在庫品の効率的使用及び新規に使用する場合の承認等に関する具体的諸事項	副院長	奇数月 (第3火曜日) ※病院運営管理会議終了後	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、山岸救急診療科部長、小山放射線診断部長、川島呼吸器外科部長、間島緩和ケアセンター長、神沼放射線治療部長、各医長(指名された医長)、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、副薬剤部長、業務班長	副薬剤部長
SPD委員会	医療材料(医薬品、試薬を除く。)及び医療器具(5万円未満)の有効性、安全性、在庫品の効率的使用及び新規に使用する場合の承認等に関する具体的諸事項	事務部長	月1回 ※偶数月は病院運営管理会議終了後、奇数月は随時開催	副院長、統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、山岸救急診療科部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、神沼放射線治療部長、川島呼吸器外科部長、間島緩和ケアセンター長、各医長(指名された医長)、事務部長、薬剤部長、企画課長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、医療安全管理係長、看護師長(手術室)、業務班長、専門職、契約係長、医事係長	契約係長
医療材料適正化部会	医療材料費削減に向けた採用に関する取り扱い、不要在庫縮減解消による適正化を図る	事務部長	隔月 ※病院運営管理会議終了後	統括診療部長、事務部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技師長、看護師長3名(外来、手術、病棟)、業務班長、経営企画係長、契約係長、契約係	契約係長
臨床検査部門運営委員会	臨床検査の精度保証と経済性、効率性等に関する適正な運営を行うための具体的諸事項	統括診療部長	年2回 (10・3月)	統括診療部長、吉井内科系診療部長、吉成消化器外科部長、斉藤血液内科部長、佐藤消化器内科医長、山田病理診断科医長、企画課長、臨床検査技師長、看護師長2名、業務班長、副臨床検査技師長、主任臨床検査技師4名、契約係長	副臨床検査技師長

(効率化・効益化検討委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
医療機器整備委員会	病院における医療機器等の重要物品の購入計画及び適正な管理運用に関する具体的諸事項	副院長	必要に応じて	副院長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、横田がん診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、川島呼吸器外科部長、間島緩和ケアセンター長、神沼放射線治療部長、斉藤血液内科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、手術室看護師長、業務班長、契約係長	契約係長
契約審査委員会	国立病院機構契約審査実施要領第3条に定める契約方法等の調査審議を行う。	副院長	月1回 (第1木曜日) 午後3:00～	副院長、看護部長、管理課長、庶務班長	庶務班長
仕様書決定委員会	国立病院機構会計規程第8章第52条に関し、仕様の策定又は機種の検討を有必要がある場合の取扱について必要事項を定める。	統括診療部長	必要に応じて	統括診療部長、事務部長、薬剤部長、企画課長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技師長、医療安全管理係長、契約係長	契約係長
棚卸実施委員会	適正な棚卸資産の管理を図りもって厳正な棚卸資産の確定を行う。	事務部長	必要に応じて	副院長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、臨床検査技師長、栄養管理室長、業務班長、副診療放射線技師長、副看護部長1名、契約係長	契約係長
棚卸実施運営部会	棚卸実施委員会の所属部会	企画課長	年1回3月	企画課長、契約係長、各部署棚卸立会者、各部署棚卸実施者2名	契約係長

(効率化・効益化検討委員会)

R6.4.1 現在

委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
勤務医負担軽減および処遇改善推進委員会	医師の業務軽減を図るための業務調整や業務移行に向けた研修計画策定と実行を図り、医師負担軽減がなされたかの評価を行う。	医局長	年3回 (5・10・2月)	副院長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、神沼放射線治療部長、高橋研消化器外科医長、木村消化器内科医長、小野里呼吸器外科医長、薬剤部長、企画課長、副看護部長1名、臨床検査技師長、診療放射線技師長、栄養管理室長、理学療法士長、外来看護師長、病棟看護師長1名、専門職、医事係長、医師事務作業補助員代表4名、医事委託代表者1名	医事係長
看護師負担軽減および処遇改善推進委員会	看護師の業務軽減を図るための計画並びに調整を行う。	看護部長	年3回 (5・10・2月)	統括診療部長、田村外科系診療部長、薬剤部長、看護部長、企画課長、副看護部長1名、臨床検査技師長、栄養管理室長、理学療法士長、医療安全管理係長、看護部長3名(重心・一般)、専門職、医事係長	医事係長
勤務医負担軽減および処遇改善評価委員会	勤務医負担軽減および処遇改善推進委員会の計画する勤務医の負担軽減に関する分野の検証と評価を実施し、推進委員会へ報告する。	院長	年度1回(2月)	院長、統括診療部長、薬剤部長、企画課長、副看護部長1名、専門職	専門職
看護師負担軽減および処遇改善評価委員会	看護師負担軽減および処遇改善推進委員会の計画する看護師の負担軽減に関する分野の検証と評価を実施し、推進委員会へ報告する。	副看護部長	年度1回(2月)	院長、田村外科系診療部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、副看護部長1名、専門職	専門職

(医療サービス関連委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
医療サービス向上委員会	病院における医療サービスの質の向上を図り、患者の信頼の確保と質の高い医療の提供に関する具体的諸事項	事務部長	毎月 第4金曜日	吉井内科系診療部長、小山放射線診断部長、間島緩和ケアセンター長、合田脳神経外科医長、高橋皮膚科医長、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、経営企画室長、管理課長、副看護部長1名、診療放射線技師長、臨床検査技師長、栄養管理室長、作業療法士長、看護師長(重心・一般・PCU・入院・外来)、業務班長、庶務班長、専門職、療育指導室長、医療福祉相談室長	専門職(医事)

(特別委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
倫理審査委員会	病院に所属する職員が人間を直接対象とする医学の研究及び医療行為を行う場合、ヘルシンキ宣言(1975年「東京総会修正」、1983年「ベニス改定」)の趣旨に添った倫理的配慮のもとに行われるよう具体的諸事項について審議する。	統括診療部長	隔月1回	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、横田がん診療部長、神沼放射線治療部長、斉藤血液内科部長、澤村臨床研究部顧問、事務部長、看護部長、薬剤部長、管理課長、学識経験者2名	管理課長

治験審査委員会	治験を行うことの適否その他の治験に関する具体的諸事項	統括診療部長	隔月1回	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、横田がん診療部長、神沼放射線治療部長、斉藤血液内科部長、澤村臨床研究部顧問、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、業務班長、治験主任、治験コーディネーター、学識経験者2名	治験主任
---------	----------------------------	--------	------	--	------

医師主導治験に係る治験審査委員会	治験を行うことの適否その他の治験に関する具体的諸事項	統括診療部長	隔月1回	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、横田がん診療部長、神沼放射線治療部長、斉藤血液内科部長、澤村臨床研究部顧問、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、業務班長、治験主任、治験コーディネーター、学識経験者2名	治験主任
------------------	----------------------------	--------	------	--	------

受託研究審査委員会	国及びそれに準ずる機関以外の者から委託を受けて行う受託研究の申請案件について審査し、可否を決定するとともに、受託研究に必要な具体的諸事項	統括診療部長	隔月1回	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、横田がん診療部長、神沼放射線治療部長、斉藤血液内科部長、澤村臨床研究部顧問、事務部長、看護部長、薬剤部長、企画課長、管理課長、診療放射線技師長、臨床検査技師長、業務班長、治験主任、治験コーディネーター、学識経験者2名	治験主任
-----------	--	--------	------	--	------

診療録等開示委員会	診療録等の開示の可否、開示の範囲等について適正に行うための具体的諸事項	副院長	必要に応じて	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、事務部長、看護部長、経営企画室長、医療安全管理係長、専門職、診療情報管理係長	診療情報管理係長
-----------	-------------------------------------	-----	--------	--	----------

クオリティーマネジメント委員会	PDCAサイクルによる継続的な医療の改善を促進する	内科系診療部長	必要に応じて	統括診療部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、事務部長、看護部長、薬剤部長、経営企画室長、診療情報管理係長、診療情報管理士	診療情報管理士
-----------------	---------------------------	---------	--------	---	---------

(特別委員会)					R6.4.1 現在
委員会の名称	審 議 内 容	委員長 (主催者)	開 催 日	構 成 員	書 記
臨床研究利益相反審査委員会	臨床研究等に係る利益相反に関する事項	統括診療部長	隔月1回	統括診療部長、臨床研究部長、澤村臨床研究部顧問、事務部長、看護部長、管理課長、外部委員1名(※役職員以外の者を含む男女両性)	管理課長

臨床倫理委員会	診療における患者さんの権利及び個人情報保護等に関して倫理的判断を必要とする様々な問題を審議し、患者さんにとって最も望ましい医療を適切に提供するとともに、職員当の医療倫理意識の向上を図ることを目的とする。	副院長	必要に応じて	副院長、統括診療部長、臨床研究部長、吉井内科系診療部長、田村外科系診療部長、小山放射線診断部長、吉成消化器外科部長、事務部長、看護部長、管理課長、医療安全管理係長、専門職、委員長が指名する病院職員、委員長が指名する外部の有識者2名	管理課長
---------	---	-----	--------	---	------

V 研 究 業 績

国立病院機構渋川医療センター 2024-2025 年研究業績

- * 英文論文, 和文論文, 著書, 学会等の発表の順で示す. 記載方法は主に PubMed に準じた. 各科別に筆頭者 Last name の ABC 順に並べた.
- * 英文論文は 2024 年 1 月から 12 月までの業績で, Web of Science に掲載されているものに限定. 昨年度との重複もある. これは国立病院機構本部総合研究センター臨床研究統括部の指示に従った.
- * 英文論文以外の業績は 2024 年 4 月から 2025 年 3 月までもものが中心.
- * 2024 年以前でこれまで掲載されていない業績も含める.
- * 各部門の重複分は, 代表診療科の業績とし重複を無くした.
- * 当院在籍職員の共著分(筆頭者が在籍職員でないもの)も含まれているが, 論文, 著書以外は筆頭者が原則, 在籍職員である発表とした.
- * 当院在籍職員の外施設での業績(筆頭者のみ)も一部含まれている.
- * 国立病院機構本部総合研究センター臨床研究統括部と協議の結果, 研究実績の対象とならなかったものや変更したものの理由を[]に記載した.

【呼吸器内科】

〈英文論文〉

Naoya Nishioka, Hisao Imai, Masahiro Endo, Akifumi Notsu, Kosei Doshita, Satoshi Igawa, Hiroshi Yokouchi, Takashi Ninomiya, Takaaki Tokito, Sayo Soda, Takasato Fujiwara, Tetsuhiko Asao, Shinji Nakamichi, Takahisa Kawamura, Minehiko Inomata, Kazuhisa Nakashima, Kentaro Ito, Yasuhiro Goto, Yukihiro Umeda, Soichi Hirai, Ryota Ushio, Keiki Yokoo, Takayuki Takeda, Tomoya Fukui, Masashi Ishihara, Takashi Osaki, Sousuke Kubo, Takumi Fujiwara, Chie Yamamoto, Takeshi Tsuda, Nobumasa Tamura, Shinobu Hosokawa, Yusuke Chihara, Satoshi Ikeda, Naoki Furuya, Yoshiro Nakahara, Satoru Miura, Hiroaki Okamoto. Real-World Data on Subsequent Therapy for First-Line Osimertinib-Induced Pneumonitis: Safety of EGFR-TKI Rechallenge (Osi-risk Study TORG-TG2101). Target Oncol. 2024 May;19(3):423-433. doi: 10.1007/s11523-024-01048-x. Epub 2024 Apr 13. PMID: 38613731

Fuyumi Nishihara-Kato, Hisao Imai, Takeshi Tsuda, Satoshi Wasamoto, Yoshiaki Nagai, Takayuki Kishikawa, Yosuke Miura, Akihiro Ono, Yutaka Yamada, Ken Masubuchi, Takashi Osaki, Junichi Nakagawa, Yukihiro Umeda, Hiroyuki Minemura, Yuki Kozu, Hirokazu Taniguchi, Hiromitsu Ohta, Kyoichi Kaira, Hiroshi Kagamu. Prognostic Potential of the Prognostic Nutritional Index in Non-Small Cell Lung Cancer Patients Receiving Pembrolizumab Combination Therapy with Carboplatin and Paclitaxel/Nab-Paclitaxel. Oncology. 2024;102(1):30-42. doi: 10.1159/000533604. Epub 2023 Aug 18. PMID: 37598676

Akihiro Tamiya, Mitsuo Osuga, Daijiro Harada, Shun-Ichi Isa, Yoshihiko Taniguchi, Keiichi Nakamura, Yasuyuki Mizumori, Tsutomu Shinohara, Hidetoshi Yanai, Katsumi Nakatomi, Masahide Oki, Masahide Mori, Tomohito Kuwako, Koji

Yamazaki, Atsuhisa Tamura, Masahiko Ando, Yasuhiro Koh. Mechanisms of resistance and correlation between pre-treatment co-alterations and p-prognosis to osimertinib in chemo-naïve advanced non-small cell lung cancer. Lung Cancer. 2024 Sep;195:107917. doi: 10.1016/j.lungcan.2024.107917. Epub 2024 Aug 3. PMID: 39116552

Yoshihiko Taniguchi, Akihiro Tamiya, Mitsuo Osuga, Daijiro Harada, Shun-Ichi Isa, Keiichi Nakamura, Yasuyuki Mizumori, Tsutomu Shinohara, Hidetoshi Yanai, Katsumi Nakatomi, Masahide Oki, Masahide Mori, Tomohito Kuwako, Koji Yamazaki, Atsuhisa Tamura, Masahiko Ando, Yasuhiro Koh. Baseline genetic abnormalities and effectiveness of osimertinib treatment in patients with chemotherapy-naïve EGFR-mutated NSCLC based on performance status. BMC Pulm Med. 2024 Aug 24;24(1):407. doi: 10.1186/s12890-024-03212-5. PMID: 39182046

【呼吸器外科】

＜学会発表＞

Kotaro Kawagishi, Hiroaki Harada, Yoshikazu Inoue, Riki Okita, Yukiyasu Takeuchi, Hiroyuki Mokuji, Takehiro Watanabe, Kazushi Doshita, Satoshi Sawai, Mototsugu Watanabe, Nao Senoo, Toshiyuki Kita, Osamu Kawashima, Mitsuhiro Uemura, Eiji Yayanagi, Fumiaki Watanabe), Toru Arai. 間質性肺炎に合併した気胸症例における治療方針と治療成績の前向きリアルワールドデータ調査（NHO ネットワーク共同研究）～手術症例を中心とした検討～.

Treatment strategies for pneumothorax associated with Interstitial pneumonia.

Prospective real-world data study of treatment outcomes. - Focusing on surgical cases

- 第 77 回日本胸部外科学会定期学術集会 The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Association for Thoracic Surgery, 金沢, Nov 1 - 4, 2024. [s 演者が所属外]

川島修, 八巻英, 小野里良一. 根治術 22 年後に胸壁再発を来し切除した原発性肺がんの 1 例. 第 78 回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

Naoko Takeuchi, Toru Arai, Yoshikazu Inoue, Riki Okita, Yukiyasu Takeuchi, Hiroyuki Metsugi, Takehiro Watanabe, Kazushi Doshita, Satoru Sawai, Mototsugu Watanabe, Tadashi Senoo, Toshiyuki Kita, Osamu Kawashima, Mitsuhiro Kamimura, Eiji Yatsuyanagi, Fumiaki Watanabe, Hiroaki Harada. A multicenter prospective real-world data survey on treatment strategies and outcomes for secondary spontaneous pneumothorax associated with interstitial lung diseases. CHEST 2024 Annual Meeting, Boston, Massachusetts, Oct 6 - 9, 2024. [渋川医療センター所属の記載なし, 筆頭者が所属外]

八巻英, 小野里良一, 川島修. 右 B2+3 転位気管支を伴う右上葉肺癌に対して単孔式右上葉切除術を施行した 1 例. 第 41 回日本呼吸器外科学会学術集会, 長野県 軽井沢プリンスホテル ウェスト, May 31- June 1, 2024.

八巻英, 小野里良一, 川島修. Thymolipoma の 1 切除例. 第 86 回日本臨床外科学会学術集会, 宇都宮, Nov 21 - 23, 2024

【血液内科】

〈英文論文〉

Hirono Iriuchishima, Akio Saito, Masahiro Mihara, Yukie Terasaki, Akira Matsumoto, Atsushi Isoda, Yusuke Furukawa, Morio Matsumoto. Efficacy of daratumumab in newly diagnosed multiple myeloma patients with 1q21 gain. Int J Hematol. 2024 Jul;120(1):71-79. doi: 10.1007/s12185-024-03760-w. Epub 2024 Mar 29. PMID: 38551778

Atsushi Isoda, Hiroaki Kurashina, Reo Usami, Yukie Terasaki, Naoki Akashi, Masahiro Mihara, Hirono Iriuchishima, Akio Saito, Morio Matsumoto, Morio Sawamura. Revealing cyclic thrombocytopenia: The role of periodogram analysis and the impact of thrombopoietin receptor agonist therapy. Int J Lab Hematol. 2024 Aug;46(4):751-754. doi: 10.1111/ijlh.14278. Epub 2024 Mar 29. PMID: 38551036

Isoda A, Terasaki Y, Kanaya S, Saito A. Improving gastrointestinal quality of life: romidepsin to tucidinostat in a case of angioimmunoblastic T cell lymphoma. BMJ Case Rep. 2024 Jan 10;17(1):e256315. doi: 10.1136/bcr-2023-256315. PMID: 38199657

Shibayama H, Itagaki M, Handa H, Yokoyama A, Saito A, Kosugi S, Ota S, Yoshimitsu M, Tanaka Y, Kurahashi S, Fuchida SI, Iino M, Shimizu T, Moriuchi Y, Toyama K, Mitani K, Tsukune Y, Kada A, Tamura H, Abe M, Iwasaki H, Kuroda J, Takamatsu H, Sunami K, Kizaki M, Ishida T, Saito T, Matsumura I, Akashi K, Iida S. Primary analysis of a prospective cohort study of Japanese patients with plasma cell neoplasms in the novel drug era (2016-2021). Int J Hematol. 2024 Jun;119(6):707-721. doi: 10.1007/s12185-024-03754-8. Epub 2024 Mar 29. PMID: 38548963

Kazuhito Suzuki, Morio Matsumoto, Yasushi Hiramatsu, Naoki Takezako, Yotaro Tamai, Kenshi Suzuki. NK and T-lymphocyte Kinetics Predict Outcome in Myeloma Patients Treated With Elotuzumab, Lenalidomide Plus Dexamethasone. Cancer Diagn Progn. 2024 Mar 3;4(2):97-104. doi: 10.21873/cdp.10293. eCollection 2024 Mar-Apr. PMID: 38434915, PMCID: PMC10905294, DOI: 10.21873/cdp.10293. [Web of Scienceに掲載されていない。Pubmedに掲載されているが、期間外]

Satoshi Yamasaki, Hiroatsu Iida, Akio Saito, Morio Matsumoto, Yoshiaki Kuroda, Tohru Izumi, Akiko M Saito, Hiroaki Miyoshi, Koichi Ohshima, Hirokazu Nagai, Hiromi Iwasaki. Phase II Trial of Romidepsin as Consolidation Therapy after Gemcitabine, Dexamethasone, and Cisplatin in Elderly Transplant-Ineligible Patients with Relapsed/Refractory Peripheral T-Cell Lymphoma. Hematol Rep. 2024 May 28;16(2):336-346. doi: 10.3390/hematolrep16020034. PMID: 38921182

〈和文論文〉

瀬尾幸子, 河田英里, 入内島裕乃, 平尾磨樹, 吉原享子, 上田真寿, 半田寛, 中世古知昭, 伊藤薫樹, 飯田真介, 安倍正博, 堺田恵美子. ダイバーシティ推進委員会 2023 年度アンケート結果報告. International Journal of Myeloma 2024; 14 (6): 47-52. Online ISSN: 2187-3143

<学会発表>

入内島裕乃, 斉藤明生, 三原正大, 寺崎幸恵, 明石直樹, 磯田淳, 松本守生. 当院でイサツキシマブ含有化学療法を施行した再発・難治多発性骨髄腫患者における R2-ISS の妥当性. Validation of the R2-ISS for relapsed and/or refractory multiple myeloma patients treated with isatuximab-containing regimens in our hospital. 第 49 回日本骨髄腫学会学術集会 The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Myeloma, 福岡国際会議場, May 31 - Jun 2, 2024. 現地+WEB 開催

入内島裕乃, 斉藤明生, 三原正大, 寺崎幸恵, 明石直樹, 磯田淳, 松本守生. 再発難治性多発性骨髄腫患者におけるダラツムマブ投与歴によるイサツキシマブ治療成績の後方視的解析. 第 86 回日本血液学会学術集会 The 86th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, 国立京都国際会館, Oct 11 -13, 2024. 現地+WEB 開催

入内島裕乃. サークリサの実臨床経験から学んだこと～私は 2nd line でサークリサを使う～抗 CD38 抗体未使用例 移植非適応編. sarCLisa Online (シーエルオンライン), Nov 20, 2024. WEB 開催 [サノフィ株式会社. 企業が主催したセミナー]

入内島裕乃. 再発・難治性多発性骨髄腫治療の新たな治療戦略 ～Teclistamab の有用性～. Johnson & Johnson Multiple Myeloma Web Seminar 骨髄腫治療の Total Therapy を考える, Mar 5, 2025. WEB 開催 [ヤンセンファーマ株式会社. 企業が主催したセミナー]

金谷秀平. 治療経過中に FLT3-ITD 変異陽性となった混合形質性急性白血病の一例. 第 42 回群馬血液疾患研究会, 群馬ロイヤルホテル, Sep 27, 2024. 現地+WEB 開催

三原正大, 入内島裕乃, 明石直樹, 寺崎幸恵, 金谷秀平, 斉藤明生, 磯田淳, 澤村守夫, 松本守生. 経過中に骨髄線維症を併発した多発性骨髄腫 6 例についての検討. 第 86 回日本血液学会学術集会 The 86th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, 国立京都国際会館, Oct 11 -13, 2024. 現地+WEB 開催

三原正大. 高位精巣摘除術で診断された血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 2 例. 第 41 回群馬血液疾患研究会, 群馬ロイヤルホテル, Apr 12, 2024. 現地+WEB 開催

松本守生. ダラキューロ (R) 皮下注製剤の真価を問う. ダラキューロ (R) 皮下注製剤の真価を問う. "Chairperson" and "Facilitator." Dec 11, 2024. WEB 開催 [ヤンセンファーマ株式会社. 企業が主催したセミナー]

斉藤明生, 明石直樹, 寺崎幸恵, 三原正大, 入内島裕乃, 磯田淳, 下山達, 松本守生. 再発・難治性濾胞性リンパ腫に対して Tazemetostat を使用した 2 症例. 第 38 回悪性リンパ腫治療研究会, 群馬県 エテルナ高崎, Apr 20 - 21, 2024

斉藤明生. 初発濾胞性リンパ腫に対する Obinutuzumab の意義. 北日本 Lymphoma Seminar, Dec 3, 2024. WEB 開催 [日本新薬株式会社. 企業が主催したセミナー]

斎藤明生. マントル細胞リンパ腫の治療戦略と Pirtobrutinib の位置づけ. ジャイパーカ
MCL Web セミナー, Dec 18, 2024. WEB 開催 [日本新薬株式会社. 企業が主催したセミナー]

斎藤明生. 再発・難治性濾胞性リンパ腫の新しい治療戦略～タズベリク使用経験を踏まえた考察
～. Lymphoma Expert Web Meeting. Aug 20, 2024. WEB 開催 [エーザイ株式会社. 企業が主催し
たセミナー]

斎藤明生. 再発・難治性濾胞性リンパ腫の新しい治療戦略 -タズベリク×CAR-T の可能性を考え
る. Lymphoma Web seminar -EZH2 阻害薬の可能性を探求する-. Jan 16, 2025. WEB 開催 [エーザ
イ株式会社. 企業が主催したセミナー]

寺崎幸恵, 斎藤明生, 明石直樹, 三原正大, 入内島裕乃, 磯田淳, 鈴木司, 加留部謙之輔, 松本
守生. 再発時に形質が変化した TdT 陽性 triple hit High-grade B-cell lymphoma. 第 64 回日本
リンパ網内系学会学術集会・総会 The 64th Annual Meeting of the Japanese Society for
Lymphoreticular Tissue Research, 第 27 回日本血液病理研究会 The 27th Annual Meeting of
Japan Society for Hematopathology, 京王プラザホテル, Jun 27 - 29, 2024. 現地+WEB 開催

山崎聡, 飯田浩充, 斎藤明生, 松本守生, 黒田芳明, 和泉透, 齋藤明子, 三好寛明, 大島孝一,
永井宏和, 岩崎浩己. 高齢移植不適格の再発難治性 PTCL 患者に対する GDP 後ロミデプシン療法の
第 II 相試験. 第 86 回日本血液学会学術集会 The 86th Annual Meeting of the Japanese
Society of Hematology, 国立京都国際会館, Oct 11 -13, 2024. 現地+WEB 開催 [筆頭者が所属
外]

【消化器内科】

〈英文論文〉

Yuichiro Hirai, Toshio Uraoka, Michiko Wada, Hideki Mori, Ai Fujimoto, Yuko
Sakakibara, Tatsuya Toyokawa, Takashi Kagaya, Yoshihiro Sasaki, Tomohiko
Mannami, Toshio Kuwai, Noriko Watanabe, Hiroshige Hamada, Naoki Esaka, Toshihisa
Kimura, Hiroyuki Fujii, Yasuo Hosoda, Masaaki Shimada, Hideharu Miyabayashi, Shinichi
Somada, Katsuhiro Mabe, Shuji Inoue, Hiroki Saito, Kensuke Furuya, Norio
Kawamura, Tomohiro Kudo, Keisuke Hori, Naoto Sakamoto, Mototsugu Kato, Nobuya
Higuchi, Naohiko Harada; NHO Network Gastrointestinal Study Group. Urgent Contrast-
Enhanced Computed Tomography before Early Colonoscopy in the Management of Colonic
Diverticular Bleeding: A Multicenter Randomized Controlled Trial. Digestion. 2024 Oct
15:1-13. doi: 10.1159/000541942. Online ahead of print. PMID: 39406199

Takayoshi Suga, Satoru Kakizaki, Atsushi Naganuma, Takeshi Hatanaka, Satoshi
Takakusagi, Daichi Takizawa, Hiroataka Arai, Takashi Ueno, Keisuke Iizuka, Satoshi
Fukuchi, Shuichi Saito, Hiroki Tojima, Yuichi Yamazaki, Toshio Uraoka. Evaluation of
the efficacy of lusutrombopag for chronic liver disease based on pre-treatment platelet
counts: A retrospective multicenter study.

JGH Open. 2024 Dec 31;9(1):e70081. doi: 10.1002/jgh3.70081. eCollection 2025 Jan.

〈和文論文〉

村上立真, 山崎勇一, 舘山夢生, 金山雄樹, 植原大介, 須賀孝慶, 戸島洋貴, 佐藤賢, 柿崎暁, 浦岡俊夫. COVID-19 による入院患者における肝障害と肺炎の関連—特に妊婦について—. 肝臓, 2025 年 66 巻 3 号 p. 71-77. DOI <https://doi.org/10.2957/kanzo.66.71>, Online ISSN: 1881-3593, Print ISSN: 0451-4203, ISSN-L: 0451-4203 [渋川医療センター所属の記載なし]

〈著書〉

柿崎暁, 長沼篤, 上野敬史, 飯塚圭介, 畑中健, 須賀孝慶, 齋藤秀一, 堀口英, 滝澤大地, 新井弘隆, 戸島洋貴, 山崎勇一, 佐藤賢, 浦岡俊夫. 群馬県における肝硬変の成因と病態の推移. 肝硬変の成因別実態 2023. 日本肝臓学会, 吉治 仁志 (監修), 榎本 平之, 芥田 憲夫, 疋田 隼人 (編集), 文光堂: 2024 Mar 28: 49 -52. ISBN-10: 4830621176, ISBN-13: 978-4830621178

〈学会発表〉

須賀孝慶, 田部井容子, 菊池司, 山崎勇一, 柿崎暁, 浦岡俊夫, 北村忠弘. 内因性のグルカゴン、GLP-1、GIP 分泌は糖尿病、肥満および脂肪肝を改善する. 第 10 回肝臓と糖尿病・代謝研究会 The 10th Liver, Diabetes and Metabolism Forum, 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場, Jul 6, 2024

須賀孝慶, 柿崎暁, 長沼篤, 畑中健, 高草木智史, 滝澤大地, 新井弘隆, 上野敬史, 飯塚圭介, 福地達, 齋藤秀一, 戸島洋貴, 山崎勇一, 浦岡俊夫. 投与前血小板値からみたルストロンボパグの有効性の検討—多施設共同研究. 第 32 回日本消化器関連学会 Japan Digestive Disease Week 2024 (JDDW 2024), 兵庫県 神戸コンベンションセンター, Oct 31 - Nov 3, 2024

須賀孝慶. C 型肝炎治療の変遷-当院での治療成績を含め-. 渋川地区医師会学術講演会, 群馬, Jun, 2024. [自施設主催]

須賀孝慶. 本当はこわい脂肪肝 ～いつ受診すれば良いの?～. 2024 年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座, 群馬県, 高崎総合医療センター講堂, Jul 28, 2024. [公開講座]

【消化器外科】

〈英文論文〉

Naganuma A, Makita F, Sugimoto R, Kikuchi M, Furuta K, Iwamoto S, Sakamori R, Kouno H, Ario K, Yatsushashi H. An open-label, randomized, controlled trial on the benefit of β -hydroxy- β -methyl butyrate, l-arginine, l-glutamine combination beverages and locomotion training as supportive care for the treatment of unresectable hepatocellular carcinoma using lenvatinib: A pilot study (HELLO study). Clin Nutr ESPEN. 2025 Feb;65:357-364. doi: 10.1016/j.clnesp. 2024.12.005. Epub 2024 Dec 13. PMID: 39675424

Nobuhiro Nakazawa, Makoto Sohda, Nobuhiro Hosoi, Takayoshi Watanabe, Yuji Kumakura, Toshiki Yamashita, Naritaka Tanaka, Kana Saito, Akiharu Kimura, Kengo Kasuga, Kenji Nakazato, Daisuke Yoshinari, Hisashi Shimizu, Yasunari Ubukata, Hisashi Hosaka, Akihiko Sano, Makoto Sakai, Hiroomi Ogawa, Ken Shirabe, Hiroshi Saeki.

Conversion Surgery After Chemotherapy Plus Nivolumab as the First-Line Treatment for Unresectable Advanced or Recurrent Gastric Cancer and a Biomarker Study Using the Gustave Roussy Immune Score: A Multicenter Study. Ann Surg Oncol. 2024 Dec;31(13):9023-9029. doi: 10.1245/s10434-024-16161-4. Epub 2024 Sep 3. PMID: 39225857

Nobuhiro Nakazawa, Makoto Sohda, Nobuhiro Hosoi, Takayoshi Watanabe, Yuji Kumakura, Toshiki Yamashita, Naritaka Tanaka, Kana Saito, Akiharu Kimura, Kengo Kasuga, Kenji Nakazato, Daisuke Yoshinari, Hisashi Shimizu, Yasunari Ubukata, Hisashi Hosaka, Akihiko Sano, Makoto Sakai, Hiroomi Ogawa, Ken Shirabe, Hiroshi Saeki. Identification of Biomarkers for Assessing Treatment Efficacy of Chemotherapy plus Nivolumab as the First Line in Patients with Unresectable Advanced or Recurrent Gastric Cancer: A Multicenter Study. Oncology. 2025;103(3):201-208. doi: 10.1159/000540841. Epub 2024 Sep 12. PMID: 39265540

Nobuhiro Nakazawa, Akihiko Sano, Yuji Kumakura, Toshiki Yamashita, Naritaka Tanaka, Kana Saito, Akiharu Kimura, Kengo Kasuga, Kenji Nakazato, Daisuke Yoshinari, Hisashi Shimizu, Yasunari Ubukata, Hisashi Hosaka, Takuya Shiraishi, Makoto Sakai, Makoto Sohda, Ken Shirabe, Hiroshi Saeki. Prognostic Nutrition Index as a Biomarker for Treatment Sensitivity to Chemotherapy and Nivolumab as the First-Line Treatment in Patients with Unresectable Advanced or Recurrent Gastric Cancer: A Multicenter Study. Oncology. 2024 Oct 24:1-8. doi: 10.1159/000541544. Online ahead of print. PMID: 39447553,

〈和文論文〉

蒔田富士雄, 松本守生, 高橋章夫. 渋川医療センターにおける新型コロナウイルス感染症入院患者の検討 ―5類感染症移行までのまとめ―. 群馬医学 2024; 120: 9 - 16. ISSN: 0285-0656

〈学会発表〉

蒔田富士雄, 高橋研吾, 沼賀有紀, 市岡健, 鴨下崇史, 吉成大介. 肝細胞癌治療切除術後5年以上生存例の検討. 第86回日本臨床外科学会学術集会, 宇都宮, Nov 21 - 23, 2024

【乳腺・内分泌外科】

〈和文論文〉

横江隆夫. 内服薬が原因と思われた意識消失の2例. 群馬県救急医療懇談会誌. 2025 Mar; 19: 48 - 49. NII 書誌 ID(NCID): AA12487655, ISSN: 1880375X

〈学会発表〉

佐藤亜矢子, 横田徹, 横江隆夫. EP-0431 術前化学療法後のHER2およびホルモン受容体発現の変化とHER2陽性化症例の検討. 第32回日本乳癌学会学術総会, 宮城県仙台市, Jul 11 -13, 2024, 現地+WEB開催

横江隆夫, 横田徹, 佐藤亜矢子. Eribulin再投与により再度反応が見られた乳癌多発肝転移の1例. 第32回日本乳癌学会学術総会, 宮城県仙台市, Jul 11 -13, 2024, 現地+WEB開催

横江隆夫. 内服薬が原因と思われた意識消失の2例. 第30回群馬県救急医療懇談会, 群馬大学医学部, Sep 29, 2024. 現地+WEB開催

横江隆夫. ベイズ統計を用いた乳癌検診要精検者が乳癌である確率. 第34回日本乳癌検診学会学術総会 The 34th Annual Meeting of Japan Association of Breast Cancer Screening, Gメッセ群馬, Nov 29 -30, 2024. 現地+WEB開催

横田 徹, 横江 隆夫. 国立病院機構病院での産業医活動の現状と問題点. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

【放射線治療科】

〈英文論文〉

Takeru Ohtaka, Ken Ando, Takahiro Oike, Shin-Ei Noda, Takuya Kaminuma, Kazutoshi Murata, Tatsuya Ohno. The prognostic effect of tumor volume, reduction ratio, and cumulative doses on external beam radiotherapy with central-shielding method and image-guided adaptive brachytherapy for cervical cancer. *Front Oncol.* 2024 May 7;14:1366777. doi: 10.3389/fonc. 2024.1366777. eCollection 2024. PMID: 38774419

Yoshiyuki Miyazawa, Hiroshi Nakayama, Hidemasa Kawamura, Yuhei Miyasaka, Masahiro Onishi, Takuya Kaminuma, Yoshitaka Sekine, Hiroshi Matsui, Tatsuya Ohno & Kazuhiro Suzuki. Analysis of urinary function and prostate volume changes in localized prostate cancer patients treated with carbon-ion radiotherapy; a prospective study. *Radiat Oncol.* 2024 Nov 19;19(1):165. doi: 10.1186/s13014-024-02563-x. PMID: 39563371

〈学会発表〉

桑子慧子, 松浦正名, 中村勇司, 神沼拓也, 桑子智人, 吉井明弘. T4巨大腫瘍のIII期肺癌に対しCCRT及びデュルバルマブ地固め療法で根治が可能であった1例. 第462回日本医学放射線学会関東地方会定期大会, Gメッセ群馬, Dec 21, 2024. 現地開催

【泌尿器科】

〈英文論文〉

Akio Horiguchi, Masayuki Shinchii, Kenichiro Ojima, Kazuyoshi Iijima, Koji Inoue, Takamitsu Inoue, Naoyuki Kaneko, Akihiro Kanematsu, Daizo Saito, Tatefumi Sakae, Toru Sugihara, Kazuhiko Sekine, Tetsuya Takao, Tadashi Tabei, Yoshimi Tamura, Tomohiro Funabiki, Yusuke Yagihashi, Masato Yanagi, Satoru Takahashi, Yosuke Nakajima. The Japanese Urological Association's clinical practice guidelines for urotrauma 2023. *Int J Urol.* 2024 Feb;31(2):98-110. doi: 10.1111/iju.15331. Epub 2023 Nov 6. PMID: 37929795

Akio Horiguchi, Masayuki Shinchii, Yusuke Hirano, Hiroshi Asanuma, Yoshiyuki Ishiura, Koji Inoue, Akihiro Kanematsu, Tadashi Tabei, Yoshimi Tamura, Yosuke Nakajima, Kimihiko Moriya, Yusuke Yagihashi, Takashi Fukagai, Yasuhisa Fujii. *Clinical*

questions in the Japanese Urological Association's 2024 clinical practice guidelines for urethral strictures. Int J Urol. 2024 Sep;31(9):956-967. doi: 10.1111/iju.15512. Epub 2024 Jun 14. PMID: 38874432

Masanori Ishizaki, Masaru Hasumi, Kazumichi Muramatsu, Nobuaki Shimizu.
Prostate neuroendocrine carcinoma successfully treated with etoposide and cisplatin.
IJU Case Rep. 2024 Sep 22;7(6):491-494. doi: 10.1002/iju5.12787. eCollection 2024 Nov. PMID: 39498181 [渋川医療センター所属の記載なし]

Masanori Ishizaki, Masaru Hasumi, Kazumichi Muramatsu, Misa Iijima, Nobuaki Shimizu. A rare case of renal medullary carcinoma without sickle cell hemoglobinopathy in a Japanese woman. Urol Case Rep. 2025 Mar 3;60:102996. doi: 10.1016/j.eucr.2025.102996. eCollection 2025 May. [渋川医療センター所属の記載なし]

<和文論文>

Masanori Ishizaki. Treatment for Neuroendocrine Prostate Cancer. Andrology. 14:337. Published: 10-Jan-2025, DOI: 10.35248/2167-0250.24.14.337 [Pubmed 収載なし. 和文論文として掲載]

<著書>

堀口明男, 深貝隆志, 藤井靖久, 浅沼宏, 浦嘉之, 井上幸治, 兼松明弘, 田部井正, 田村芳美, 中島洋介, 守屋仁彦, 八木橋祐亮, 新地祐介, 平野裕資. 尿道狭窄症診療ガイドライン—2024 年版—. 日本泌尿器科学会編 医学図書出版: 2024 Apr 15. ISBN コード: 978-4-86517-583-7

<学会発表>

Yoshimi Tamura. Panel discussion. Update on renal ureteral trauma management. The epidemiology of renal trauma and updates on its classification systems. 第111回日本泌尿器科学会総会 The 111th Annual Meeting of the Japanese Urological Association, パシフィコ横浜, Apr 25 - 27, 2024. 現地+WEB 開催

Yoshimi Tamura, Noriko Ishio, Takanori Shimizu, Tubasa Neno, Tadatoshi Yoshihara, Azusa Kanayama, Akio Horiguchi. Urethroplasty results at the Shibukawa Medical Center: Comparison of EPA and NTU for bulbar urethral stricture cases. 第111回日本泌尿器科学会総会 The 111th Annual Meeting of the Japanese Urological Association, パシフィコ横浜, Apr 25 -27, 2024. 現地+WEB 開催

田村芳美, 関口雄一, 辻裕亮, 青木雅典, 宮尾武士, 堀口明男. 口腔粘膜を用いた代用組織利用尿道形成術の2症例について. 第97回日本泌尿器科学会群馬地方会, 群馬県前橋市, Nov 16, 2024. 現地+WEB 開催

【脳神経外科】

<和文論文>

Yutaro Itabashi, Akio Takahashi, Takaaki Miyagishima. Efficacy of vagus nerve

stimulation for drug-resistant epilepsy after treatment for arteriovenous malformation: report of three cases. *Epilepsy & Seizure* 2024 April 5; 16(1): 21-28. Online ISSN: 1882-5567, ISSN-L: 1882-5567 [Pubmed 収載なし. 和文論文として掲載]

<学会発表>

宮城島孝昭, 高橋章夫, 井田久仁子, 合田司, 平戸政史, 板橋悠太郎, 伊部洋子. 迷走神経刺激療法 of 管理-Day/Night プログラミングの有用性について-. 第 48 回日本てんかん外科学会, 浅草ビューホテル, Feb 6 - 7, 2025

宮城島孝昭, 平戸政史, 高橋章夫, 合田司, 板橋悠太郎. 高齢パーキンソン病患者に対する視床下核刺激療法 of 管理. 第 64 回日本定位・機能神経外科学会, 浅草ビューホテル, Feb 7 - 8, 2025

高橋章夫, 井田久仁子, 間島竹彦, 山浦美和子, 狩野未樹, 岩丸樹, 板橋悠太郎, 伊部洋子, 宮城島孝昭. 医療資源の疎な地域でのてんかん診療連携—地域てんかん診療拠点を立ち上げるには—. 第 57 回日本てんかん学会学術集会, 福岡国際会議場, Sep 12 - 14, 2024. 現地+WEB 開催

高橋章夫, 間島竹彦, 岩丸樹, 狩野未樹, 山浦美和子, 井田久仁子, 宮城島孝昭, 伊部洋子. てんかん外科における術後精神症状 —地域てんかん診療拠点病院の試み—. 第 57 回日本てんかん学会学術集会, 福岡国際会議場, Sep 12 - 14, 2024. 現地+WEB 開催

【皮膚科】

<和文論文>

高橋亜由美, 中野瞬, 荒木健. 疣状結節を呈した慢性肥厚性カンジダ症の 1 例. *臨床皮膚科 医学書院*; 2024 Aug 1; 78 (9): 689-693. CRID: 1390582628641210880, DOI: 10.11477/ mf.1412207381, ISSN: 18821324, 00214973

<学会発表>

木村成穂, 高橋亜由美. Zosteriform metastases を生じた肺腺癌の一例. 第 117 回日本皮膚科学会群馬地方会, 群馬建設会館, Aug 4, 2024

木村成穂, 高橋亜由美. 皮疹を契機に診断に至った多中心性 Castleman 病の一例. 第 118 回日本皮膚科学会群馬地方会, 群馬県前橋市, Nov 24, 2024

木村成穂, 高橋亜由美. 後天性反応性穿孔性膠原線維症を合併した水疱性類天疱瘡の一例. 第 119 回日本皮膚科学会群馬地方会, 群馬県前橋市, Mar 23, 2025

高橋亜由美, 木村成穂, 吉原忠寿. Enfortumab vedotin による皮膚障害の 1 例. 第 119 回日本皮膚科学会群馬地方会, 群馬県前橋市, Mar 23, 2025

【救急診療科】

＜学会発表＞

高橋栄治. 大量殺傷型テロ対応関係コースの現状と課題. 第 30 回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会, 名古屋市国際展示場, Mar 6 - 8, 2025. 現地開催

高橋栄治. MCLS-CBRNE コース. 第 30 回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会, 名古屋市国際展示場, Mar 6 - 8, 2025. 現地開催

高橋栄治. MCLS 大量殺傷型テロ対応病院コース. 第 30 回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会, 名古屋市国際展示場, Mar 6 - 8, 2025. 現地開催

【小児科】

＜学会発表＞

井上文孝, 井田久仁子, 山口綾. 重症心身障害児者における排唾管を用いた口腔内低圧持続吸引に関する検討. 第 78 回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

井上文孝, 井田久仁子, 山口綾. 重症心身障害児への NST の関わりについて: 当院重症心身障害病棟における現状と課題. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡市, Apr 19 -21, 2024. 現地+WEB 開催

井上文孝, 合田司, 井田久仁子, 山口綾, 高塚真理, 奥田加奈子. 重症心身障害者への NST の関わりについて: 当院重症心身障害病棟における NST 活動の現状と課題. 日本栄養治療学会関東支部 第 10 回支部学術集会, G メッセ群馬, Jun 9, 2024. 現地+WEB 開催

井上文孝, 井田久仁子, 山口綾. 当院重症心身障害病棟看護師に対する小児 BLS 研修について. 第 225 回日本小児科学会群馬地方会講話会, 群馬大学, Jul 21, 2024

井上文孝, 井田久仁子, 山口綾. 当院重症心身障害病棟看護師に対する小児 BLS 研修について. 令和 6 年度群馬県小児保健会総会並びに研究集会, 群馬大学医学部保健学科ミレニアムホール新館 2 階, Sep 7, 2024

井上文孝, 山口綾. 当院心身障害病棟における NST の関わりについて: 小児と成人の比較. 第 49 回日本重症心身障害学会学術集会, 神戸国際会議場, Nov 8 - 9, 2024. 現地+WEB 開催

井上文孝, 山口綾, 合田司, 高塚真理, 林賢吾, 深山美咲. 重症心身障害病棟における NST 活動の特徴: 一般病棟との比較. 第 40 回日本栄養治療学会学術集会, 神戸国際会議場, Nov 8 -9, 2024. 現地+WEB 開催

【歯科口腔外科】

＜著書＞

根岸明秀. 在宅患者の口腔ケア. 今日の臨床サポート. 改訂第 5 版. Aug 21, 2024. ISBN-10: 4-7581-0206-7, ISBN-13: 978-4-7581-0206-7. 監修: 近津大地 東京医科大学 監修レビュー済 <https://clinicalsup.jp/jpoc/contentpage.aspx?diseaseid=1857> [渋川医療センター所属の記

載なし]

<学会発表>

山下陽介, 今井治樹, 藤田紘一, 宮城島弘貴, 大村進, 根岸明秀, 廣田誠, 光藤健司. Enlight CMF を用いた Surgical guide 併用 Le Fort I 型骨切り術の評価. 第 69 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 The 69th Congress of the Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons (JSOMS 2024). パシフィコ横浜会議センター, Nov 22 - 24, 2024. 現地+WEB 開催 [渋川医療センター所属の記載なし, 筆頭者が所属外]

根岸明秀. シンポジウム - 病院歯科のこれまでとこれから - 国立病院機構 歯科口腔医療協議会と首都圏病院歯科協議会. 全国病院歯科医協会第 1 回総会. 東京都文京区, 一橋講堂, Dec 22, 2024. 現地+WEB 開催 [渋川医療センター所属の記載なし]

【看護部】

<著書>

本多昌子. 患者さんの不安にどう向き合うか 消化器病棟からの「転院」とナースにできること. 消化器ナーシング, メディカ出版; 2024; 29 (11): 1070- 1076. ISSN: 2434-4575

<学会発表>

長谷川あゆみ, 深津正子, 萩原久実子. 混合病棟に勤務する看護師の終末期患者・家族に対する看護支援の充実に向けて～看取りにおける患者・家族に対する看護支援の現状調査. 第 78 回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

本多昌子, 宮下美紀, 斉藤明生, 入内島裕乃, 松本守生. チームで支える骨髄腫患者の生 ―チーム医療における看護師の役割―. Supporting the lives of myeloma patients as a team～the role of nurses in collaboration medicine～. 第 49 回日本骨髄腫学会学術集会 The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Myeloma, 福岡国際会議場, May 31 - Jun 2, 2024. 現地+WEB 開催

本多昌子, 奥澤直美. A 病院血液内科病棟で抗がん薬治療を受けながら終末期を過ごす造血器腫瘍患者の苦しみへの介入. 第 47 回日本死の臨床研究会年次大会, 札幌コンベンションセンター, Oct 12 - 13, 2024. 現地開催

本多昌子. 多発性骨髄腫ってどんな病気? 多発性骨髄腫の患者さんに関わる医療スタッフに向けた教育セミナー. WEB セミナー 多発性骨髄腫患者さんへのケア～看護師の視点～. Jun 14, 2024. WEB 開催 [ヤンセンファーマ株式会社. 企業が主催したセミナー]

本多昌子. Multiple Myeloma Webinar. Nov 27, 2024. WEB 開催 [武田薬品工業株式会社. 企業が主催したセミナー]

本多昌子. ストーマとともに生きる患者の生を支える～看護師の視点～. 第 36 回 群馬ストーマ・排泄リハビリテーション研究会, 群馬県前橋市 群馬県公社総合ビル, Mar 15, 2025. WEB 開催

小嶋美津穂, 堀越政孝. 退院支援研修に対するニーズを把握した研修計画の立案にむけて～病棟看護師が求める退院支援研修とは～. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

松本美紀, 阪本悦子, 新谷和之, 田島秀昭. DWH データを活用した外来採血室待ち時間短縮への取り組み. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

奥澤直美, 関本研一, 濱中悠賀, 栗原りか, 高橋正弥, 勅使河原歩美, 落合翼, 奥田加奈子, 間島竹彦. 緩和ケアを有する病院で活動する緩和ケアチームの役割. 第29回日本緩和医療学会学術大会, 第37回日本サイコロジ学会総会 合同学術大会, 神戸コンベンションセンター, Jun 14 - 15, 2024. 現地+WEB 開催

関口雄大. 消化管ストーマ造設患者へのセノレフケア指導の評価と課題. 第36回群馬ストーマ・排泄リハビリテーション研究会, 群馬県前橋市 群馬県公社総合ビル, Mar 15, 2025

篠原 裕美子, 萩原 久実子, 田村 涼太. キャリアアップ支援プログラムの開発に向けたニーズ評価～子育てを行う看護師の現状と課題～. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

篠原友理, 斉藤明生. 5 類移行後の COVID-19 感染対策 ～医療の継続と患者・家族への配慮を目指した取り組み～. 第39回日本環境感染学会総会・学術集会, 国立京都国際会館, Jul 25 - 27, 2024. 現地+WEB 開催

篠原友理, 斉藤明生, 村田圭祐, 神尾咲留未, 高柳彰子, 松本大輔, 岡田郁花, 渡邊覚, 松本守生, 高橋章夫. 広域スペクトル抗菌薬投与患者に対する細菌培養実施率の向上を目指した取り組み. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

田島直己, 清水健太, 山口俊介, 内田侑希, 萩原久実子. パーキンソン病患者の QOL 向上に向けての取り組み. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

【薬剤部】

〈英文論文〉

Abe K, Imamura J, Sasaki A, Suzuki T, Kamio S, Obara T, Ito T. Renal function and lipid metabolism in Japanese HIV-1-positive individuals 288 weeks after switching from tenofovir disoproxil fumarate to tenofovir alafenamide fumarate: a single-center, retrospective cohort study. J Pharm Health Care Sci. 2024 Feb 28;10(1):13. doi: 10.1186/s40780-024-00336-y. PMID: 38419093

〈学会発表〉

朝比奈愛理, 鈴木博晃, 濱中悠賀, 横尾祐一, 金井貴充. 渋川医療センターにおける調剤関連のゼロレベルインシデント分析及び調剤・鑑査システムの有用性の検討. 第78回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

神尾咲留未, 加藤由佳理, 金井貴充, 高柳彰子, 篠原友理, 村田圭祐, 井上文孝, 齊藤明生. 当院における外来患者に対する経口抗菌薬の使用実態調査. 第 78 回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催

小池美紀, 濱中悠賀, 栗原りか, 伊藤博, 金井貴充, 入内島裕乃, 松本守生. 当院における外来化学治療に対する院外薬局薬剤師と病院薬剤師との連携への取り組み. Approach to collaboration between pharmacists outside of the hospital and hospital pharmacists for outpatient chemotherapy at our hospital. 第 49 回日本骨髄腫学会学術集会 The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Myeloma, 福岡国際会議場, May 31 - Jun 2, 2024. 現地+WEB 開催

鈴木博晃, 濱中悠賀, 栗原りか, 金井貴充. オピオイド換算表・当院採用医療用麻薬表の薬剤師業務における有用性の検討. 第 34 回日本医療薬学会年会 The 34th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences, 幕張メッセ, Nov 2 - 4, 2024. 現地+WEB 開催

【リハビリテーション科】

〈学会発表〉

北村百合子, 楠大介, 立山和久, 杉山和美, 知念成美, 小砂哲太郎, 山本絵美, 二宮暉, 鈴木久恵, 守田沙織, 齊藤繁子, 七尾一枝, 植松雅子, 清水太郎, 松崎尊信, 木村充, 遠藤大介, 浪久悠, 山元直道, 桔梗隆司, 澤田幸輝. 当院の精神科訪問看護における作業療法士の役割に関する考察. 第 78 回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催 [筆頭者が所属外]

杉山和美, 楠大介, 立山和久, 知念成美, 小砂哲太郎, 山本絵美, 二宮暉, 北村百合子, 鈴木久恵, 守田沙織, 齊藤繁子, 七尾一枝, 植松雅子, 清水太郎, 松崎尊信, 木村充, 遠藤大介, 浪久悠, 桔梗隆司, 澤田幸輝. 作業療法士の新たな職域での有用性に関する考察 ―精神科訪問看護部門への配置後 1 年の振り返りを通して―. 第 78 回 国立病院総合医学会, グランキューブ大阪, Oct 18-19, 2024. 現地開催 [筆頭者が所属外]

山口俊輔, 内田侑希, 高橋章夫, 板橋悠太郎, 平戸政史. 動作特異性ジストニアに対する定位的視床手術後のリハビリテーション介入. 第 18 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, ライトキューブ宇都宮, Jul 11 - 13, 2024. 現地+WEB 開催

【栄養管理室】

〈学会発表〉

高塚真理, 入内島裕乃, 松本守生. 多発性骨髄腫患者に対するレナリドミド投与後の味覚障害に関する検討. Consideration of taste disorders after lenalidomide administration to patients with multiple myeloma. 第 49 回日本骨髄腫学会学術集会 The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Myeloma, 福岡国際会議場, May 31 - Jun 2, 2024. 現地+WEB 開催

高塚真理, 井上文孝, 合田司. 地域研究会における「糖尿病患者の食事ケア」啓蒙の取り組み.

日本栄養治療学会関越支部 第10回支部学術集会, Gメッセ群馬, Jun 9, 2024. 現地+WEB開催

高塚真理. 潰瘍性大腸炎・クローン病の食事のポイント 令和6年度難病療養相談会, 渋川保健福祉事務所, Jan 10, 2025 [研修会]

高塚真理. 糖尿病性腎臓病重症化予防事業における保健指導の実践のために. 令和6年度渋川保健福祉事務所管内市町村国保ヘルスアップ事業所研修会, 渋川市役所第二庁舎, Feb 28, 2025 [研修会]

【病理診断科】

〈和文論文〉

伊藤一真, 片山彩香, 小山徹也, 鈴木司. CPC 第675回出題 その剖検所見と検討 剖検にて肺癌による髄膜癌腫症が判明した一例. 群馬県医師会報 (Journal of Gunma Medical Association). 2024 Apr 25; 909: 20 - 24. JST 資料番号: L5657A

【検査科】

〈英文論文〉

Satoshi Shirakura, Hiromasa Hayama, Hisao Hara, Yoshihisa Kawakami, Seiichi Doi, Shigehisa Yoshida, Yukio Hiroi. Changes in vortex and systolic anterior motion after percutaneous transluminal septal myocardial ablation in hypertrophic obstructive cardiomyopathy. J Echocardiogr. 2024 Sep;22(3):171-172. doi: 10.1007/s12574-023-00622-y. Epub 2023 Aug 31. PMID: 37651026

〈学会発表〉

深沢友理, 長澤大輔, 浅井将貴, 鳥羽希和子, 田島秀昭, 新谷和之. 免疫組織化学染色におけるメラニン色素除去手順の検討. 第68回群馬県医学検査学会, 群馬パース大学, Dec 1, 2024

黒木美弥, 上杉弘尚, 時澤実花, 田島秀昭, 新谷和之. 輸血検査における寒冷凝集素の影響が疑われた場合の検査フロー作成. 第52回国臨協関信支部学会, 東京 国立がん研究センター中央病院, Sep 7, 2024

野崎未来, 木村早希, 吉井聖恵, 田島秀昭, 新谷和之. 統計学的分析を応用した心臓超音波検査における技術的要因間差改善に向けた検討. 第68回群馬県医学検査学会, 群馬パース大学, Dec 1, 2024

新谷和之 (Kazuyuki Shinya). 検査部門からの検証と対応. 第2回2024年度診療報酬改定WEBセミナー. Sep 9 - Nov 15, 2024. WEB配信 [株式会社じほう. 企業が主催したセミナー]

上杉弘尚, 新谷和之, 入内島裕乃, 松本守生. 抗CD38抗体治療に対する当院輸血検査体制整備の取り組み. Efforts to improve our hospital's blood transfusion test system for anti-CD38 therapy. 第49回日本骨髄腫学会学術集会 The 49th Annual Meeting of the Japanese Society of Myeloma, 福岡国際会議場, May 31 - Jun 2, 2024. 現地+WEB開催

上杉弘尚 (Hiroataka Uesugi) , 新谷和之. 輸血ラウンドを通して見えた当院の現状と課題. 第 73 回日本医学検査学会, 金沢市, May 11 - 12, 2024. 現地+WEB 開催

【療育指導室】

〈学会発表〉

山寄利紘. インクルーシブ社会の実現に向けて私たちができること. 山梨県市民公開講座 医療的ケア児といっしょに, 山梨県敷島文化会館, Nov 10, 2024. [公開講座]

VI 研修参加状況

→	用務	主催	→	研修期間	→	参加者名簿						→
1	令和6年度 医療技術職員等新採用職員研修及び新採用事務職員研修	関東信越グループ		R6.4.23 ~ R6.4.25 R6.5.27 ~ R6.6.28		清水 麻由 齋藤 優衣 木内 紀希	小林 幸恵 浅井 将貴 泰山 沙織	越智 某紀瑠 西之原 由季 森 明菜	齋田 佳奈 本田 愛香 小林 航	滝沢 彩美 石川 准 岡田 実穂		
2	令和6年度 新任評価者研修	国立病院機構本部		R6.4.19 ~ R6.5.20		杵渕 絵美	横尾 祐一					
3	令和6年度 院長研修	国立病院機構本部		R6.4.17 R6.9.18		高橋 章夫						
4	令和6年度 看護師等実習指導者講習会	関東信越グループ		R6.5.27 ~ R6.7.19 R6.10.7 ~ R6.11.28		山口 友久 小見 啓太	橋爪 淳 鈴木 恵美					
5	令和6年度 院内感染対策研修	関東信越グループ		R6.5.28		岡庭 瑞紀						
6	令和6年度 医療職（二）・福祉職キャリアアップ研修	関東信越グループ		R6.6.19		吉井 聖恵						
7	第11回群馬局地DMAT研修	群馬県健康福祉部医務課		R6.6.22 ~ R6.6.23 R6.6.11 ~ R6.6.18		中村 集都 小飛山 恭子	田島 直己 石田 ゆかり	吉澤 好	石田 朱音			
8	令和6年度 副看護師長新任研修	関東信越グループ		R6.12.6 ~ R6.12.13		松井 彩						
9	令和6年度 中間管理職新任研修	関東信越グループ		R6.6.26 ~		杵渕 絵美	横尾 祐一	小山内 智之				
4	令和6年度 企画課担当者研修（契約初任者）	関東信越グループ		R6.5.24 ~		春日 康佑						
5	令和6年度 新任人事給与担当者研修	関東信越グループ		R6.5.31 ~		市東 敬裕						
6	令和6年度 副看護部長新任研修	関東信越グループ		R6.6.7 R6.12.20		山口 ふき江						
7	令和6年度 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	国立病院機構本部		R6.9.4 ~ R7.1.16		原田 博子	宮下 美紀					
8	令和6年度【東第1回】災害派遣医療チーム（DMAT）研修	厚生労働省医政局地域医療計画課		R6.5.28 ~ R6.5.31		堀地 良亮	中村 集都	石田 朱音	吉澤 好			
9	第11回群馬局地DMAT研修	群馬県健康福祉部医務課		R6.6.22 ~ R6.6.23		中村 集都	田島 直己	吉澤 好	石田 朱音			
10	令和6年度 看護師等実習指導者講習会	関東信越グループ		R6.5.27 ~ R6.7.19 R6.10.7 ~		山口 友久 小見 啓太	橋爪 淳 鈴木 恵美					
11	令和6年度 院内感染対策研修	関東信越グループ		R6.5.28		岡庭 瑞紀						
12	令和6年度 副看護師長新任研修	関東信越グループ		R6.6.11 ~ R6.6.18 R6.12.6 ~ R6.12.13		小飛山 恭子 松井 彩	石田 ゆかり					
13	令和6年度 看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修（第1回）	関東信越グループ		R6.7.30		大島 和加子	中野 真瑛	今泉 秋穂				
14	令和6年度 中間管理職新任研修	関東信越グループ		R6.6.26		杵渕 絵美	横尾 祐一	小山内 智之				
15	令和6年度 企画課担当者研修（医事・財務管理）	関東信越グループ		R6.7.26		古川 翔太						
16	令和6年度 保健師助産師看護師実習指導者講習会	国立看護大学校研修部		①R6.9.11 ~ R6.9.26 ②R6.10.9 ~ R6.10.24 ③R6.11.5 ~ R6.11.15		橋爪 淳 小飛山 恭子						
17	令和6年度 医療職（二）・福祉職キャリアアップ研修	関東信越グループ		R6.6.19		吉井 聖恵						
18	令和6年度 クオリティマネジメントセミナー（ワークショップ）	国立病院機構本部		R6.8.20		吉井 明弘	松本 大輔					
19	令和6年度 第1回新任係長情報共有ミーティング	全国国立病院事務部長会		R6.7.26		和地 功太						
20	令和6年度 プリセプター研修	関東信越グループ		R6.7.3		石田 祐介	山上 香奈絵					
21	令和6年度第1回関東ブロックDMAT技能維持研修	厚生労働省DMAT事務局		R6.7.29		太田 依代莉						
22	令和6年度リーダー育成共同宿泊研修	国立病院機構本部		R6.9.12 ~ R6.9.14 R6.9.13 ~ R6.9.15		吉成 大介						
23	令和6年度薬剤師業務研修	関東信越グループ		R6.9.4		横尾 祐一						
24	令和6年度臨床検査の制度及び品質確保推進研修	関東信越グループ		R6.9.17		岩丸 日南子						
25	令和6年度医療材料費適正化研修	関東信越グループ		R6.9.18		和地 功太						
26	令和6年度群馬県生涯福祉従事者等（スキルアップ）研修・意思決定支援研修	群馬県健康福祉部福祉課		R6.9.19		中嶋 歩						
27	令和6年度障害者虐待防止・意思決定支援研修	関東信越グループ		R6.9.27		橋爪 淳						
28	令和6年度 大規模地震時医療活動訓練	厚生労働省DMAT事務局		R6.9.27 ~ R6.9.28		高橋 栄治						
29	令和6年度入退院支援に関する実践力向上研修	関東信越グループ		R6.10.1 ~ R6.12.3		太田 依代莉	阿部 美保					
30	令和6年度看護補助者のさらなる活用のための看護管理者研修（第2回）	関東信越グループ		R6.10.1 ~ R6.10.11 R6.11.7		石田 ゆかり	馬場 亜貴子					
31	令和6年度 企画課担当者研修（契約実務者）	関東信越グループ		R6.10.15 ~ R6.10.29 R6.10.30		和地 功太						
32	令和6年度信州高遠人材育成・交流研修	関東信越グループ		R6.10.22		渡辺 佳秀						
33	令和6年度ハラスメント相談員研修	本部		R6.10.25		林 宏樹	山口 ふき江					
34	令和6年度臨床検査技師実習技能研修1	関東信越グループ		R6.11.1 ~ R7.3.31		深沢 友理						
35	2024年度てんかんに関する看護師研修会	西新潟中央病院		R6.11.1 ~ R6.11.30		梅澤 綾乃 斎藤 亜理紗	品田 梨奈 野村 美羽	田中 藍美 佐保田 暖未	中村 美香 小林 奈桜	清水 春菜 大淵 有結		
36	令和6年度業務実践能力研修（ステップ2）	関東信越グループ		R6.11.5 ~ R6.12.4		坂本 茉寛	中村 紗佳	高橋 知未				
37	令和6年度診療放射線技師育成研修	関東信越グループ		R6.11.6 ~ R6.11.27		森下 光貴						
38	令和6年度会計業務研修（簿記・税務）（一般簿記）	関東信越グループ		R6.11.18 ~ R6.12.20		小林 航						
39	令和6年度中堅事務職員研修（ステップ4）	関東信越グループ		R6.11.21 ~ R6.11.22		飯塚 愛梨						
40	令和6年度てんかん看護セミナー	静岡てんかん・神経医療センター		R6.11.21 ~ R6.11.22		成瀬 優衣						
41	令和6年度人事給与等担当者研修	関東信越グループ		R6.11.25		坂本 茉寛						
42	令和6年度放射線関係法令研修	本部		R6.11.26		立木 崇文						
43	令和6年度障害者虐待防止対策セミナー	本部		R6.11.28 ~ R6.11.29		石田 紗彩						
44	令和6年度地域連携業務勉強会	関東信越グループ		R6.11.29		小堀 美津穂						
45	令和6年度メンタルヘルス・ハラスメント研修	本部		R6.11.29		茂木 実恵子						

46	令和6年度 主任栄養士実習技能研修	関東信越グループ	R6.12.18	林 賢悟				
47	令和6年度 看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修 (第3回)	関東信越グループ		小飛山 恭子	橋爪 淳	太田 依代莉		
48	令和6年度 重症心身障害児(者)療育研修	関東信越グループ	R6.12.11	坂本 智美	小瀬 まな美			
49	令和6年度 自動車運転業務研修	国立病院機構本部	R6.12.24 ～ R7.1.31	根岸 達也				
50	令和6年度 臨床研究のデザインと進め方に関する研修	国立病院機構本部	R6.12.20	山口 俊輔				
51	令和6年度診療情報管理に関する研修	国立病院機構本部	R7.1.14 R7.1.27	岡田 実徳				
52	令和6年度 広報研修	国立病院機構本部	R7.1.30	佐藤 慶太郎				
53	令和6年度 認知症ケア研修	関東信越グループ	R7.2.4	伊藤 潤平	戸部 志帆美	村山 順子		
54	令和6年度 チーム医療研修「RRSセミナー」	国立病院機構本部	R7.1.31	山岸 敏治	青木 巧	関上 寛子	小見 啓太	
55	2024年度てんかんに関するリハビリ職員研修会	国立病院機構西新潟中央病院	R7.2.3 ～ R7.2.28	増淵 和宏	渡辺 佳生	吉田 裕之	山口 俊輔	狩野 未樹
56	令和6年度 療養介護サービス研修	国立病院機構本部	R7.1.28	滝沢 彩美	飯塚 優子	山本 后世	齋藤 優衣	山上 香奈絵
57	令和6年度 呼吸器疾患看護研修会	東京病院	R7.1.30	菊池 典子	石田 祐介	田胡 正枝		
58	令和6年度 医療職(二)・福祉職スキルアップ研修	関東信越グループ	R7.1.22	森 明菜				
59	令和6年度 診療放射線技師実習技能研修	関東信越グループ	R7.2.3	黒澤 裕美	小林 千夏			
60	令和6年度 医事業務研修	国立病院機構本部	R7.1月中旬～R7.2月中旬	立木 崇文				
61	令和6年度 IT研修	全国国立病院事務部長協議会	R7.2.4	森下 光貴				
62	令和6年度 医療対話推進研修	全国国立病院事務部長協議会	R7.3.6	宮 健之	渡辺 佳秀	荻原 剛之		
				佐藤 慶太郎				
				宮 健之				

当院主催の研修・セミナー等（令和6年度）

日 時	講 演 内 容 ・ 演 者	場 所	対象者	参加人数
令和6年5月11日(土) 9:00～	第20回渋川医療センターICLS（救急医学会認定二次救命処置）コース	渋川医療センター	医師 看護師 救急救命士	10名
令和6年7月6日(土) 9:00～	第21回渋川医療センターICLS（救急医学会認定二次救命処置）コース	渋川医療センター	医師 看護師 救急救命士	6名
令和6年11月9日(土) 13:00～	第10回市民公開セミナー 【がん無料相談】 【健康測定及び健康相談会】 【講演】 「大腸がんに対するロボット支援下（ダヴィンチ）手術」 消化器外科部長 吉成 大介 「大腸がんに対するロボット支援下（ダヴィンチ）手術」 呼吸器外科医長 八巻 英	渋川医療センター	一般市民	30名
令和7年1月25日(土) 9:00～	第16回渋川医療センターICLS（救急医学会認定二次救命処置）コース	渋川医療センター	医師 看護師 救急救命士	10名
令和7年2月15日(土) 9:00～	渋川医療センター緩和ケア研修会	渋川医療センター	医師	8名

渋川地区医師会地域医療連携セミナー（於：渋川医療センター）（令和6年度）

日 時	講 演 内 容 ・ 演 者	場 所	対象者	参加人数
令和6年5月20日(月) 19:00～20:00	「皮膚がんの診断と外科的治療」 皮膚科医長 高橋 亜由美	オンライン開催	医師 薬剤師	34名
令和6年8月19日(月) 19:00～20:00	「大腸癌に対するロボット支援腹腔鏡下手術～結腸～」 消化器外科医長 高橋 研吾 「大腸癌に対するロボット支援腹腔鏡下手術～直腸～」 内視鏡外科センター長 吉成 大介	オンライン開催	医師 薬剤師	58名

令和6年度院内教育講演会

講演内容			*印は院外講師	()は参加数のうち院外者数	
回数	部門	日時	講師・発表者	演題	参加数
第1回	C P C	R6. 4. 22	病理担当 *群馬大学大学院医学系 研究科病理診断学助教授 片山 彩香先生	初年度研修医のためのCPC 悪性リンパ腫が白血化して死亡した80代女性	17名 (1)
第2回	保険診療	R6. 4. 30 6. 5 ～7. 31 (上記で参加できなかった職員： セーフティプラス)	*株式会社エム・アール・シー 石上 登喜男	令和6年度診療報酬改定にかかる研修会	527名 (2)
第3回	C P C	R6. 5. 27	病理担当 *群馬大学大学院医学系 研究科病理診断学助教授 片山 彩香先生 臨床担当 佐藤 洋子先生	令和6年度第2回C P C 遷延性胆管炎を併発した末期癌症例	10名 (1)
第4回	医療安全	R6. 6. 11～7. 11	セーフティプラス	第1回医療安全研修 人間関係のコツ10分レクチャー ～まとまりのあるチームをつくるには～	615名
第5回	B L S	R6. 6. 21 R6. 9. 27 R6. 12. 13 R7. 2. 21	山岸 敏治 青木 巧	B L S ・ A E D研修会	85名
第6回	医療機器	R6. 6. 24	*フクダ電子	心電図モニター研修会	27名
第7回	医療機器	R6. 6. 25	*フィリップス	人工呼吸器トリロジー研修会	16名
第8回	感染管理	R6. 7. 12 7. 24～9. 30 (上記で参加できなかった職員： セーフティプラス)	前橋赤十字病院 感染症内科 *林 俊誠先生	令和6年度第1回感染対策研修会 薬剤耐性菌対策をしないと病院が潰れるってホント？	611名
第9回	医薬品	R6. 9. 1～9. 30	高橋 栄治	カテコールアミン	462名
第10回	医療機器	R6. 9. 12、10. 1	*日本光電	除細動器研修会	80名
第11回	C P C	R6. 9. 13	臨床担当 斎藤 明生先生 病理担当 *群馬大学大学院医学系 研究科病理診断学助教授 片山 彩香先生	令和6年度第3回C P C 腹部に巨大な腫瘍を形成した多発性骨髄腫の一例	8名 (1)
第12回	診療用放射線	R6. 10. 7～11. 30	セーフティプラス	令和6年度診療用放射線の安全利用の研修 医療被ばくの防護の最適化について 放射線の過剰被ばく、その他の放射線診療に関する事例 発生時の対応等について	496名
第13回	医療機器	R6. 10. 10	原田 博子	コーパルス（自動胸骨圧迫装置）、ビデオ喉頭鏡、 カプノメーター研修会	24名
第14回	その他	R6. 12. 16	大澤 孝志	防犯、さすまた講習会	33名
第15回	褥瘡NST	R6. 12. 25～ R7. 1. 25	(セーフティプラス) 須藤 大貴 林 賢悟	褥瘡と静脈栄養 栄養を褥瘡治療にどう活かす？	461名
第16回	医療安全	R7. 1. 8～2. 5	星野 隼矢	第2回医療安全研修 DNARを見直そう	601名
第17回	感染管理	R7. 1. 31 2. 13～3. 13 (上記で参加できなかった職員： セーフティプラス)	前橋赤十字病院 感染症内科 *林 俊誠先生	令和6年度第2回感染対策研修会 感染予防と体液暴露対応の要点とは	601名
第18回	虐待防止	R7. 2. 3～2. 28	セーフティプラス	身体的拘束最小化について知っておくべき基礎知識	635名
第19回	医療安全	R7. 2. 10	入退センター 外来 3東病棟 栄養管理室	医療安全取り組み発表会 入退センターへの立ち寄り数増加のための取り組み 医療安全の取り組み～ゼロレベルインシデントの 必要性和理解を深めるために～ 気管カニューレ抜去予防の取り組み 給食管理における業務の標準化をめざして ～マニュアルの改訂と定着化～	62名
第20回	その他	R7. 2. 13	落合 司	A C P とは何か～「いのち」を支える医療のために	18名
第21回	その他	R7. 2. 20	割田 敏朗	二次骨折予防継続管理料算定における研修会	23名
第22回	医療ガス	R7. 2. 21～3. 14	*マルホン 土屋 (セーフティプラス)	医療ガスの安全な取り扱いについて	541名
第23回	虐待防止	R7. 2. 26～3. 19	セーフティプラス	令和6年度障害者虐待防止研修会	632名
第24回	褥瘡NST	R7. 2. 27	林 賢悟	栄養スクリーニングMUSTと栄養アセスメントGLIM基準の 活用 ～低栄養を見逃さないために～	25名
第25回	院内学会	R7. 3. 3	齋藤 慎之介 坂本 智美 春日 康佑 山口 俊輔 奥田 加奈子 佐藤 剛 田島 翔太	各部門の取組・その他 看護師が感じる呼吸器疾患を持つ患者の退院支援に 関する困難感 口腔評価スケール（OHAT）を用いた口腔ケアの有効性 「一般職員連絡会議」におけるコミュニケーション 活性化への取り組み事例 安全なリハビリテーションの提供を目指して ～科内ヒヤリハット報告の動向・傾向について～ 歯科口腔外科開設に伴う院内コンサルテーションの傾向 ソーシャルワーカーが行う介護施設との連携について ～渋川保健医療圏のネットワーク構築を通して～ しびれる症状、心が凍る ～国試をなめてはいけません！～	59名
第26回	保険診療	R7. 3. 3～3. 31	小山内 智之 (セーフティプラス)	保険診療の理解のために	562名
第27回	化学療法	R7. 3. 3～3. 31	大崎 隆	がん薬物療法に伴う有害事象の対策	504名
第28回	接遇	R7. 3. 17	*ANAビジネスソリューション株式会社 北 敏枝	医療現場の接遇研修 第一印象の重要性 よりよい職場環境づくりのために	69名

病 院 年 報
(令和6年度)

発行年月日 令和7年10月1日
発 行 国立病院機構渋川医療センター
〒377-0280 群馬県渋川市白井383
電話 (0279)23-1010
FAX (0279)23-1011

ホームページ <https://shibukawa.hosp.go.jp/>